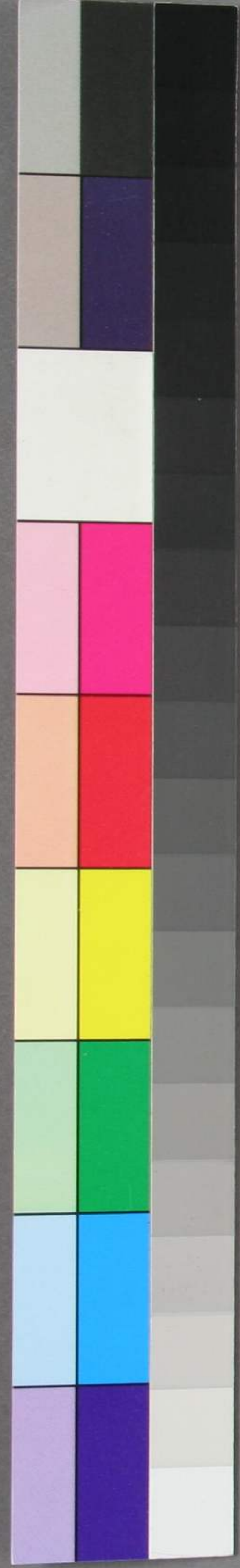


柔式湖月抄

初篇
下

7本9
422
2



門 舞
422
卷 2

茶式下巻首

東京
餘
坪

一九百十

利休好

柵物置やう下柵板木目根乃方之勝も此方之邊

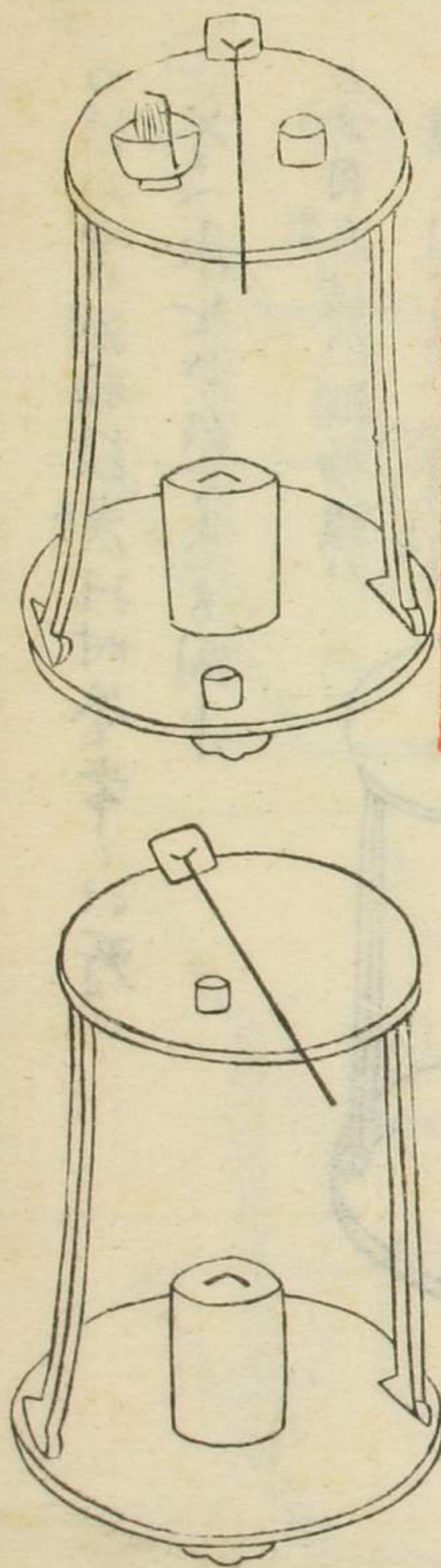
上柵板木目未密付より之何を有ても准之

置やう 進古ハ風爐乃言も是此差別なく是ーが今ハ

風爐此常ハ豆ニツ乃方之茶ハまゝ

又一本此方前ニ相成
又、己未此年より二本
此方前ニ相成

天然云抄蓋置ナリかざる耐ハ濃茶此袋常乃
抄仰向て蓋置もよりまゝ
まゝ猪此方之主

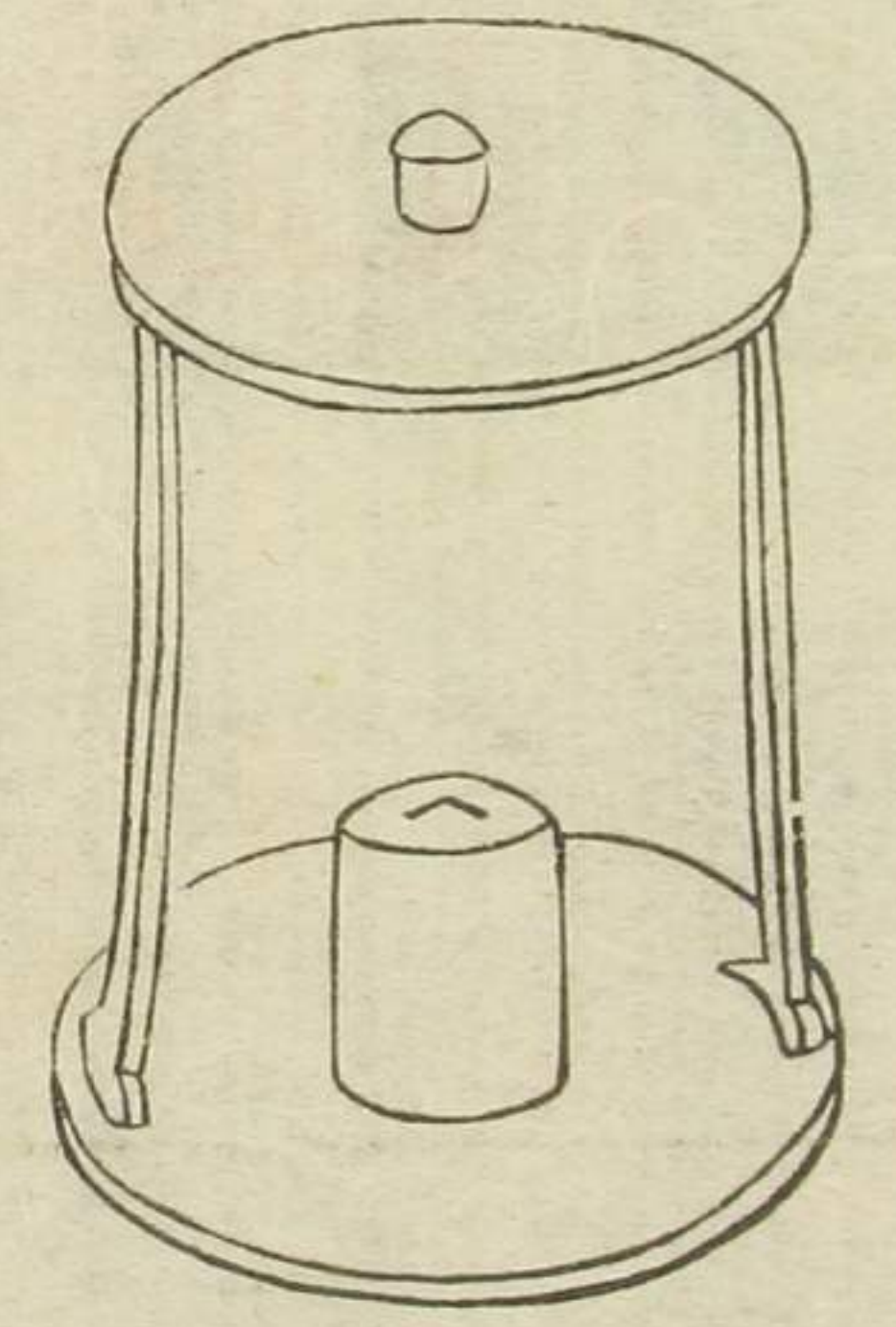


茶式月...

明治 三六
十月十五
坪内 氏寄

○燈乃言棚物類炭仕時釜常く仕所
釜一水とさけとさきも同ト

○大目点波以棚物類ハ
勝と仕所へ釜を引寄
置水と指節ハ釜を揚
所へ引寄夫より水と指
たり



棚物類諸飾よ不致節よても
帛残てもよ

右宗心申乃年ト向仕言中の

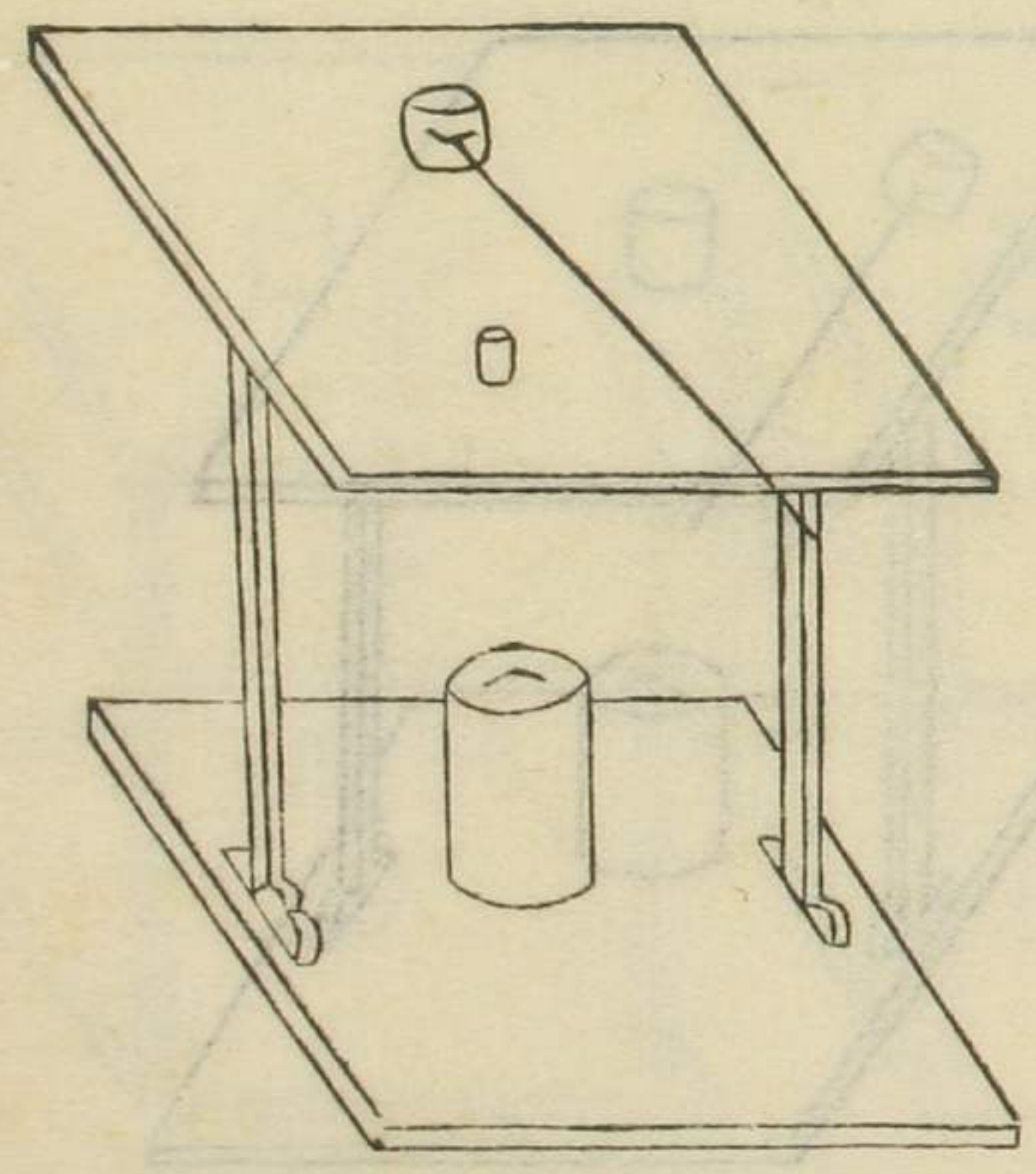
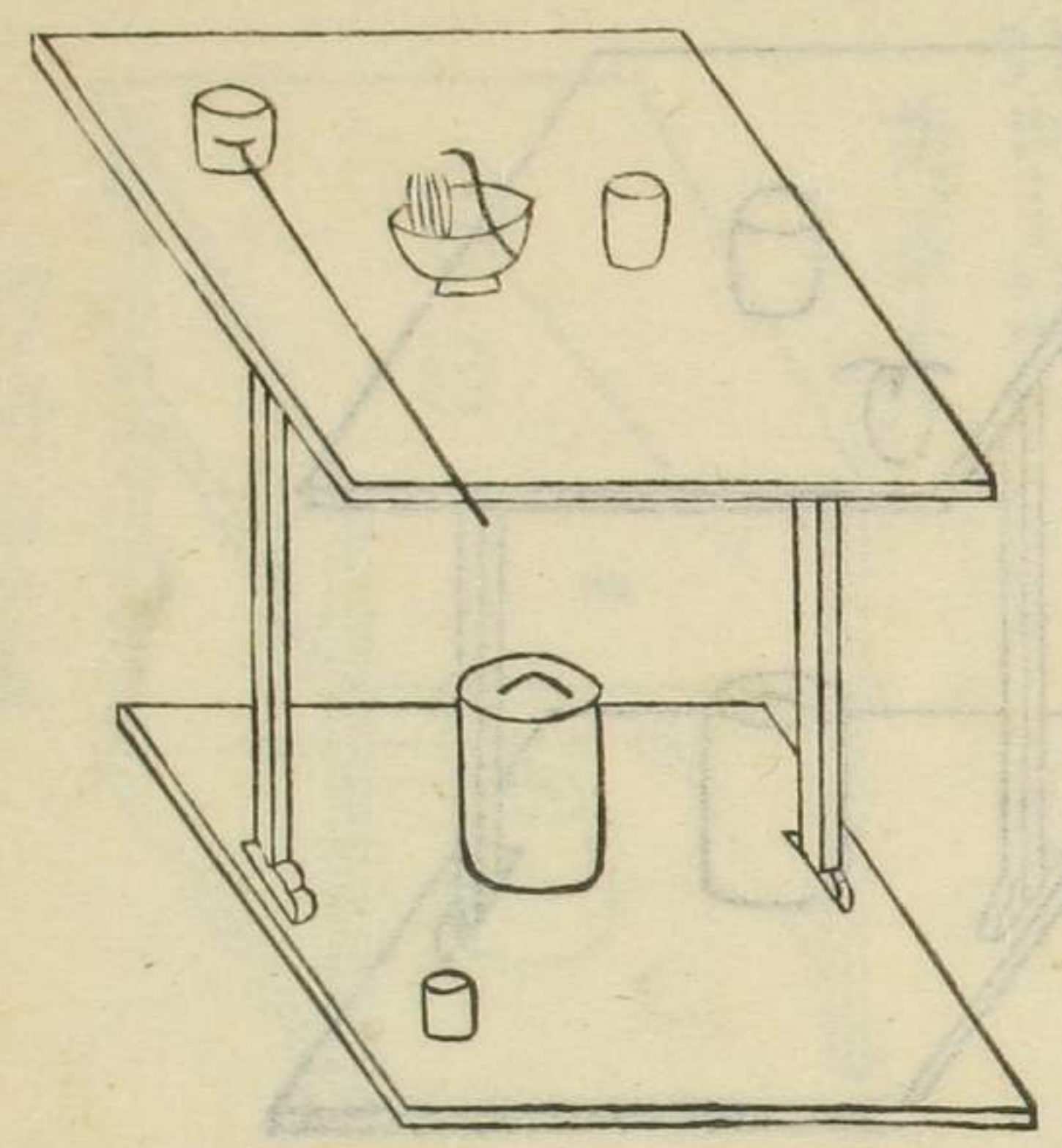
一四方棚

利休好

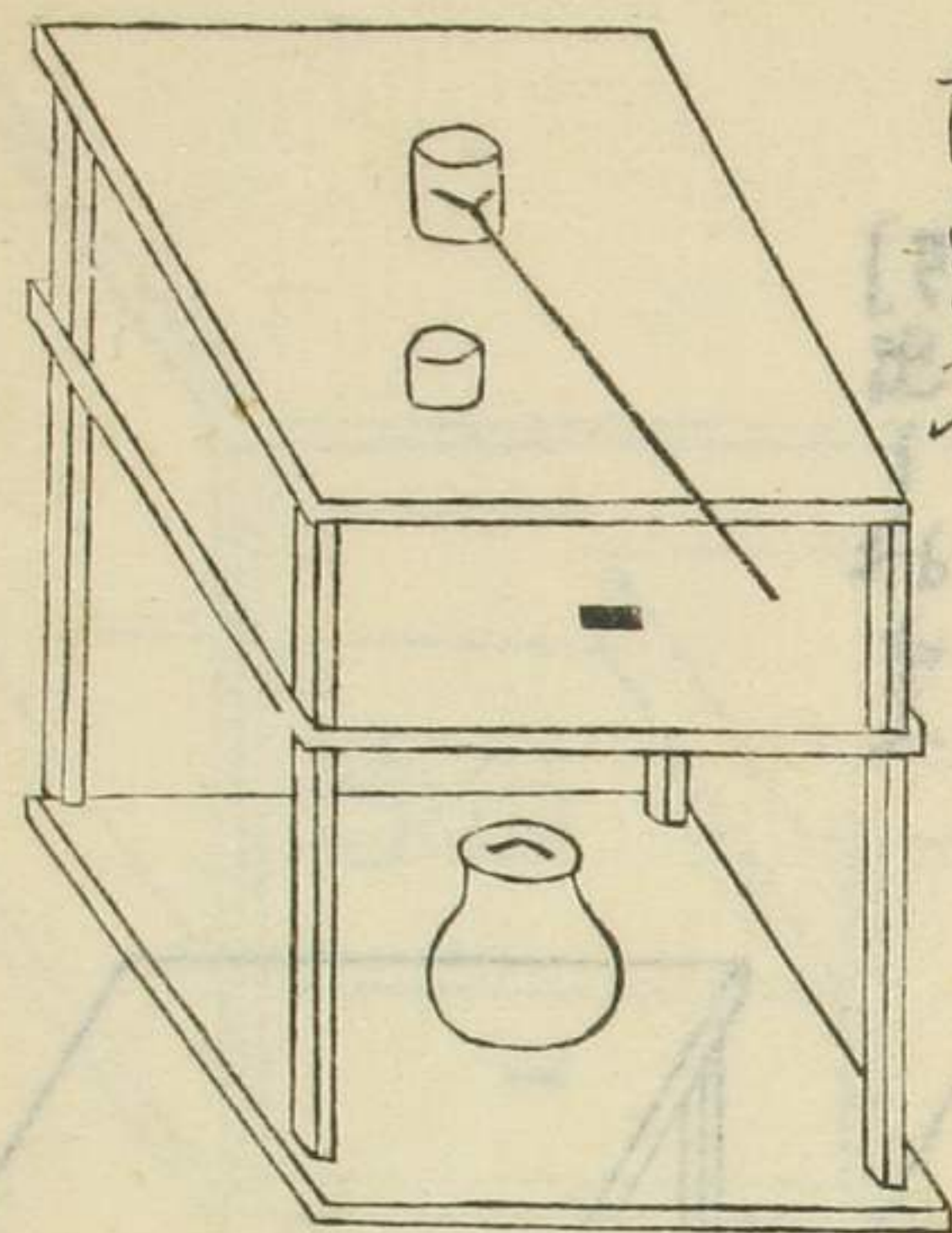
角丸さハ江岑好

先ハ是を第一用

此棚抄仰向テ置



抄仰向テ置

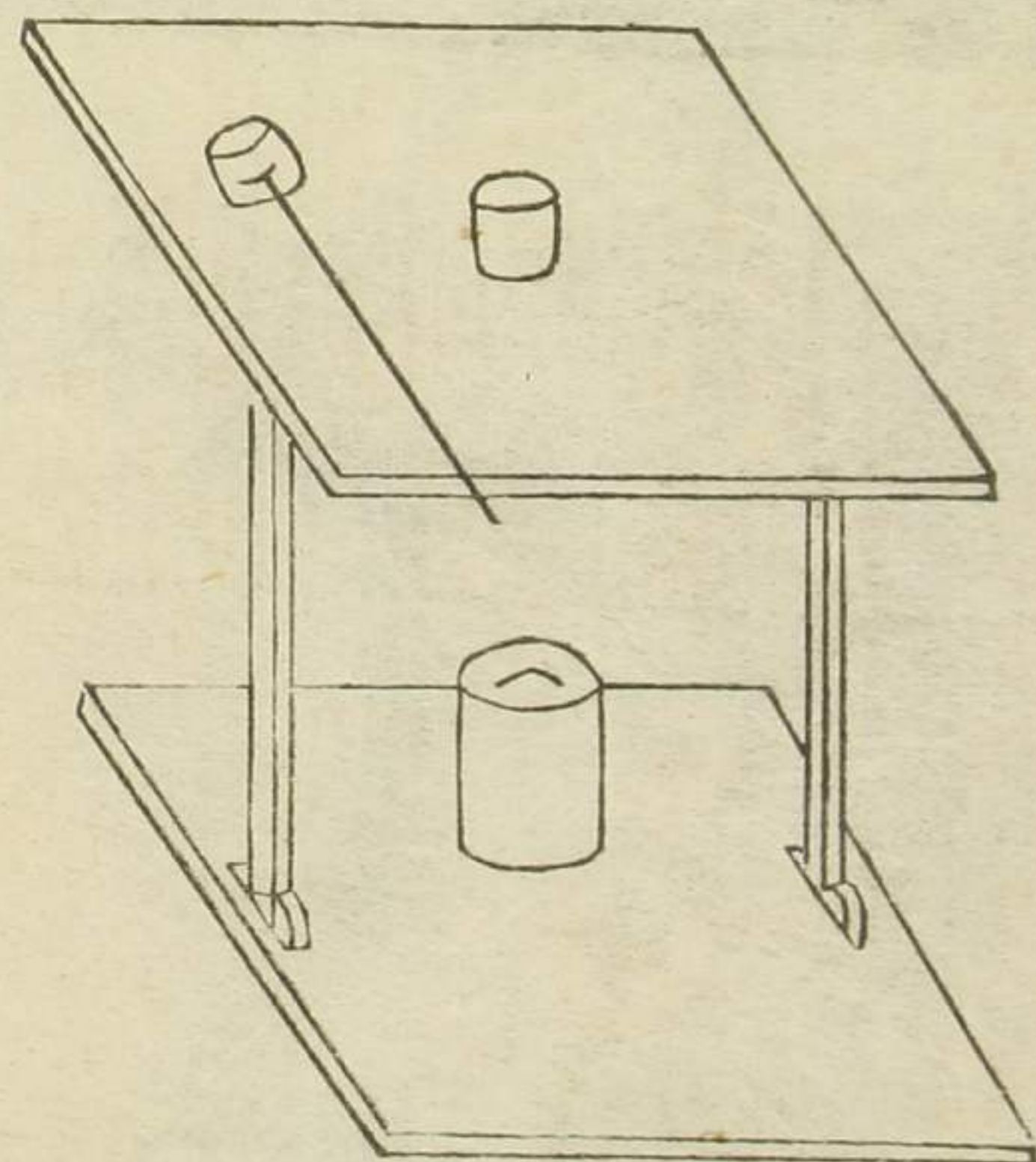
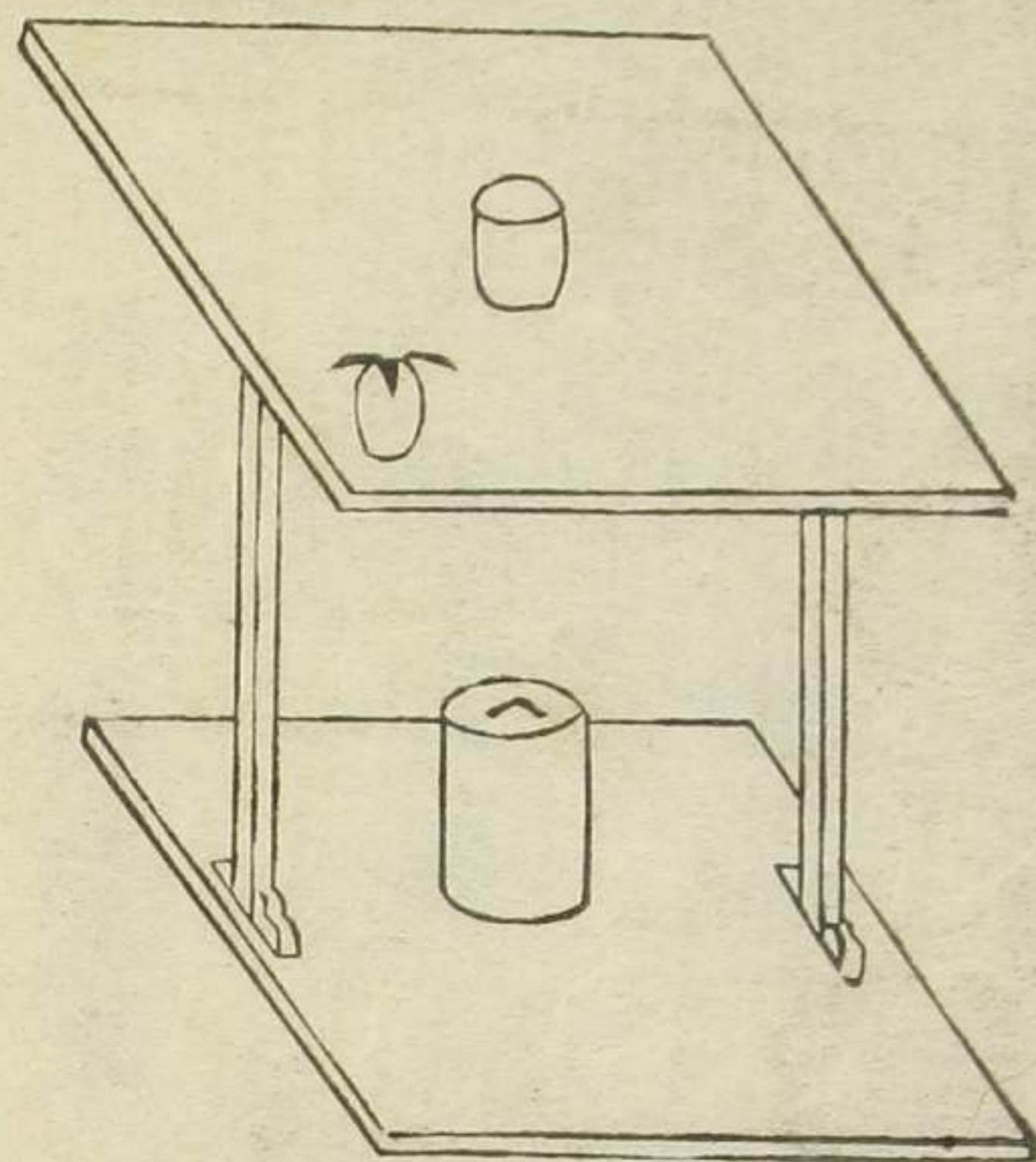
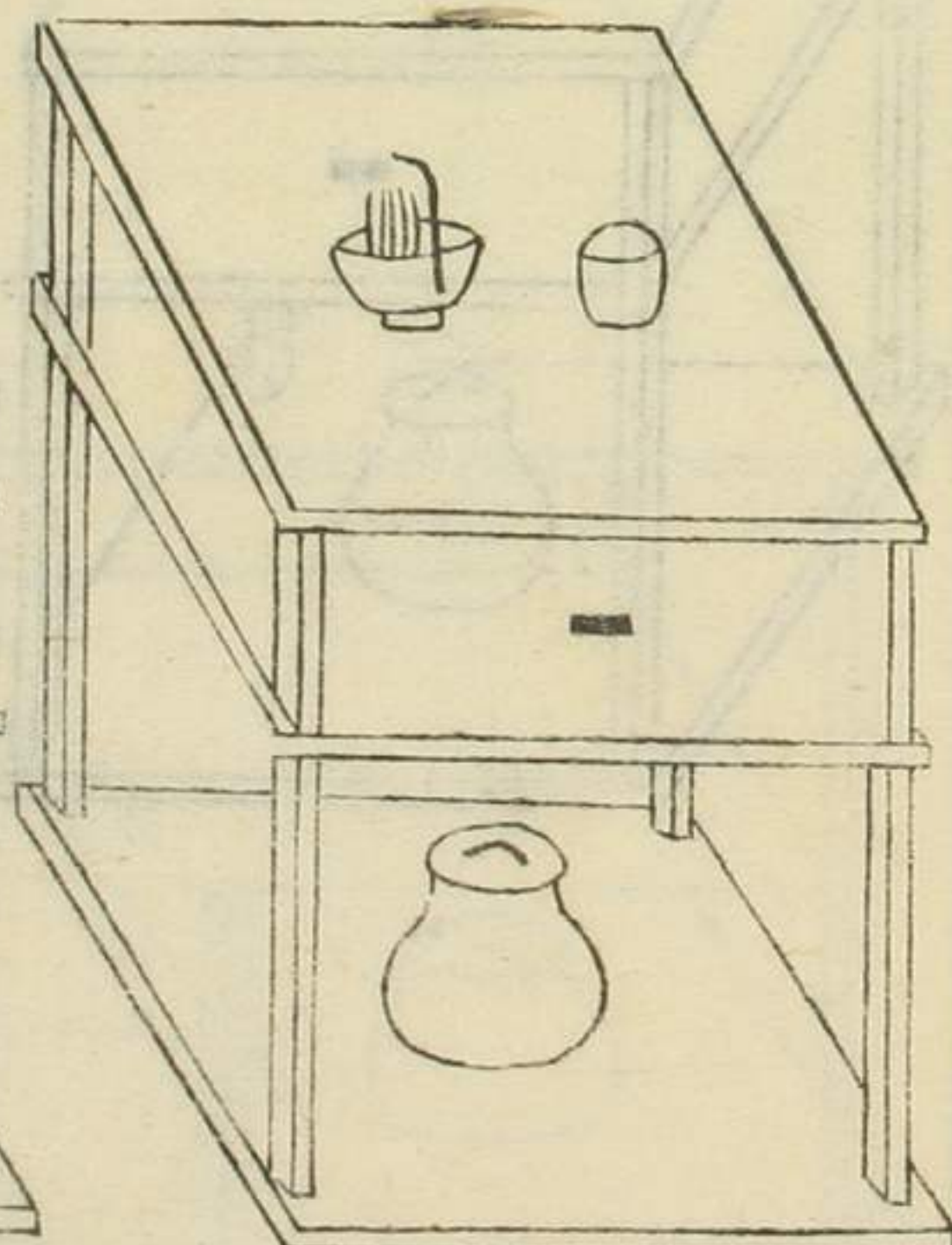
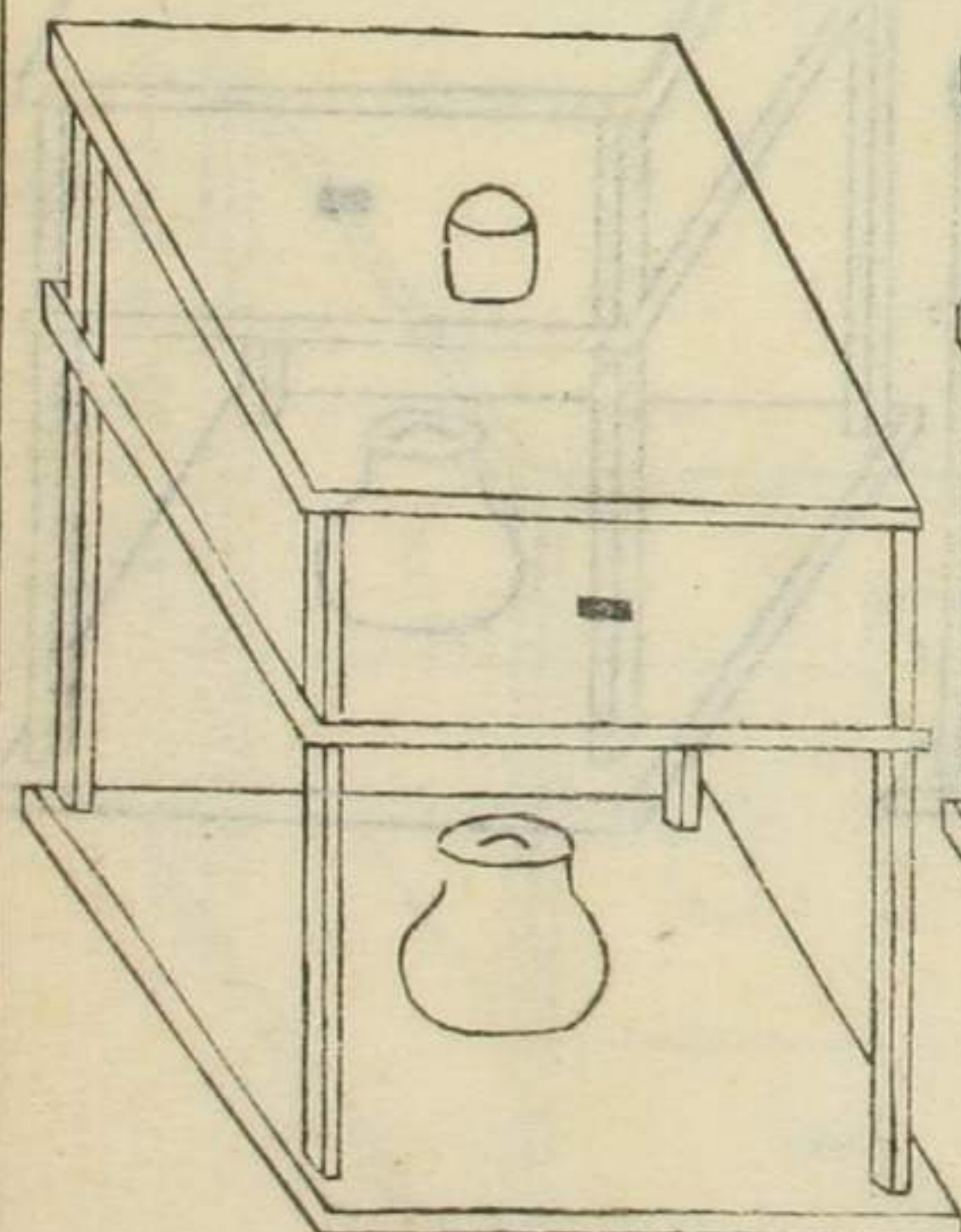


引出し中へ
薄茶を入

一江岑棚

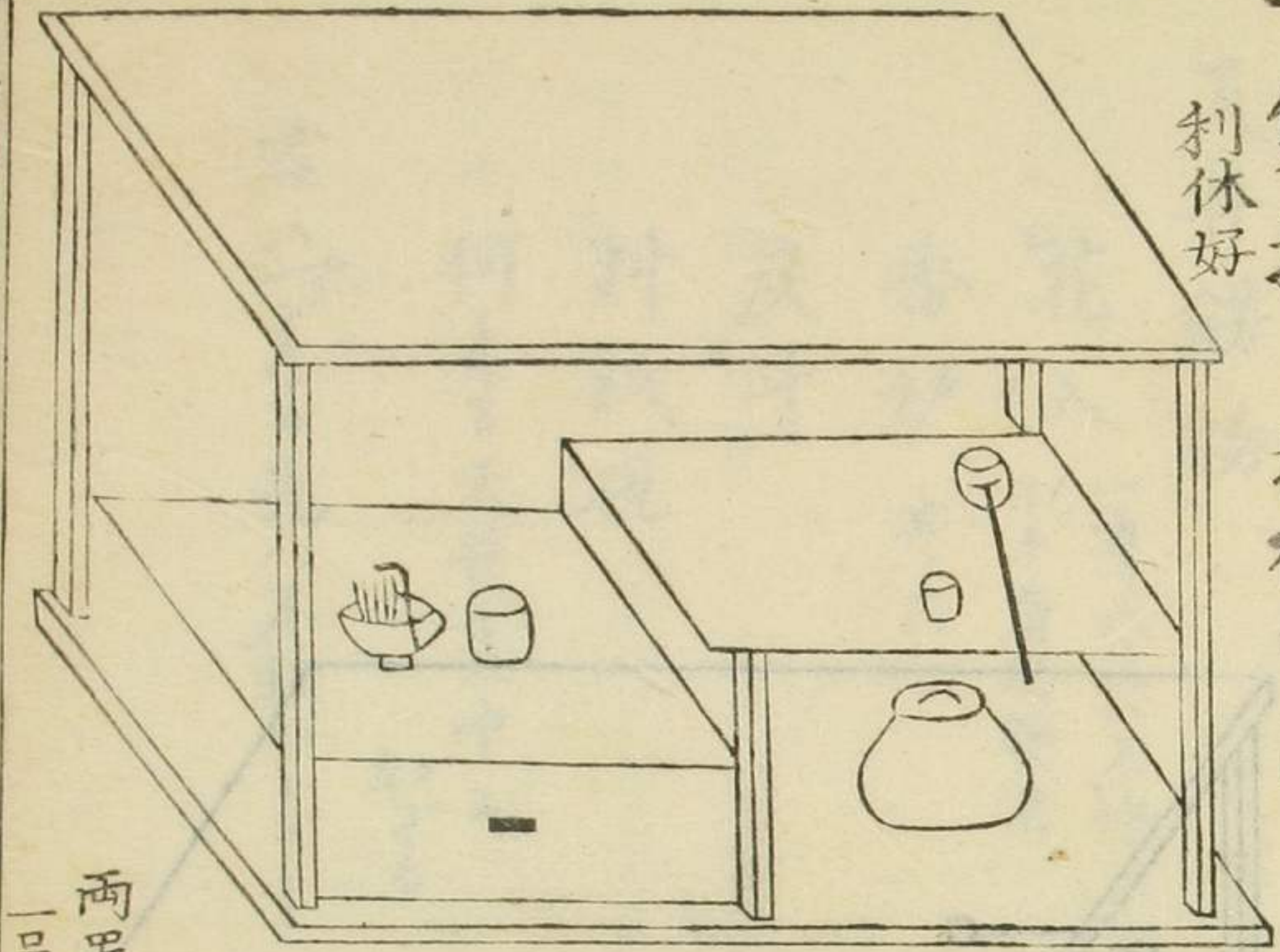
二木町棚ト改

濃茶は茶袋ハ
引出しの内へ入ル

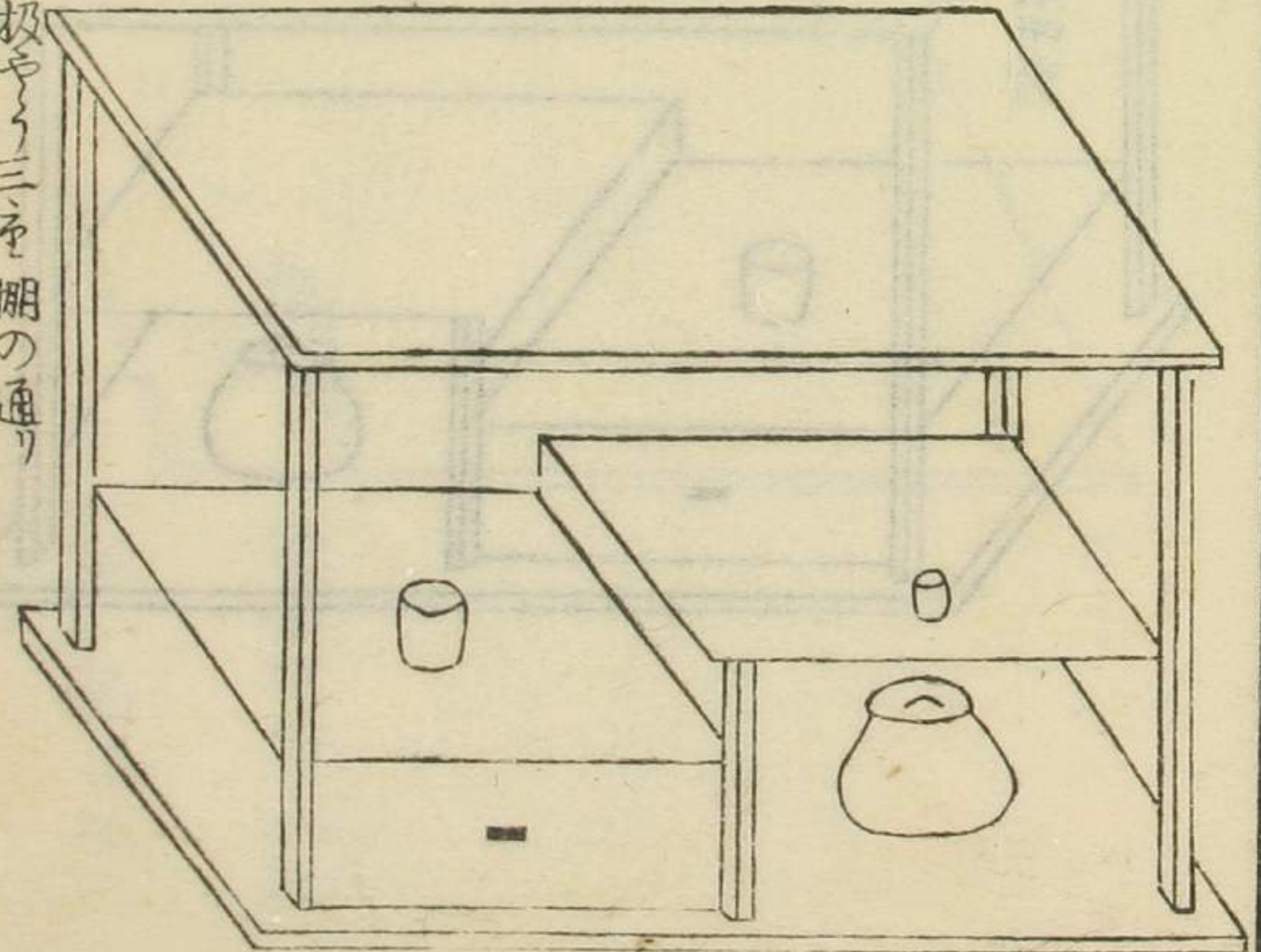


一袋棚
利休好

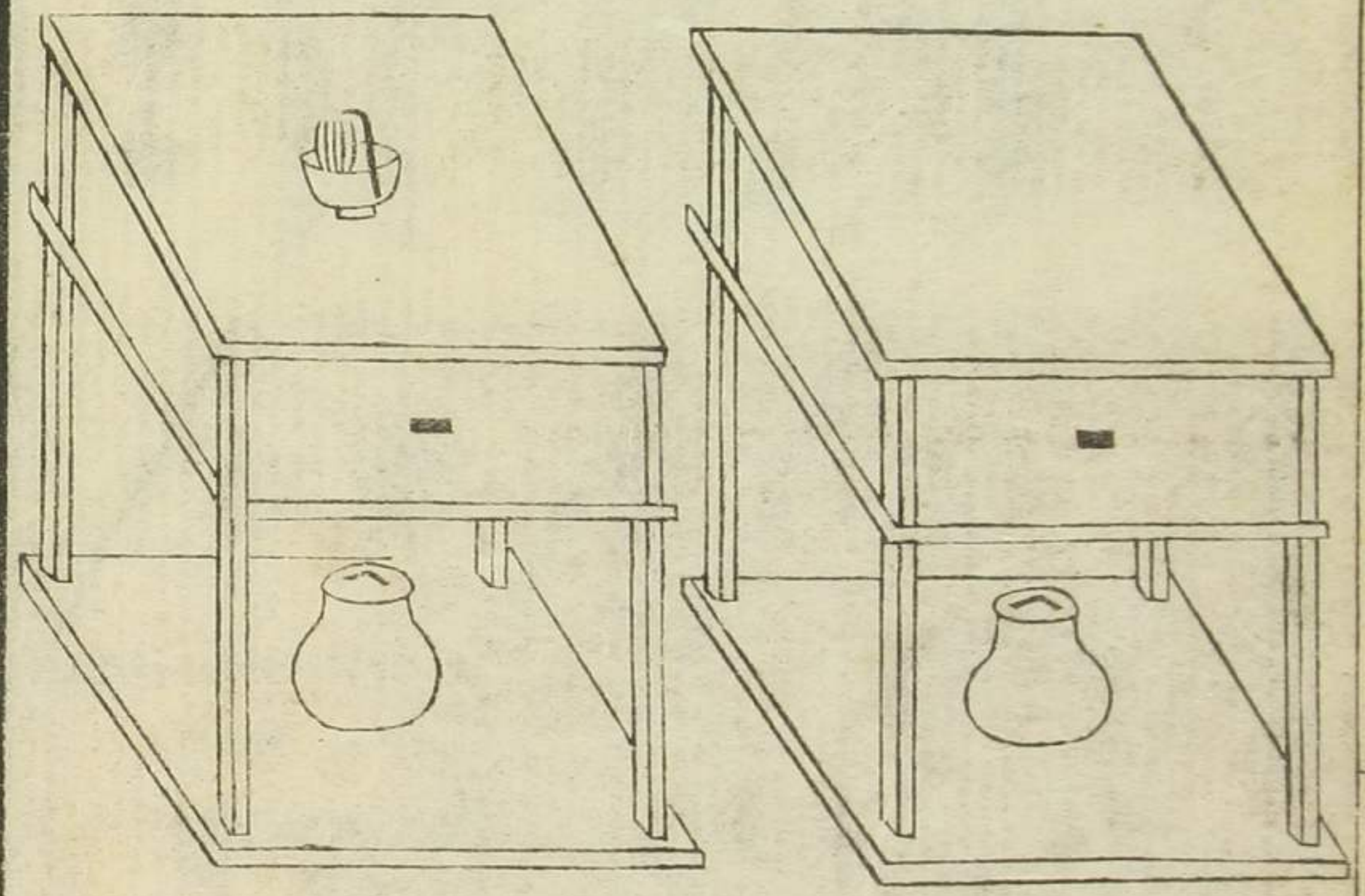
抄御向置

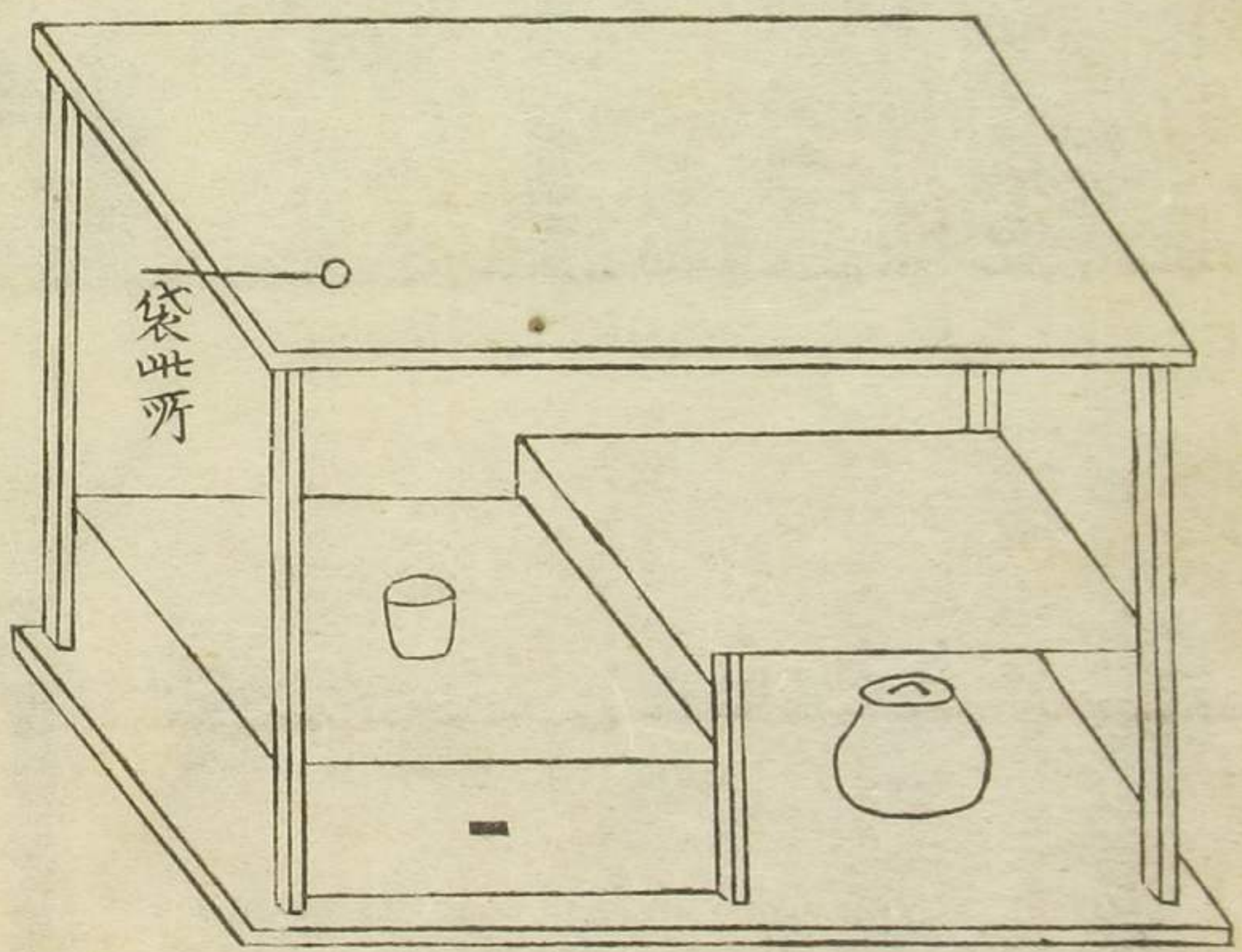


両器扱やう三を棚の通り
一品ツ上ケおろしは良もは様



引出仕中へ
薄茶器入





天井飾物

花入 一通りの品は飾
小キ唐物杯用

香炉 右、日

炭斗

料紙硯

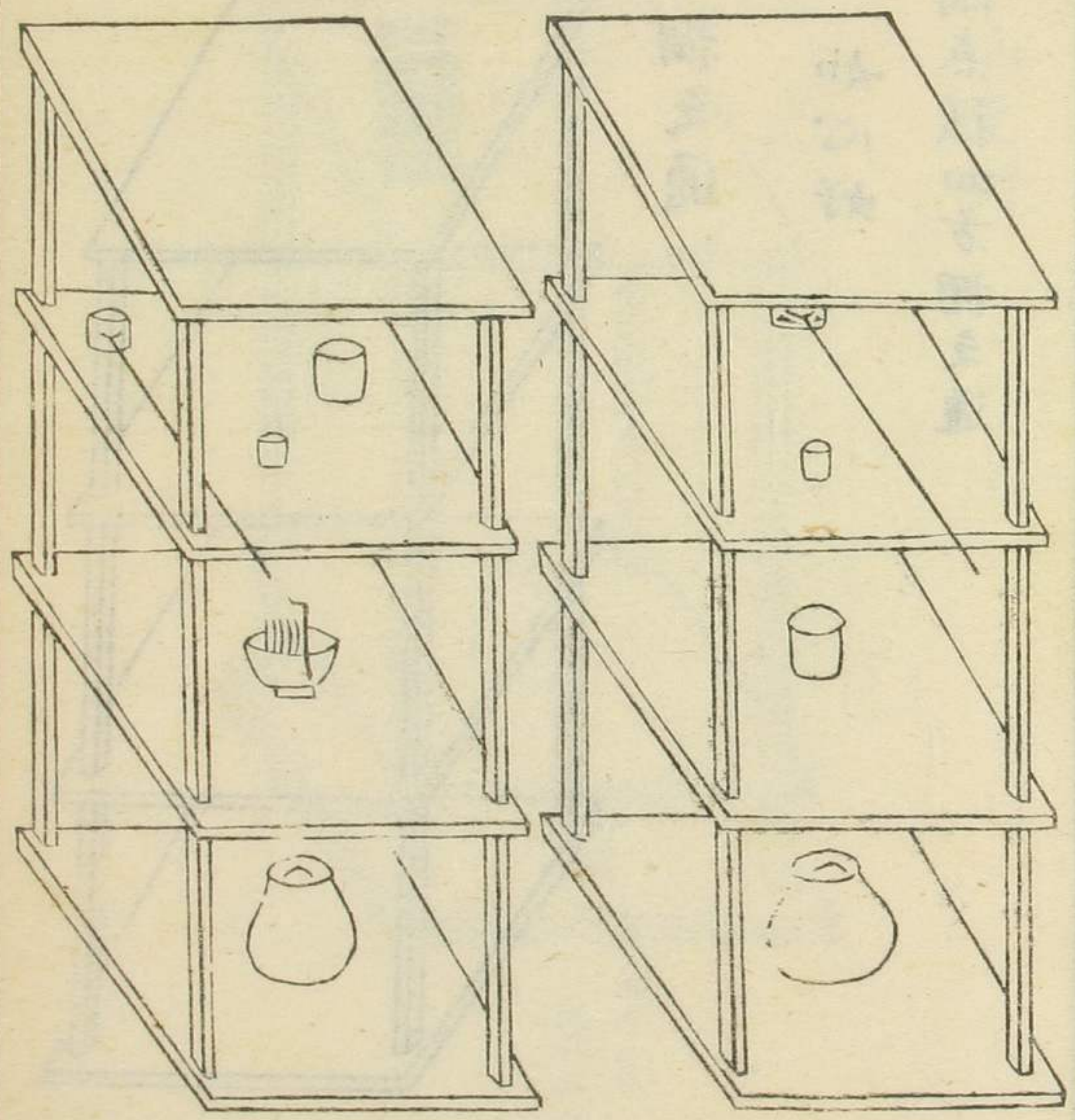
何きも天井真中よ
かざる

右いづれも先ハ不致グー



香合羽箒如圖

戸内ハ替茶碗
替東入ル



一三重棚

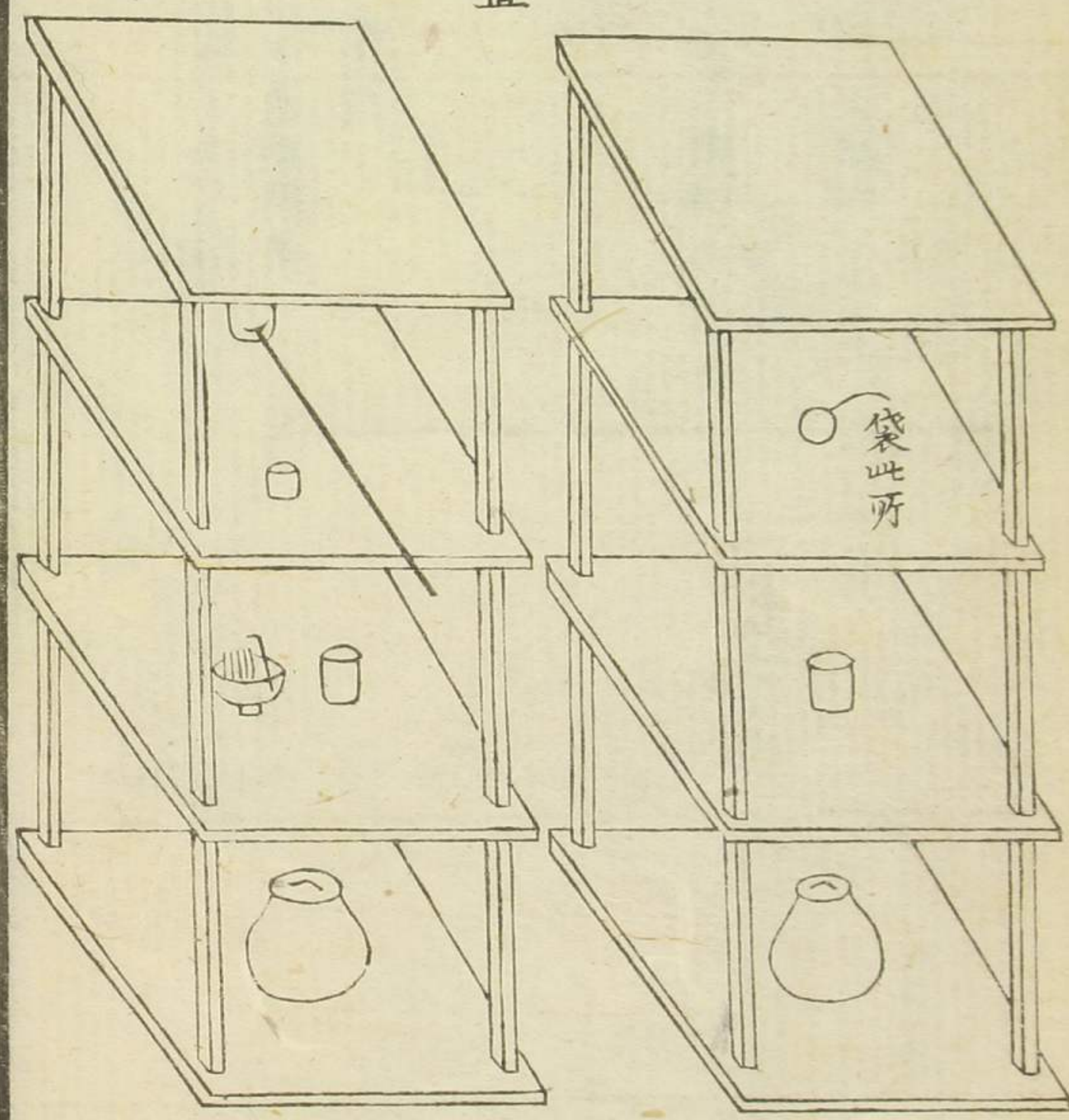
宗令好ハ

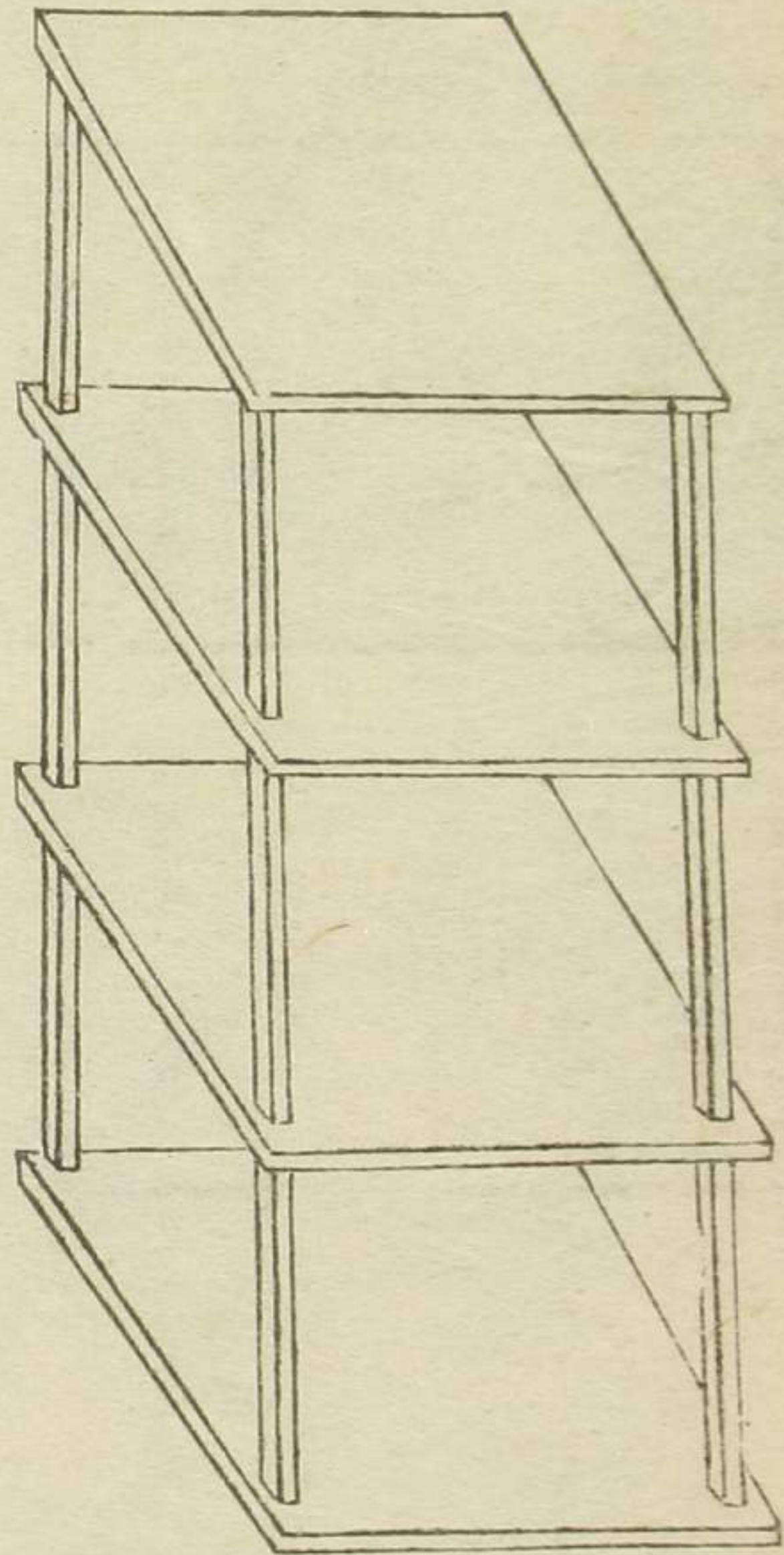
一開張

原叟好ハ桐

如心好ハ桑

初仰向ヲ置



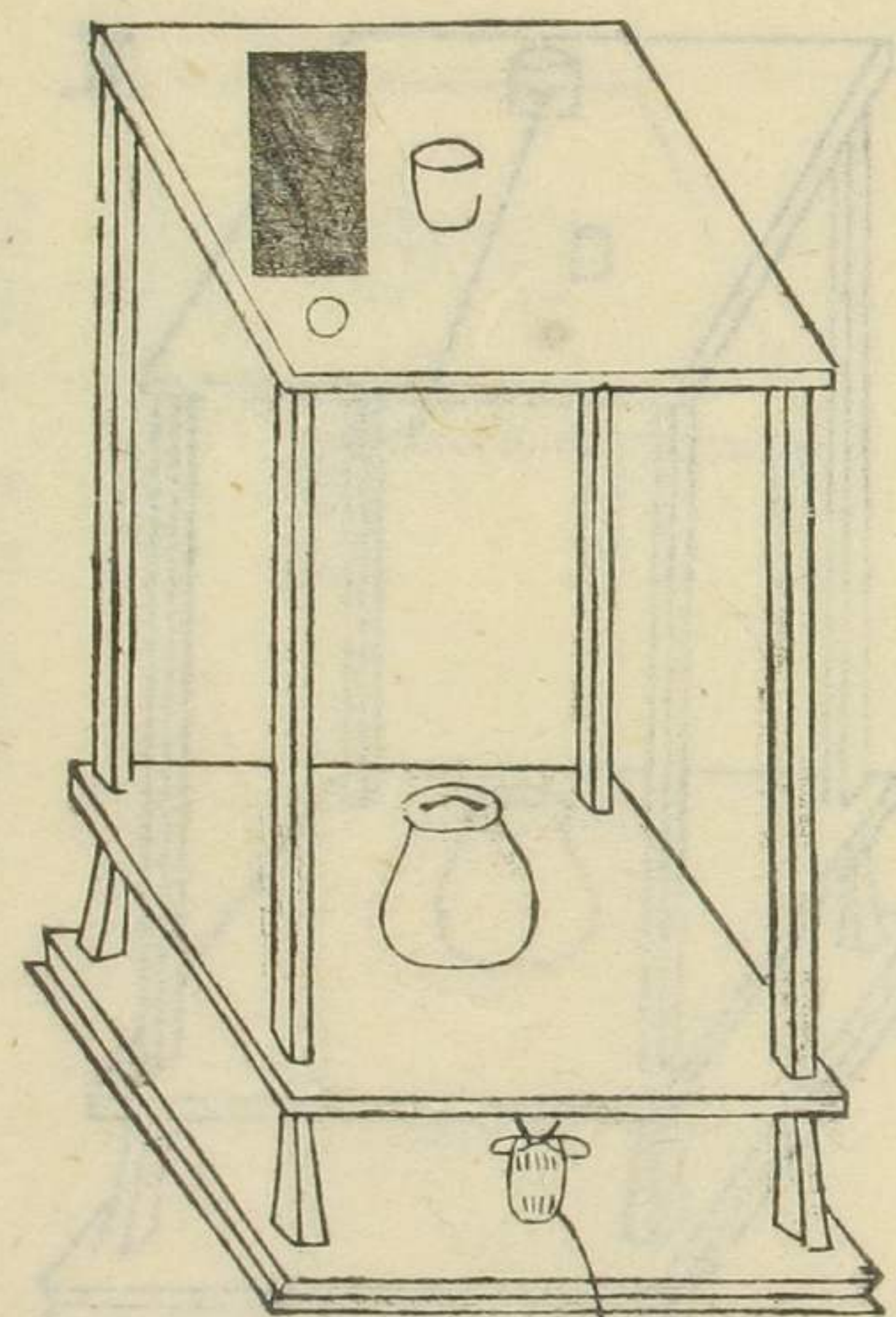


天井飾棚之通

一高麗卓 如心好

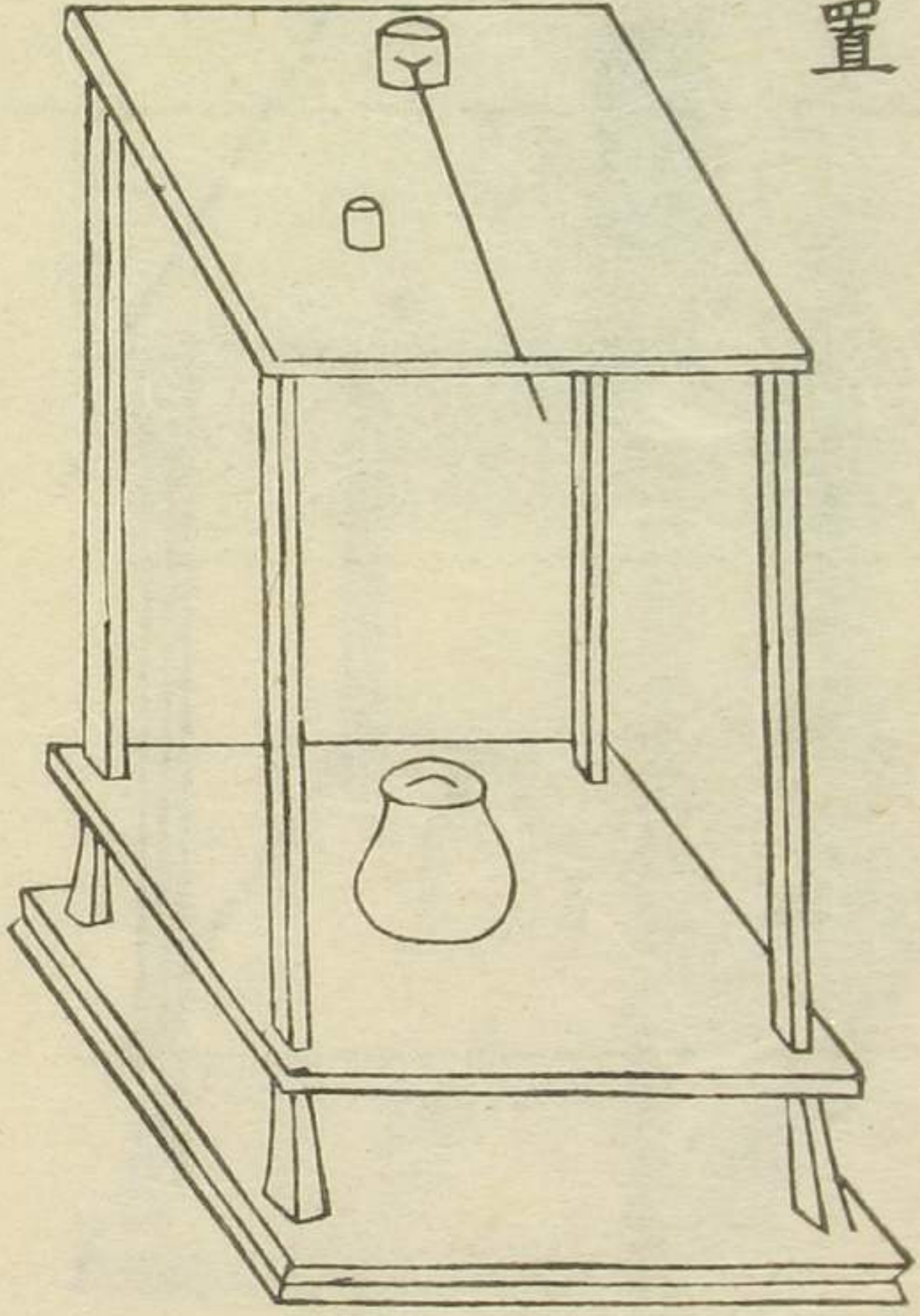
真塗一閑点様四方棚之通

一桑小卓 仙叟好

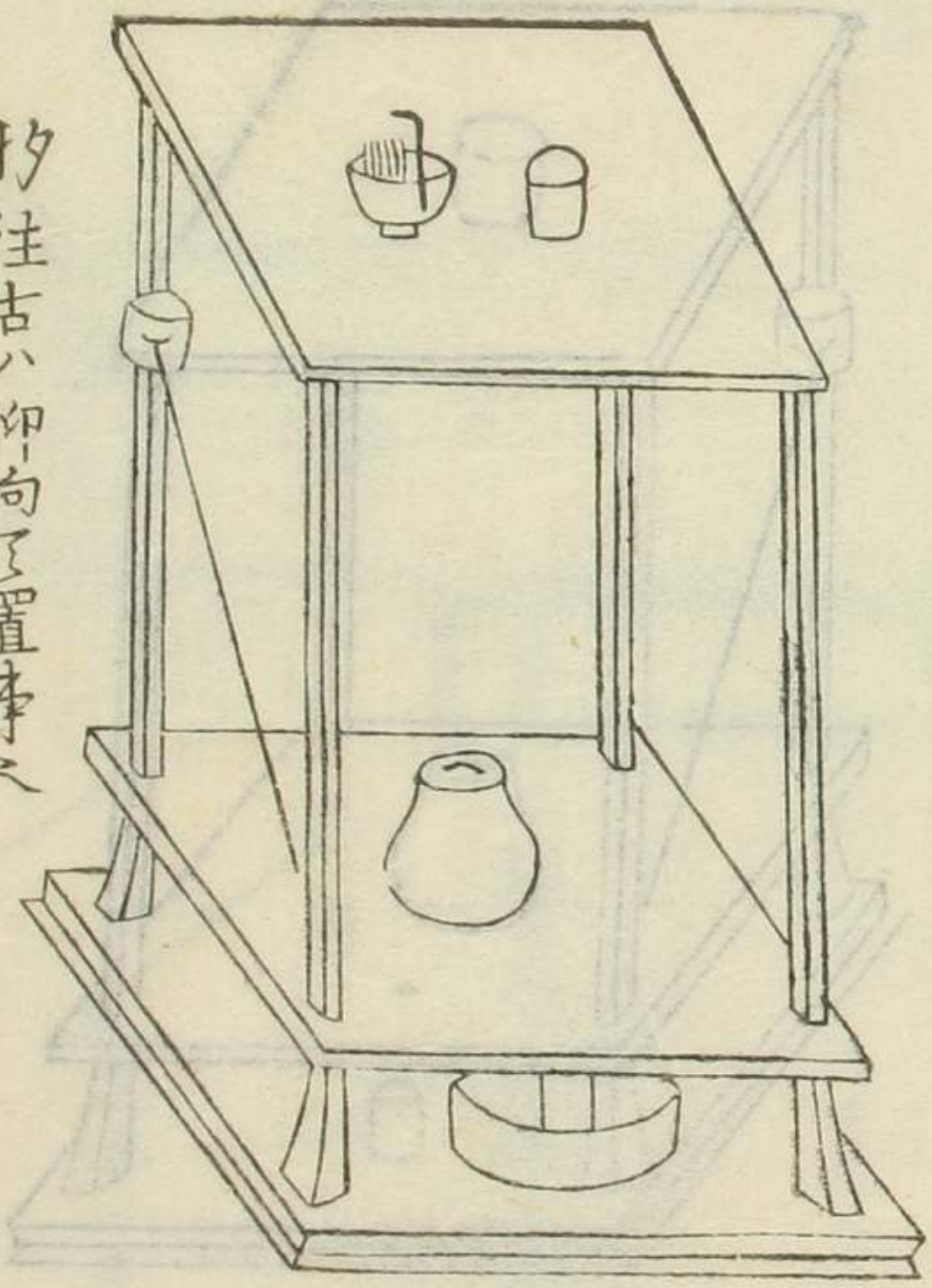


大丰丸
袋此所

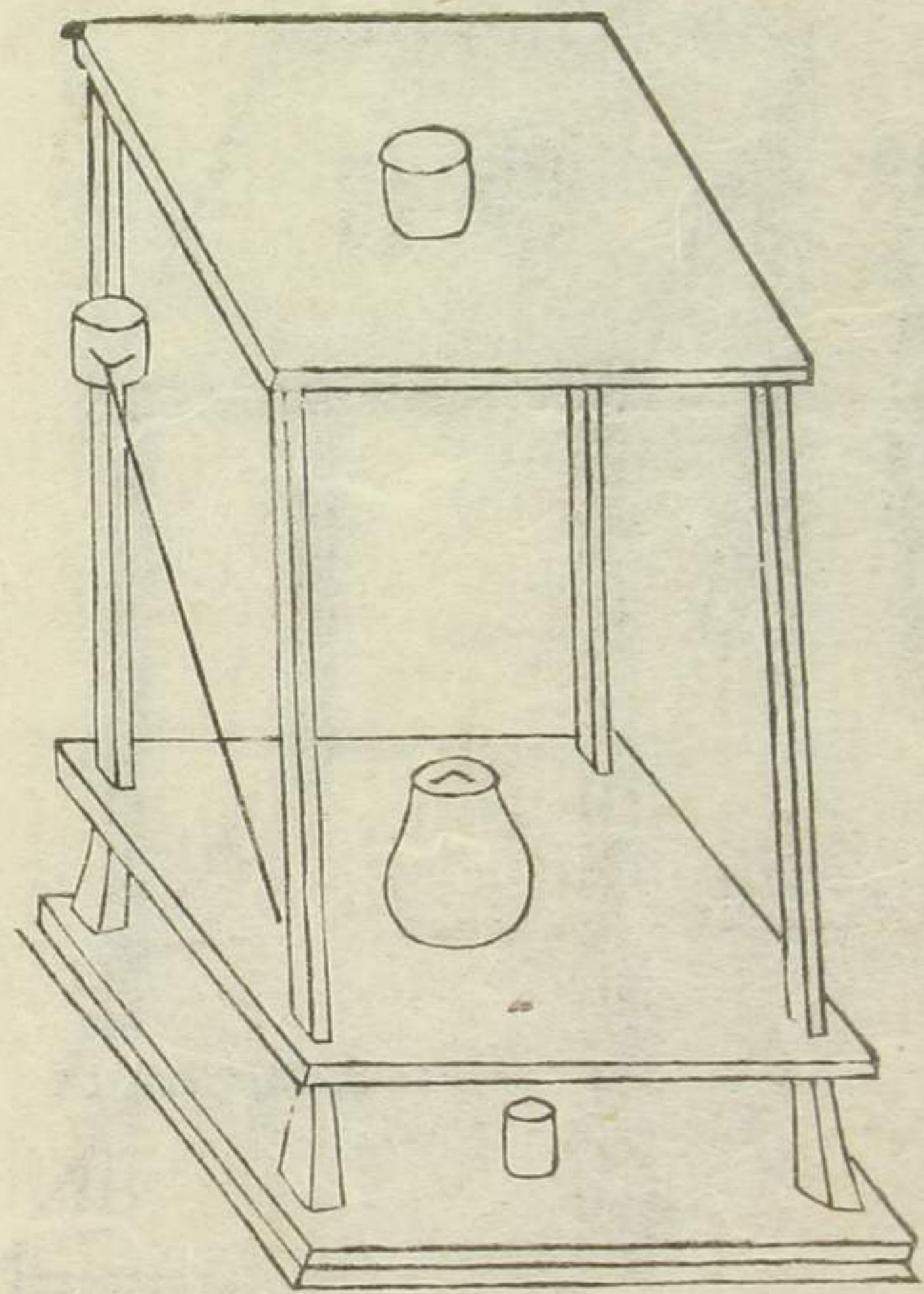
此抄仰向テ置



建水横より出れる事あり建水風爐は時ハ横よりハ
不出建水ハ極て平かざりて脊高きハ不用



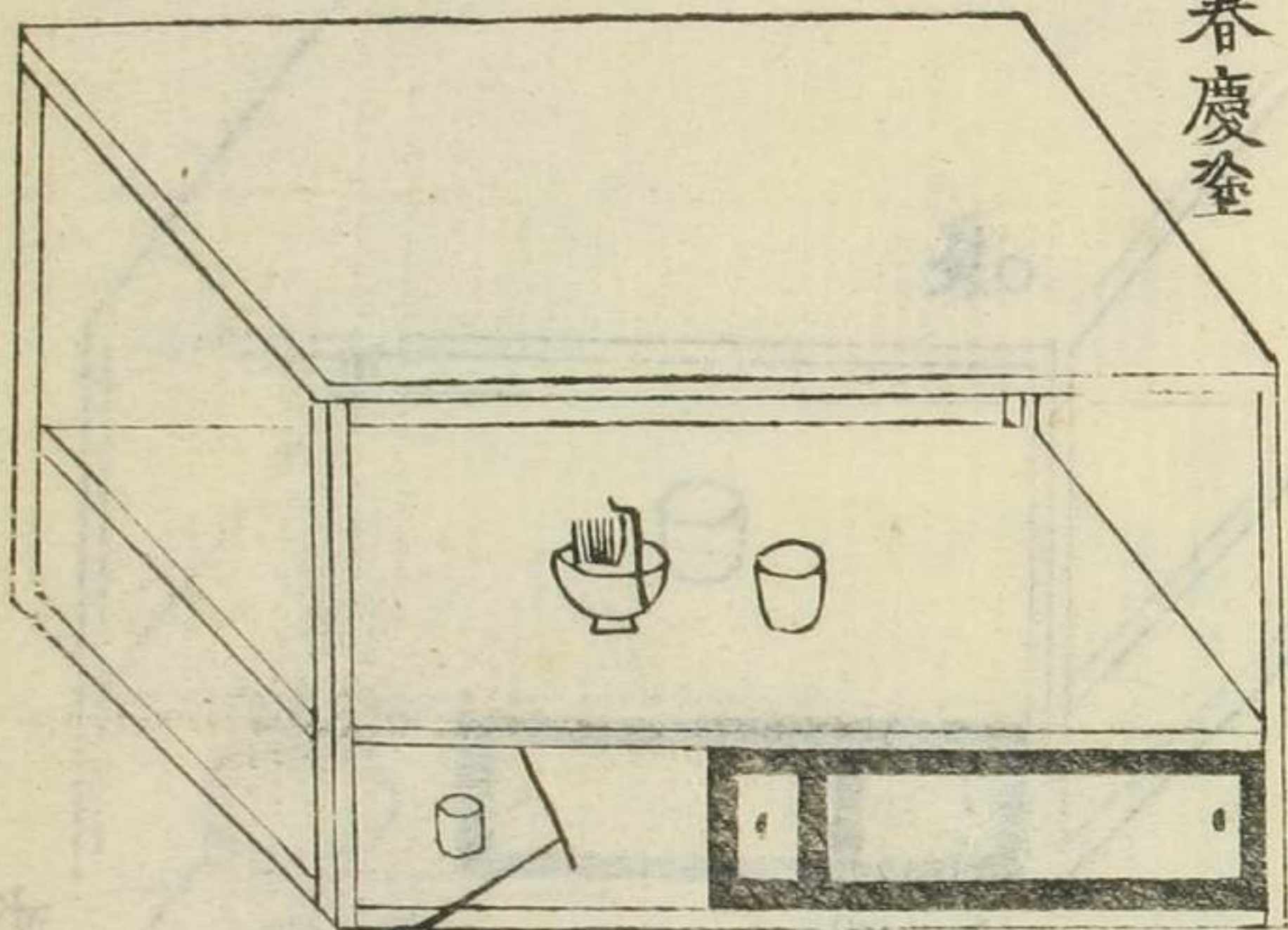
抄往古ハ仰向テ置事之
天然よりしむむを又近來仰向テ相成ヤル



柄抄たゞいれ建水ハ不掛建水付
跡乃方より置へ柄抄引へ

一紹鷗棚 天井飾袋棚之通

春慶塗

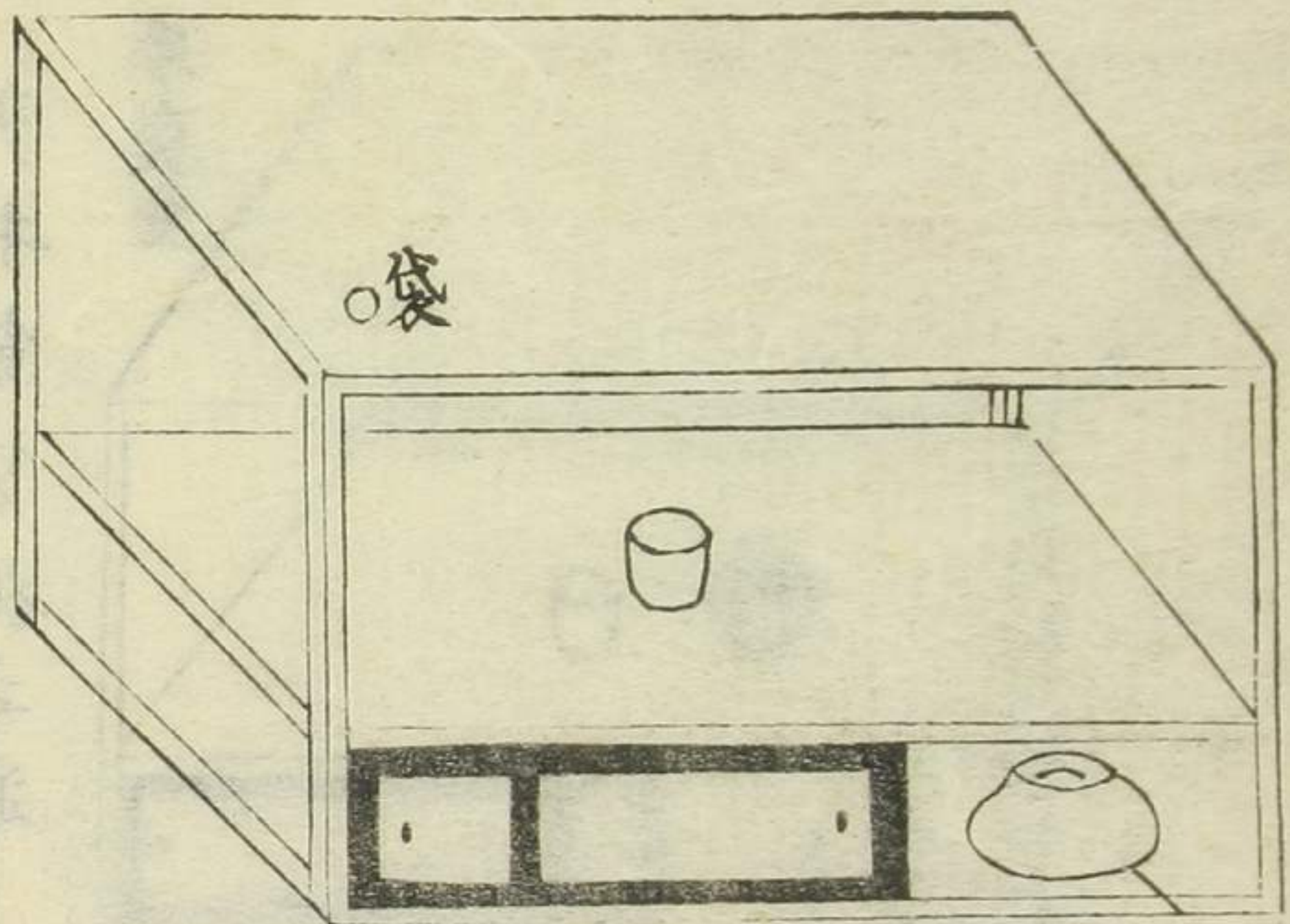


印拙棚といふはう形同様
少く酒塗やうめつき金物
打てはうもはうも

若斯も入る兩掃とも柄仰向

如此時ハ左に

如此時ハ右に

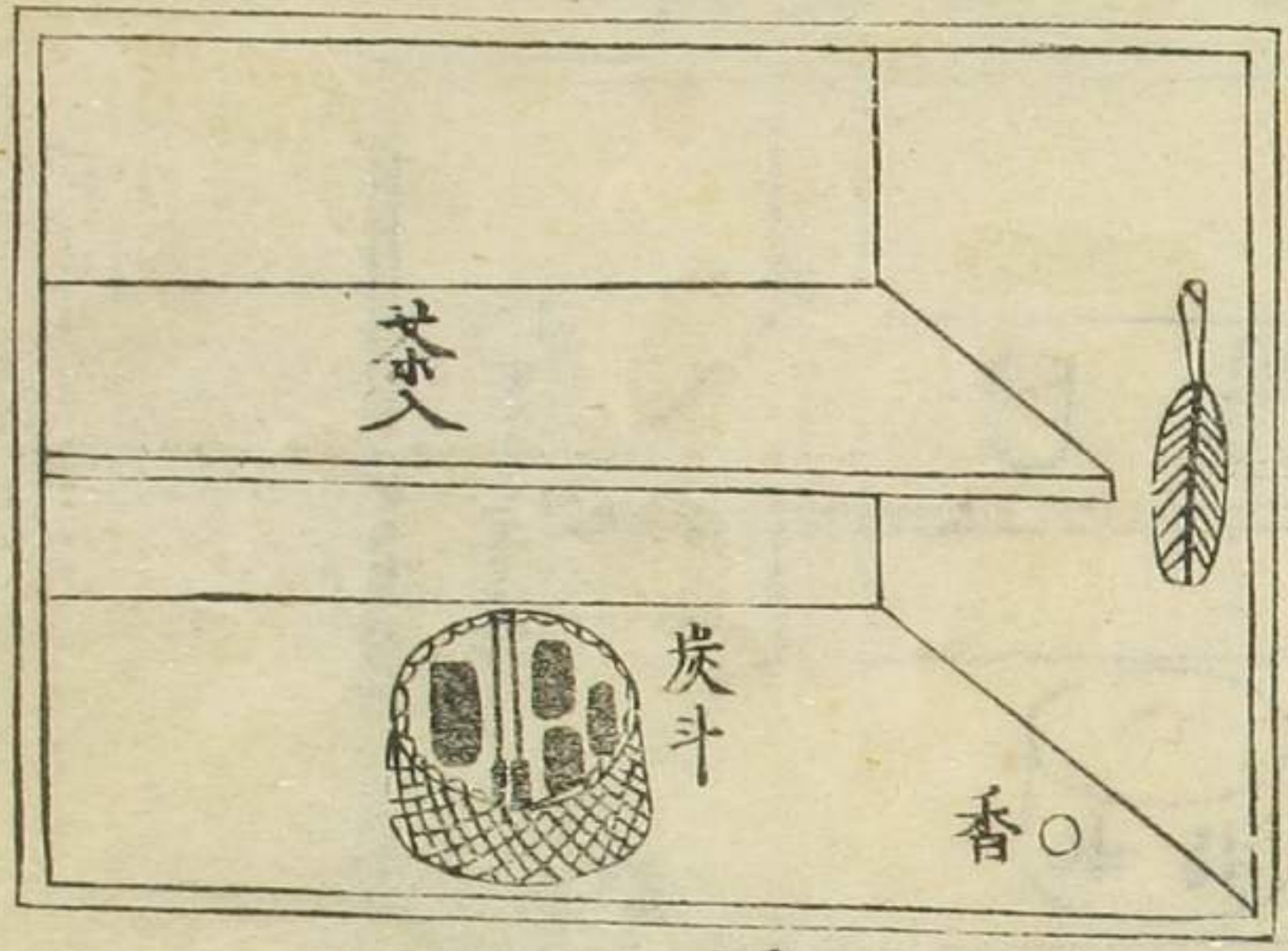


水拍出して点ろくろり
此所より少く客付へよせ置
此時ハ抄や建水へたむらぬ
常々仕通
ふせぬ向てハ不残右はよせ
明くそ仕点前へ開てハ左の
方よりハ左はよせ扱ふ

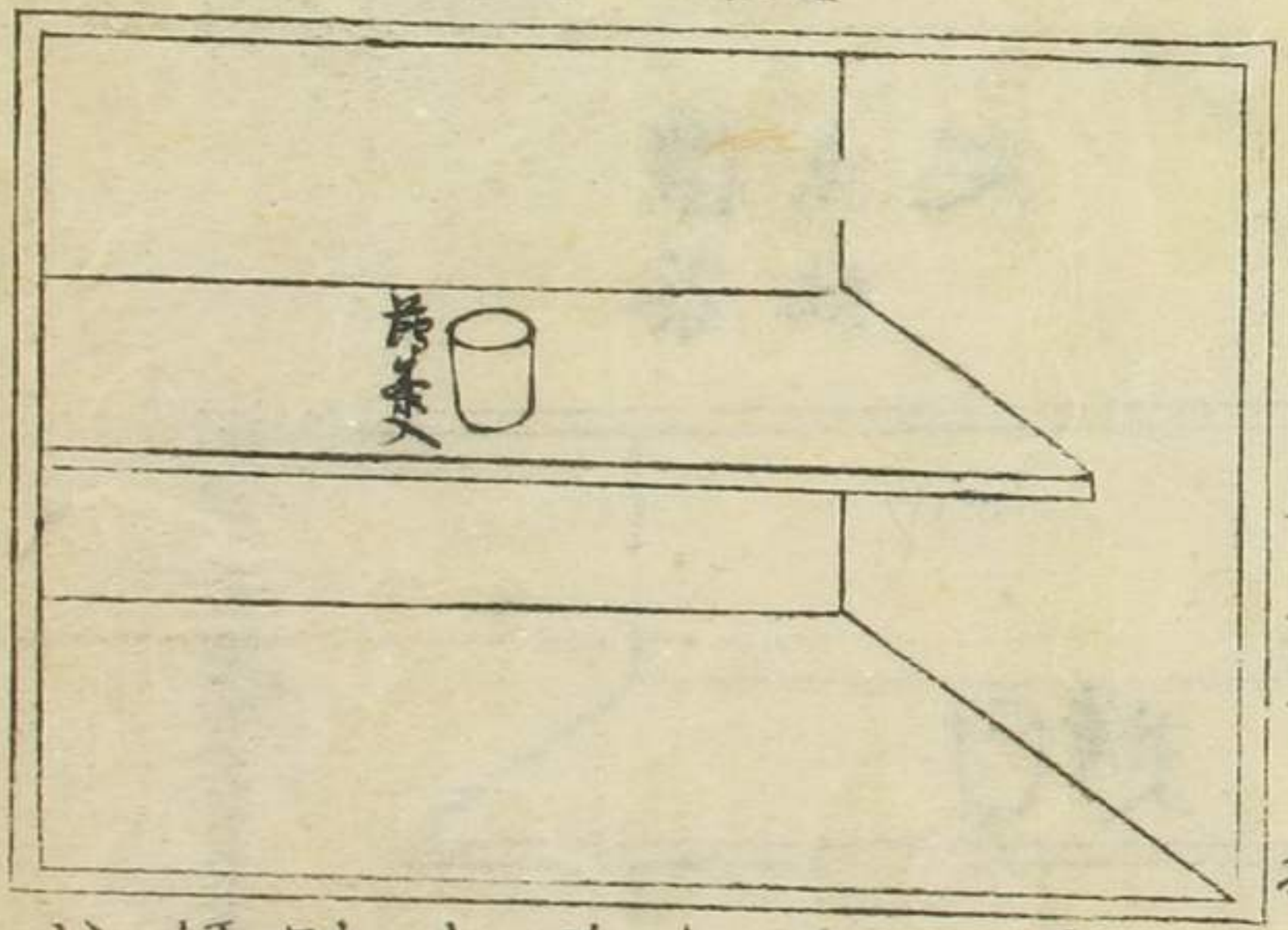
一道幸

若き人々も遣て宜し大目丹は道幸戸向へ引

坐初

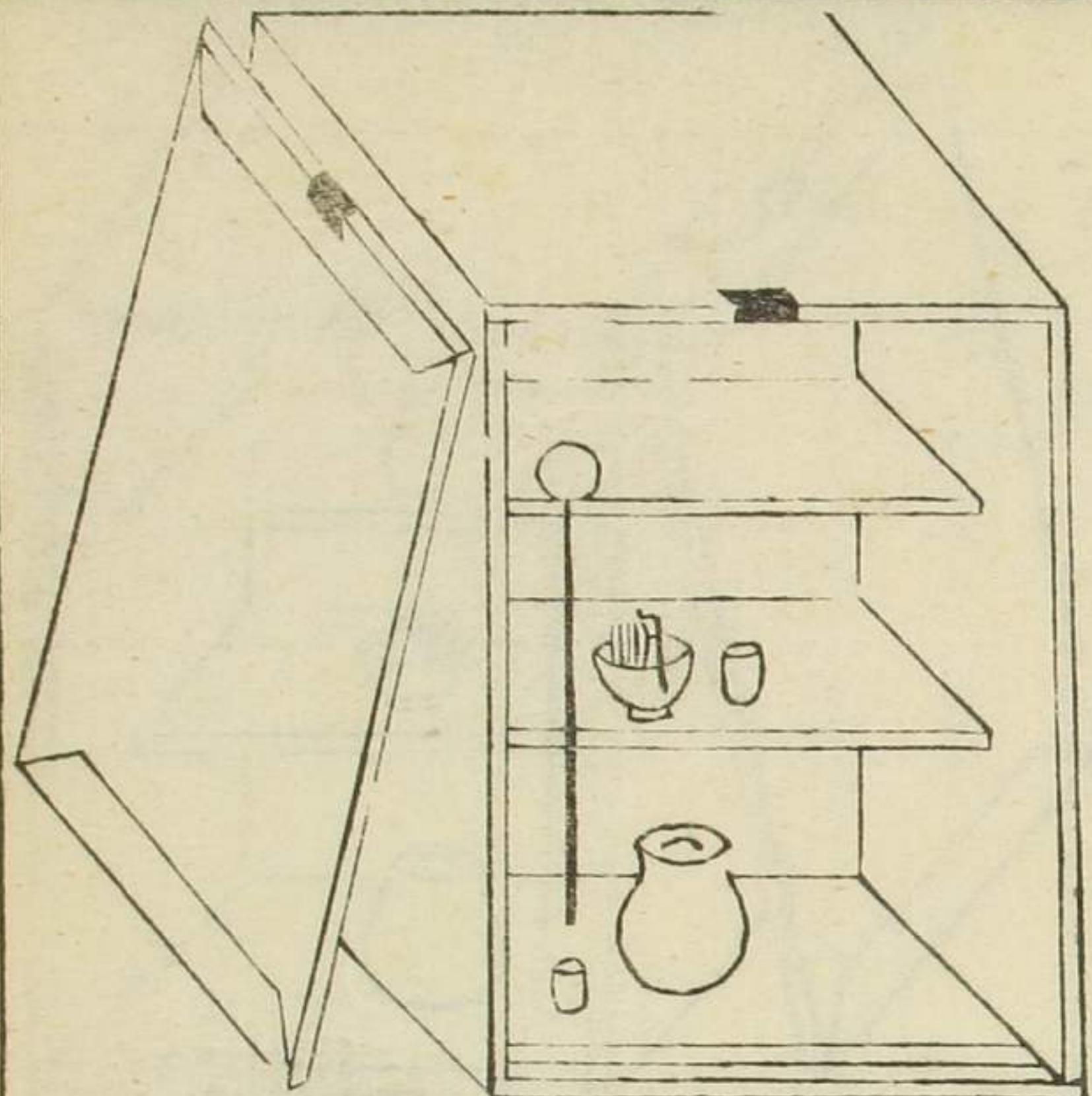


坐後

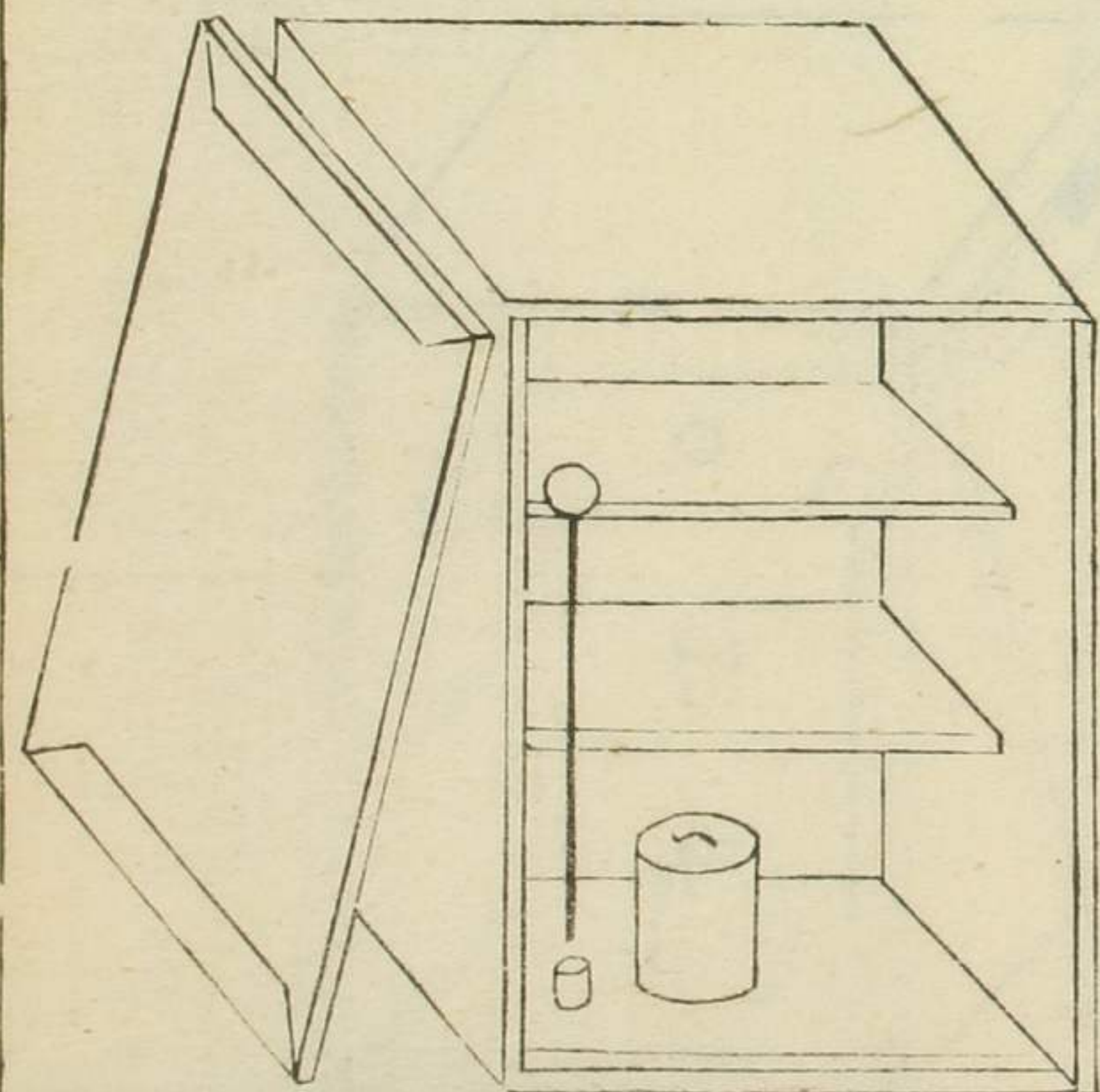


袋ハ釘に掛る但し勝ふは釘に掛るより

取扱申す棚物の通
水扱ハ出へるも休
中せ夏外休ませ
てか
道楽は口一度は
志免又明て水と扱
跡をローウ
柄抄湯返り釘
ハ左はよせ掛

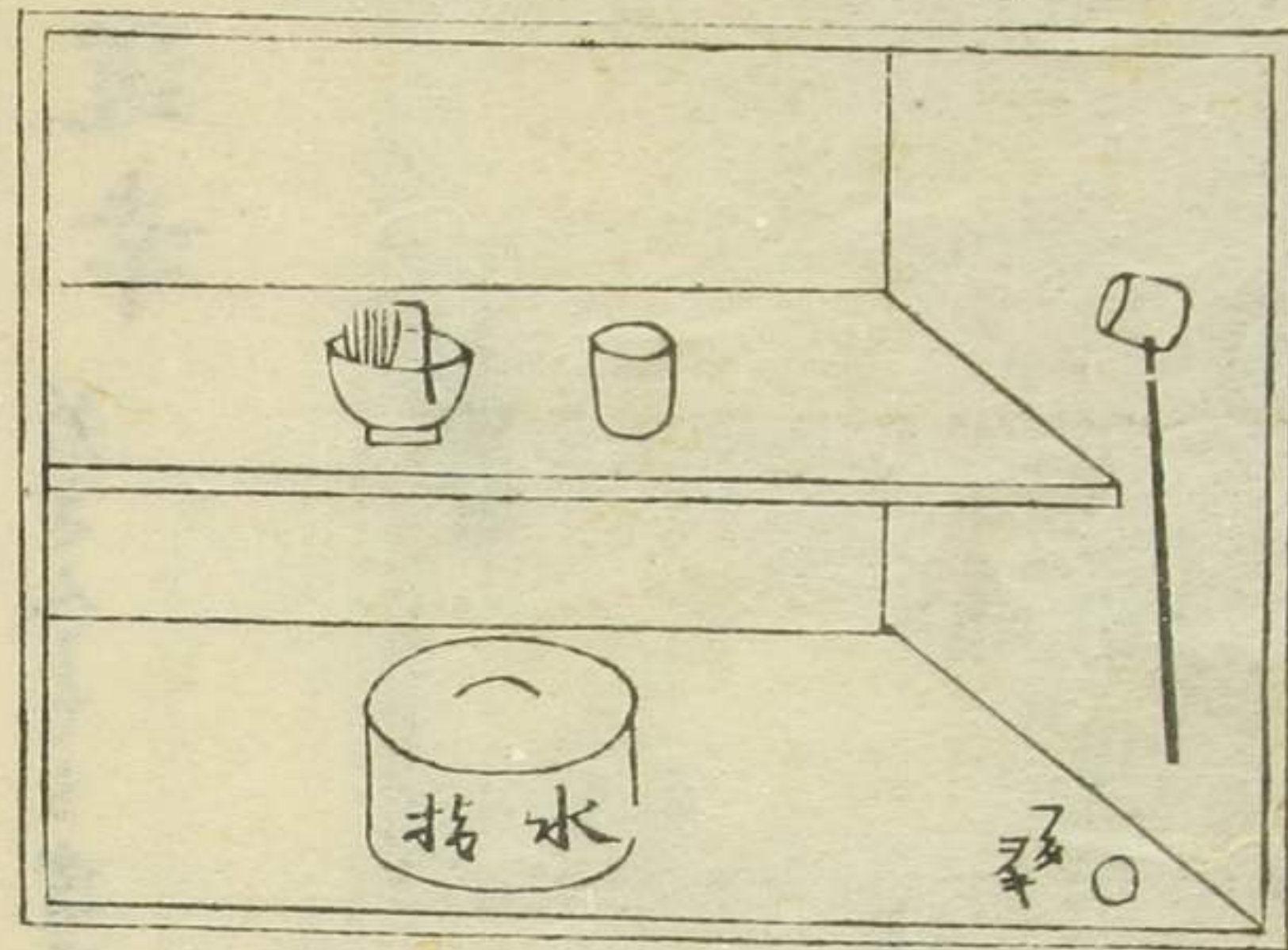


一旅單筥 利休好
扱カウセ向へて掛了

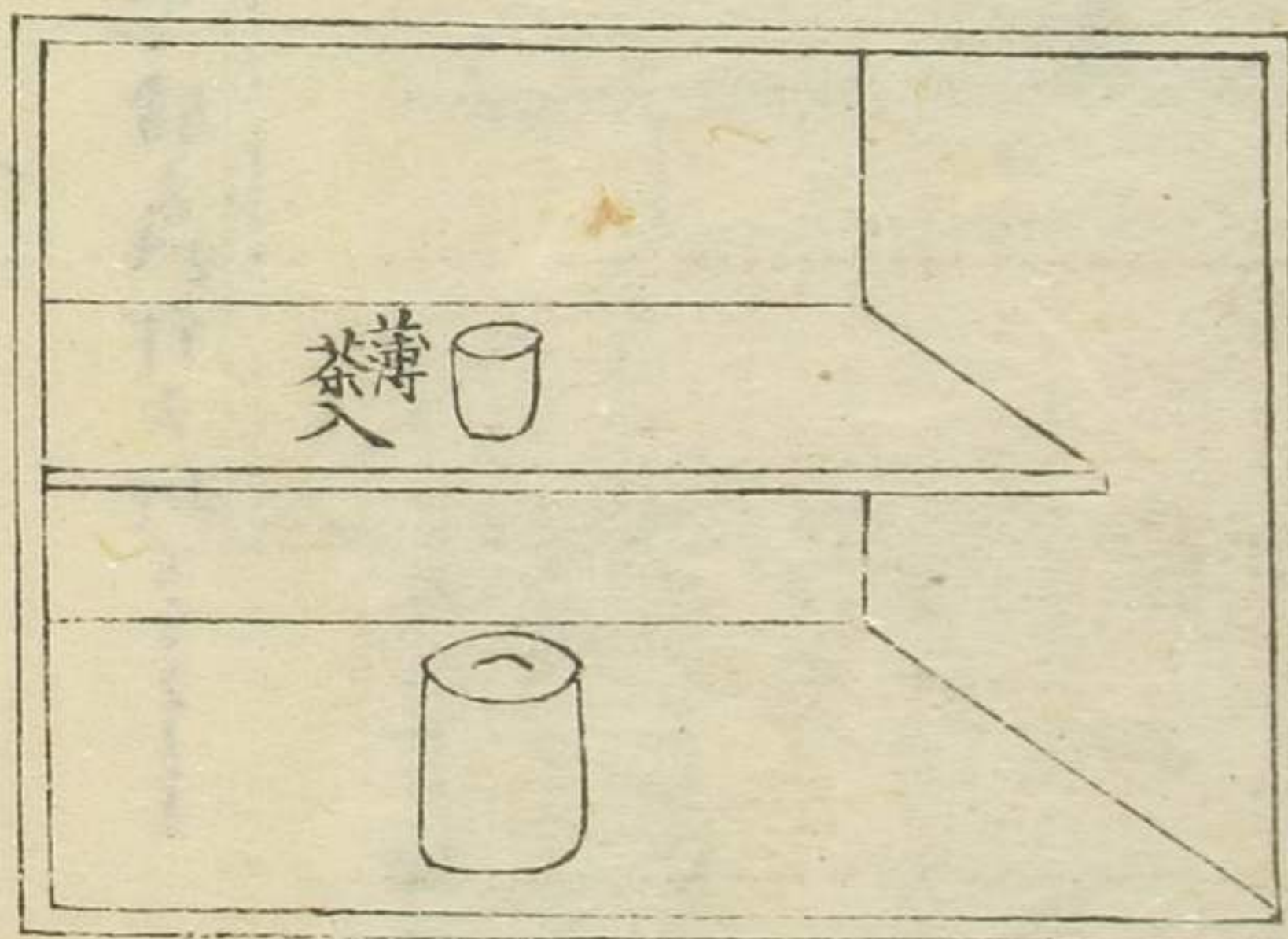


天井飾袋棚之通

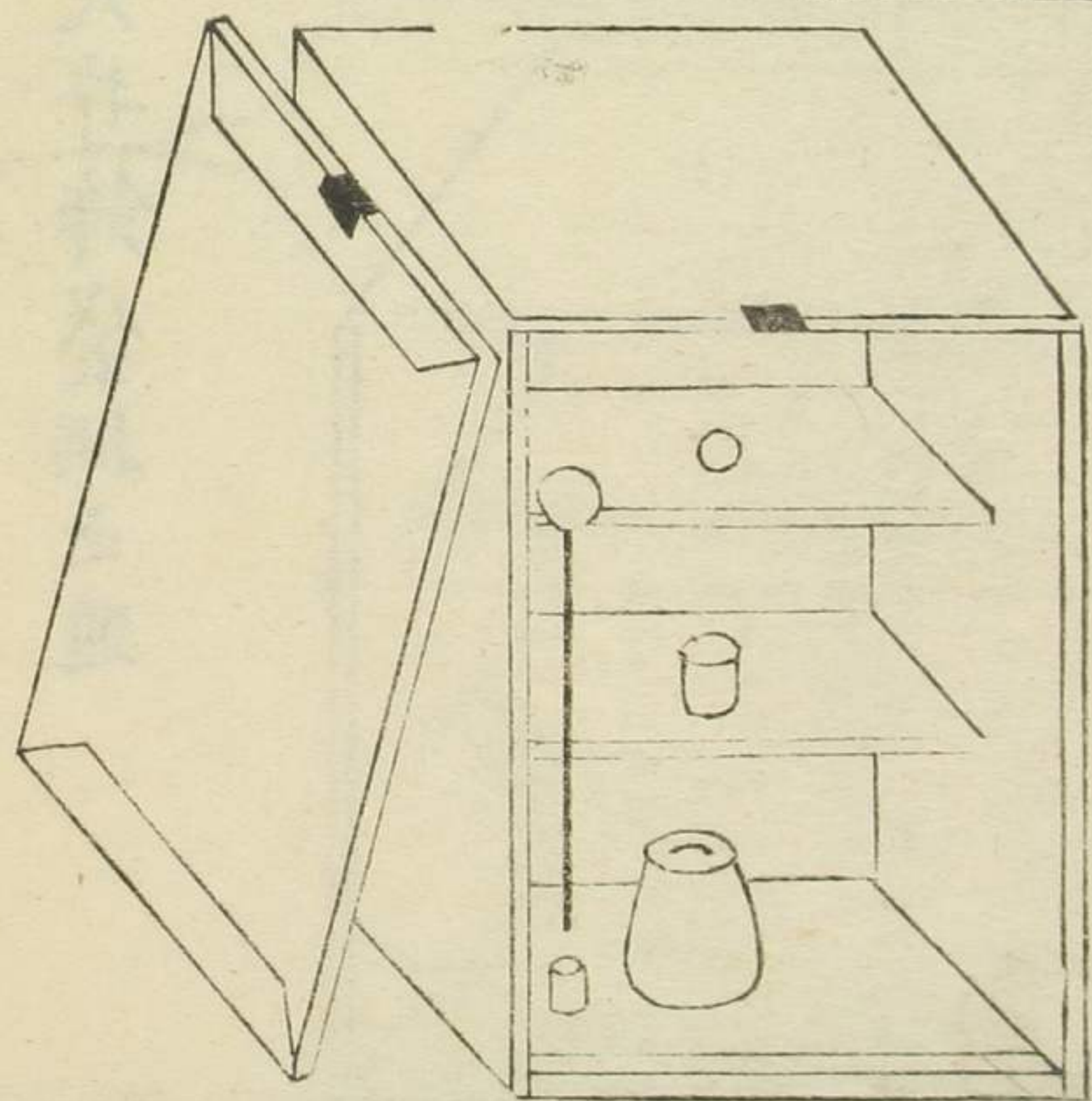
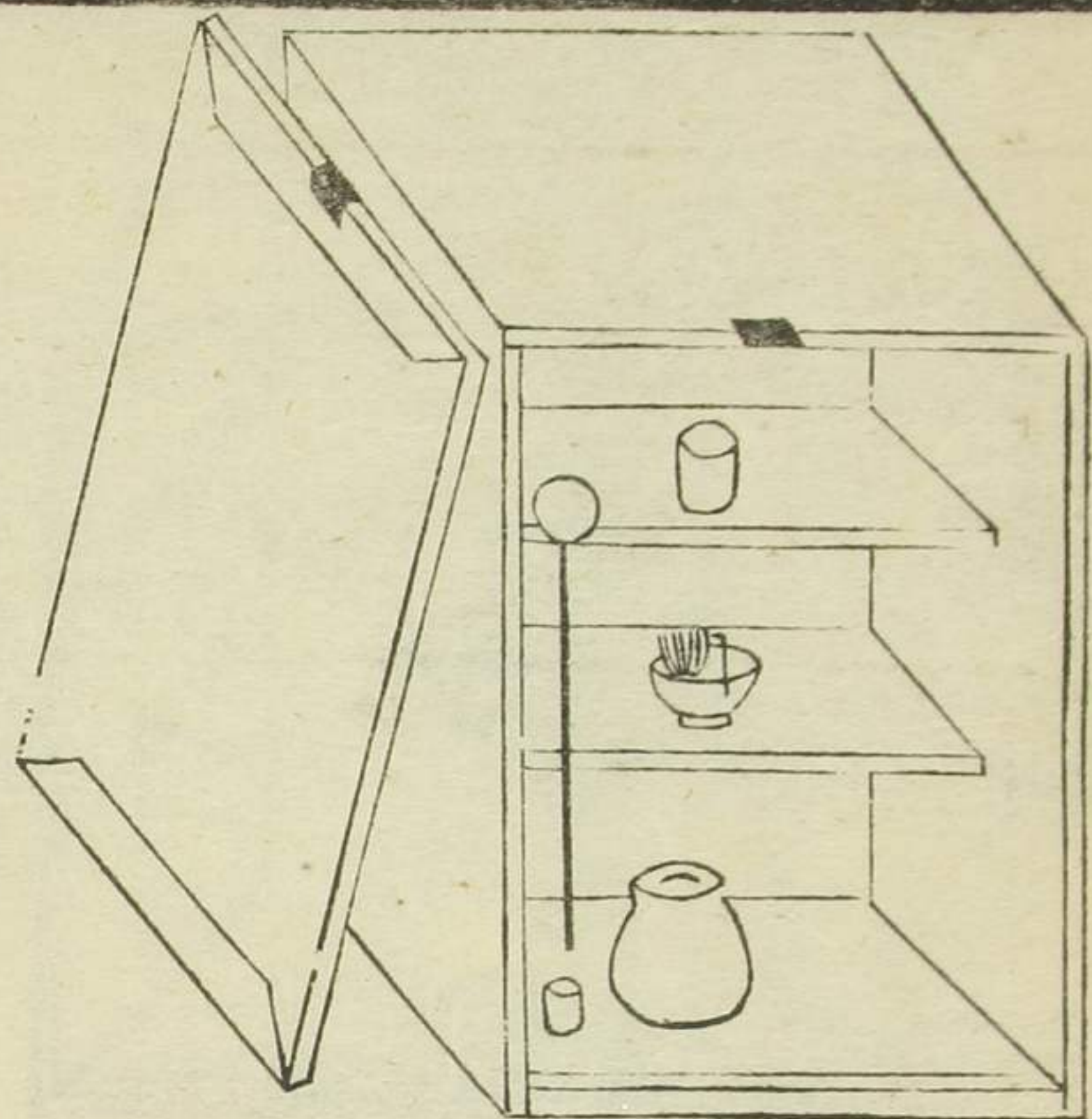
薄茶点仕廻



濃茶点仕廻



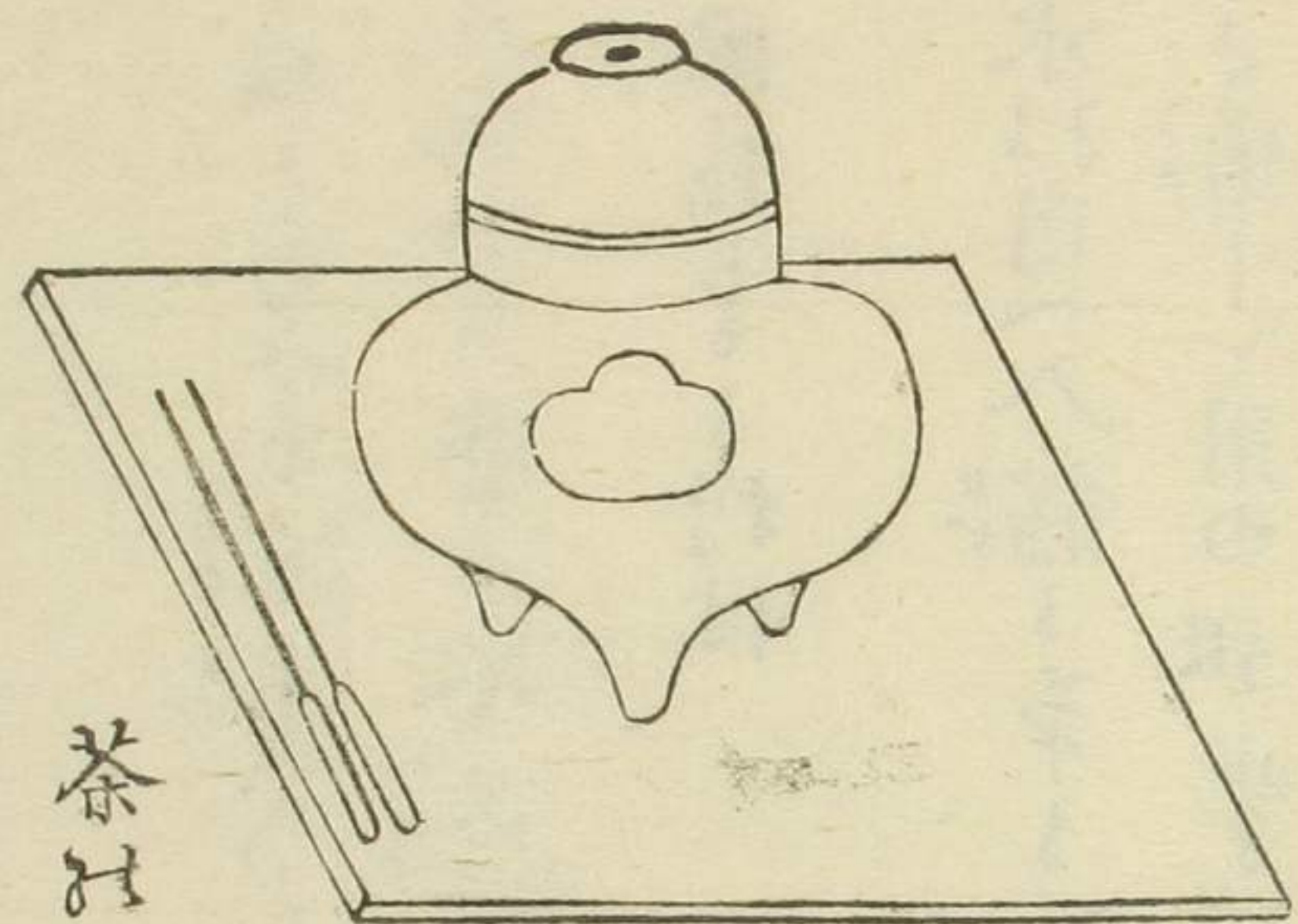
炉風炉とも下は棚引出し点事けり口傳



一凡棚類初坐茶入水指ぐり飾る後坐茶入おろし
 薄茶入飾る皆一撮なり
 点仕廻り柄拍蓋置とも小残さる棚は皆残なり
 勿論湯返りもさる
 濃茶点候茶碗ハ飾り残し事あり

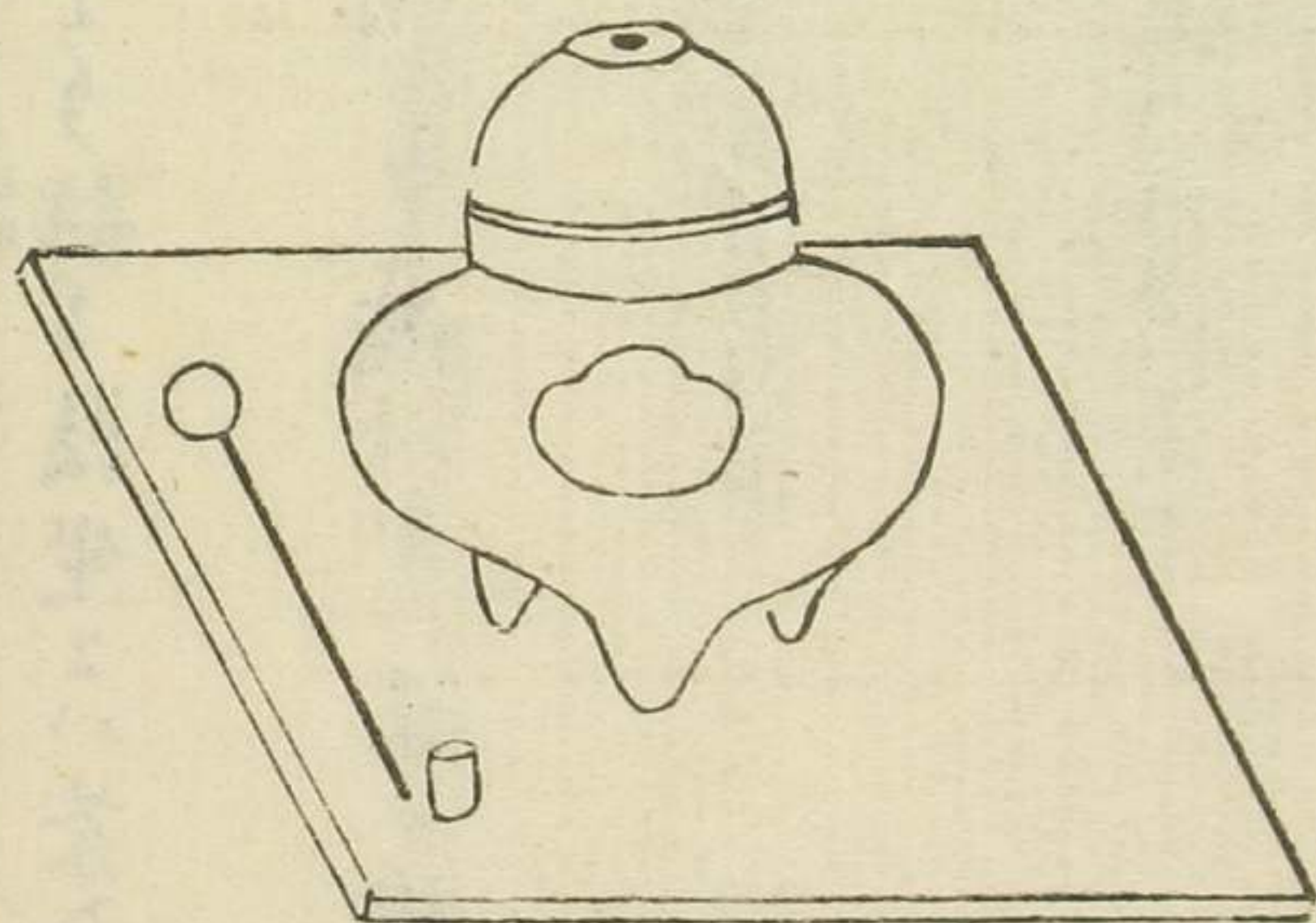
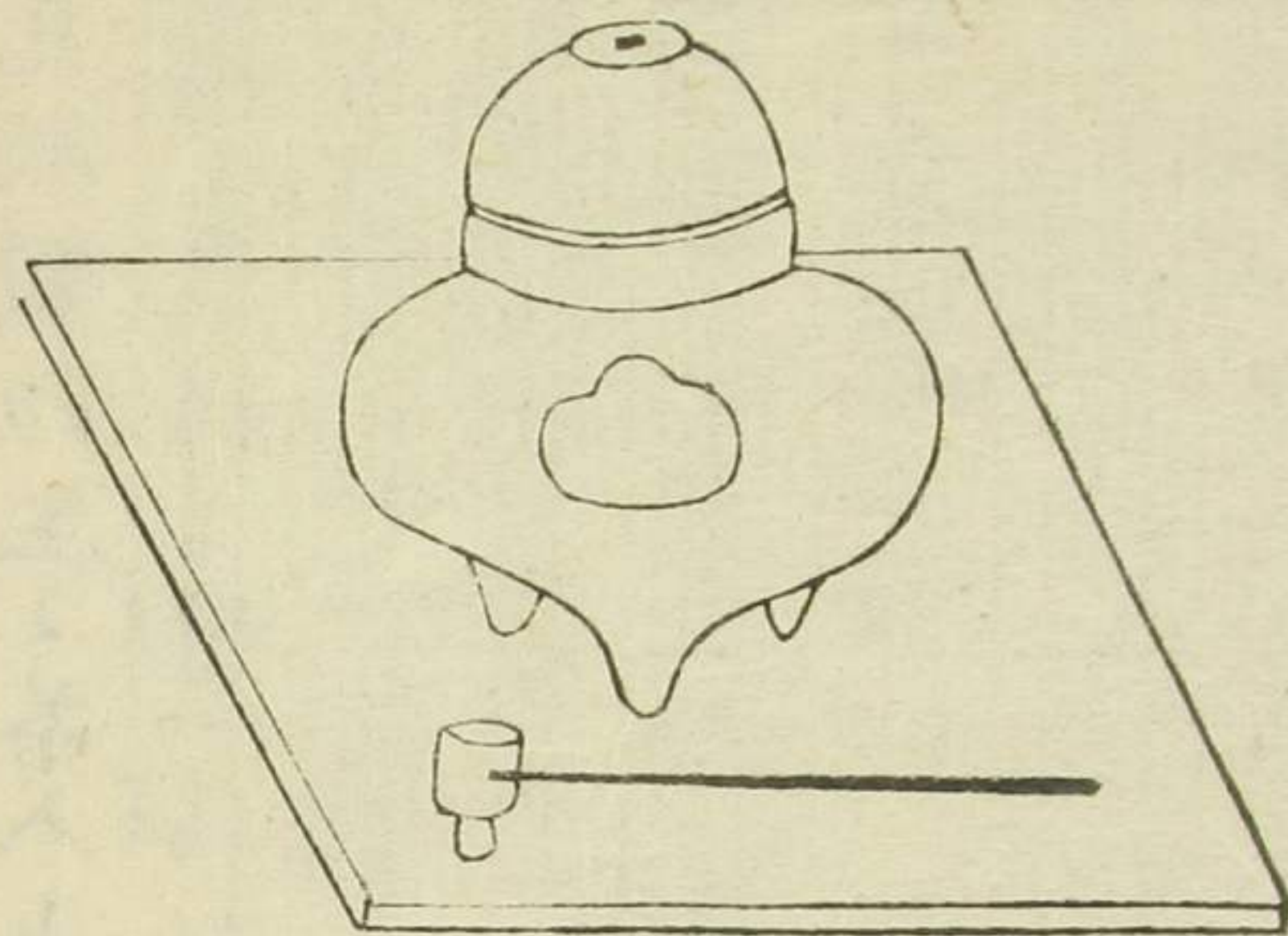
一大板 利休好

点了節如图柄拍前より仕廻湯返り
 如图柄拍より置残し事あり
 象眼入り又格別乃火著ハ如图飾る事あり飾有付ハ
 客一本取て見し事あり



茶社湯乃普小飾之方也
炭仕廻夫より炭斗へ入引

抄仰向了置



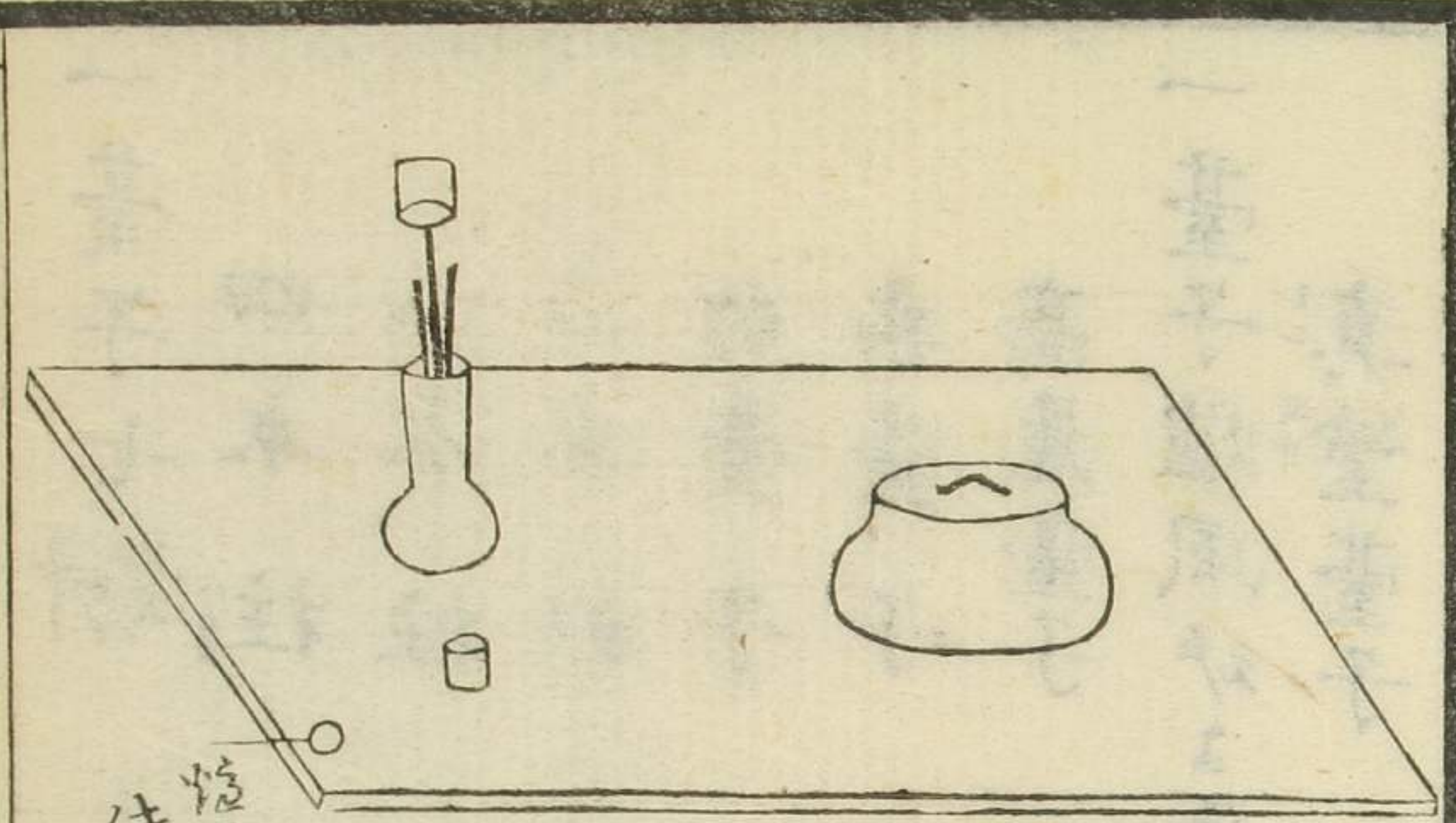
世云大板ハ爐蓋^{ロフタ}ほど有^{カク}真塗^{リウギ}なり是ハ流義^{リウギ}の
形^{カク}なり一千家^{カク}ハ大板^{カク}といふハ長板^{カク}と云フ切^{カク}
形^{カク}なり

世云半板といふハ流義^{リウギ}乃大板^{カク}ハ事^{カク}之
爐蓋^{ロフタ}ハ本地^{カク}なり常^{カク}ニ谷^{カク}不^{カク}掛^{カク}常用^{カク}也

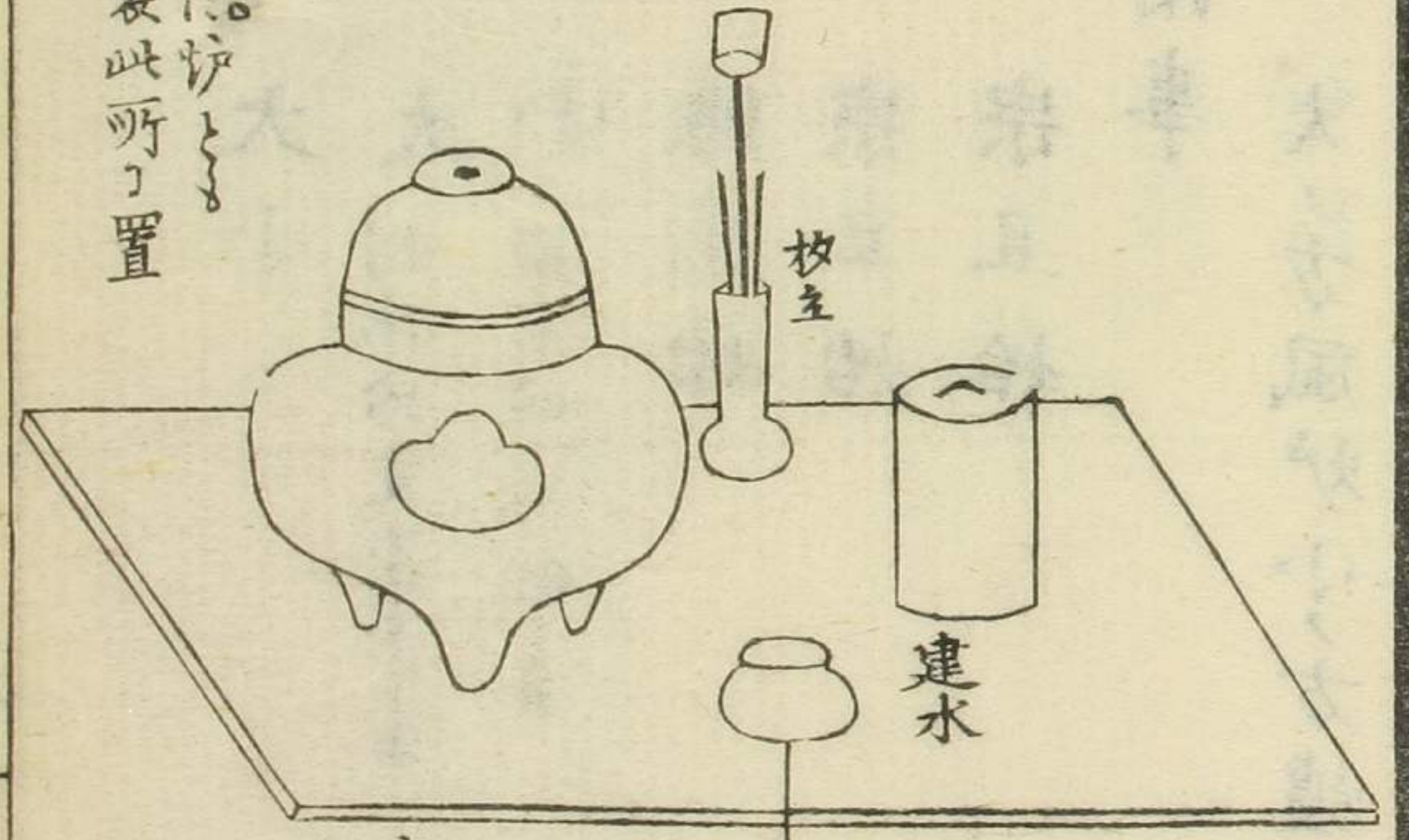
長板

炉風爐とも利休

蓋^{フタ}置^{フタ}建水^{カク}内^{カク}へ入^{カク}餽^{カク}る事^{カク}も何^{カク}の蓋^{カク}置^{カク}斗^{カク}り並^{カク}てよし
柄^{カク}抄^{カク}法^{カク}と通^{カク}して用^{カク}也但^{カク}常^{カク}に^{カク}ともよし



爐風爐とも
袋^{カク}此^{カク}所^{カク}に置^{カク}



建水

蓋置中へ入

但蓋置斗^{カク}も
此^{カク}所^{カク}に置^{カク}

土風爐^{カク}ハ風爐^{カク}
とも小用^{カク}也

一臺子七カサ 鑄

四本柱ハシラ

大小

二本柱

大 利休始及臺子ト云

二本柱

小 宗且始凡紅ト云

竹臺子

珠光始

桑臺子

宗且始

高麗臺子

宗且始

一臺子爐風炉カマド用事

真塗臺子シロヤリ

大ノ方風炉小ノ方爐

桑臺子

炉計

凡紅臺子

炉計

竹臺子

炉風炉

及臺子

炉風炉

高麗臺子

炉計

一臺子長板火箸取扱シヤク樣

臺子カマド用事カマド

○ニツ羽ハネと出デし夫ソノトウ火箸ヒヤクシと扱遣シヤクふ仕廻シマひ言イハふ金カネ仕シ蓋フタトシ掃仕廻ハキ夫ソノトウ火箸ヒヤクシとニツ羽ハネトシ掃ハキ又扱シヤク乃ナリ通抄ツウシャウト云イハル

茶式明月抄下

○三ツ羽と出し香合と出し釜と揚一篇掃夫より火
箸とぬききつてまよし仕廻りその上より同ト

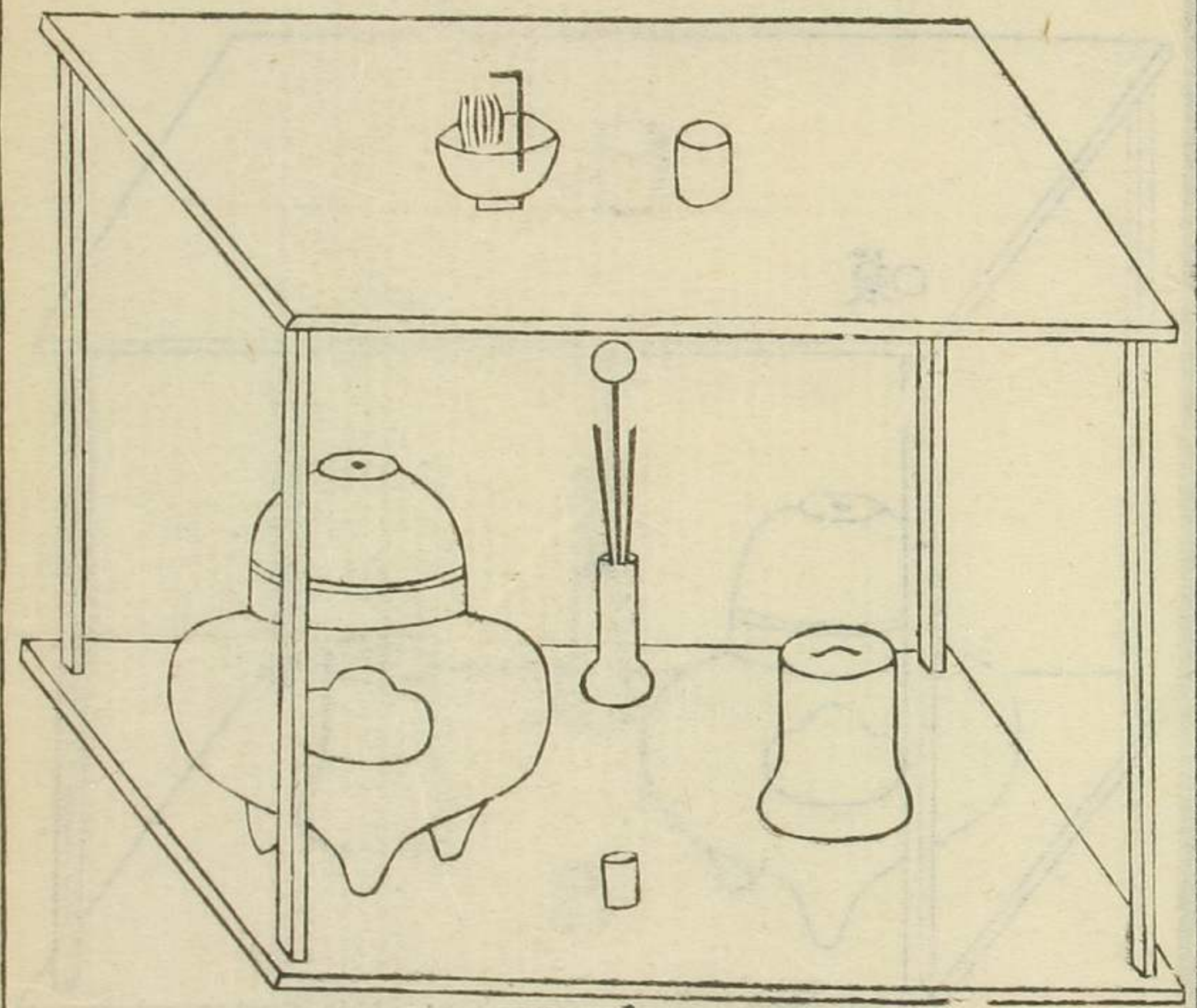
一臺子 饅

抄ハ貫通と用

月形よりより

炉炭仕節

羽箒と少し開き火箸とぬき炭と致事常は通炭とて
釜の蓋羽がごとくさくさくハ蓋切掛炭斗ハ羽箒とせ夫より
火箸と取拂少し開き火箸と抄まよし
風燈乃節も右仕心得を扱べし



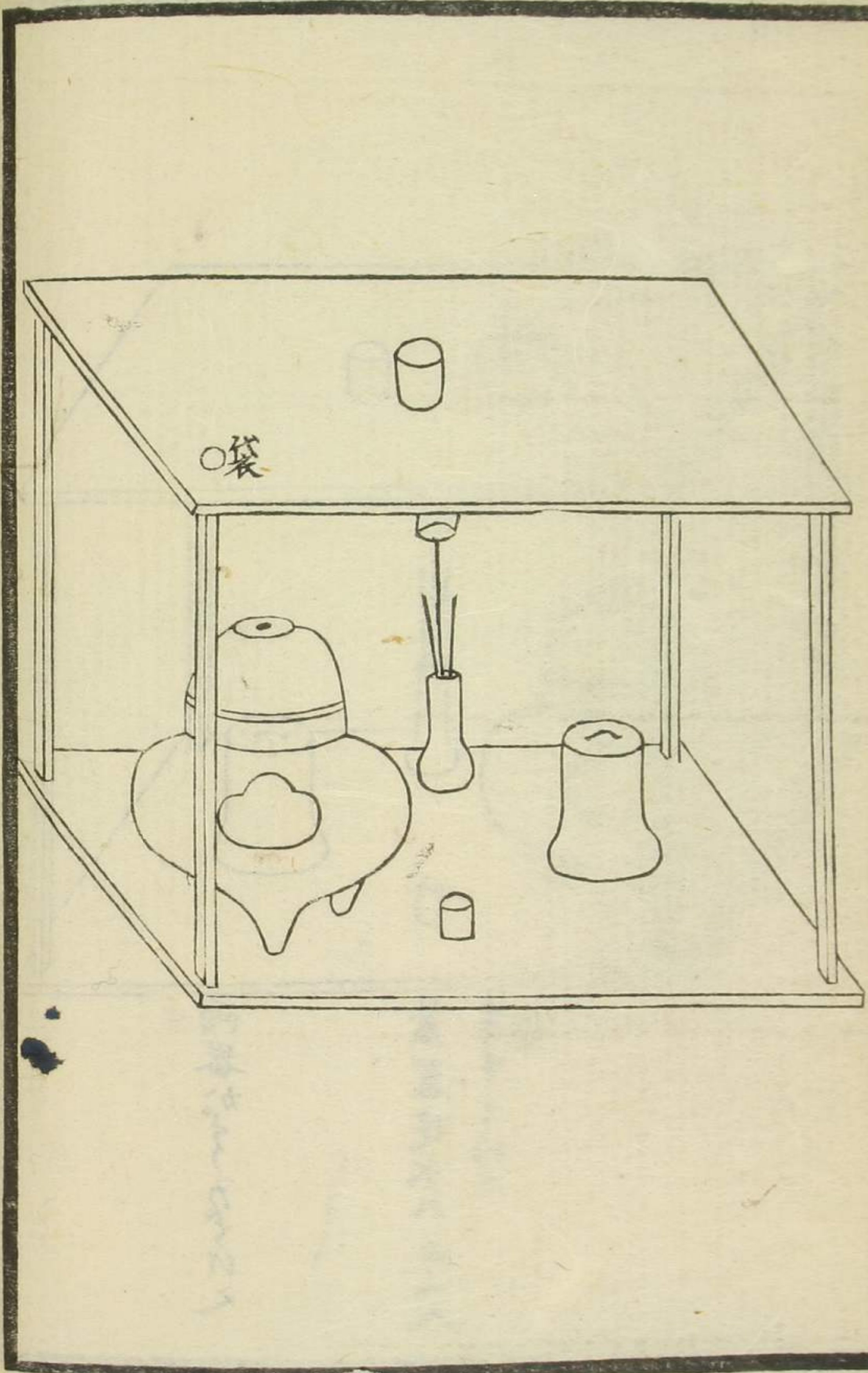
両器がどうなる之

蓋置建水ハ中へ入
置事ハ

茶式明月抄下

其

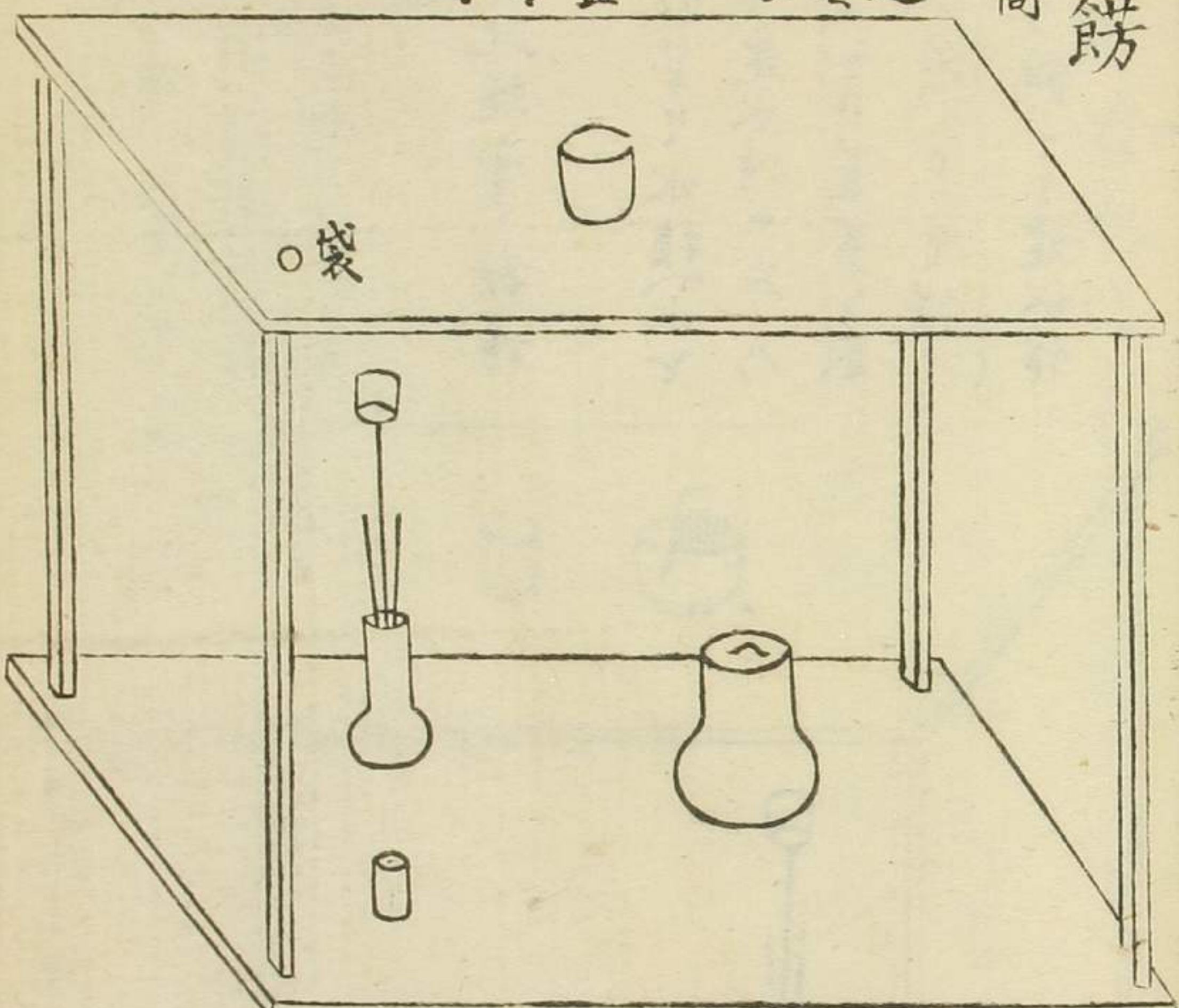
茶式胡月抄下



一爐臺子 抄前同

○湯茶お首中仕廻
の時ハ柄抄と抄
戻しと置も戻
おくわ

○中蓋の時ハ抄蓋
置とてても又
蓋置と抄引ても
よ一両やう也



○建水金の物煉物類
を仕所はても餅
てまわ

○曲建水ハ不焼

○ホヤハ蓋置ハ中蓋
おきも臺子ハか
方
右ハおハ扱ハ有
蓋おハおハ中
お首ハ抄引て宜

茶式胡月抄下

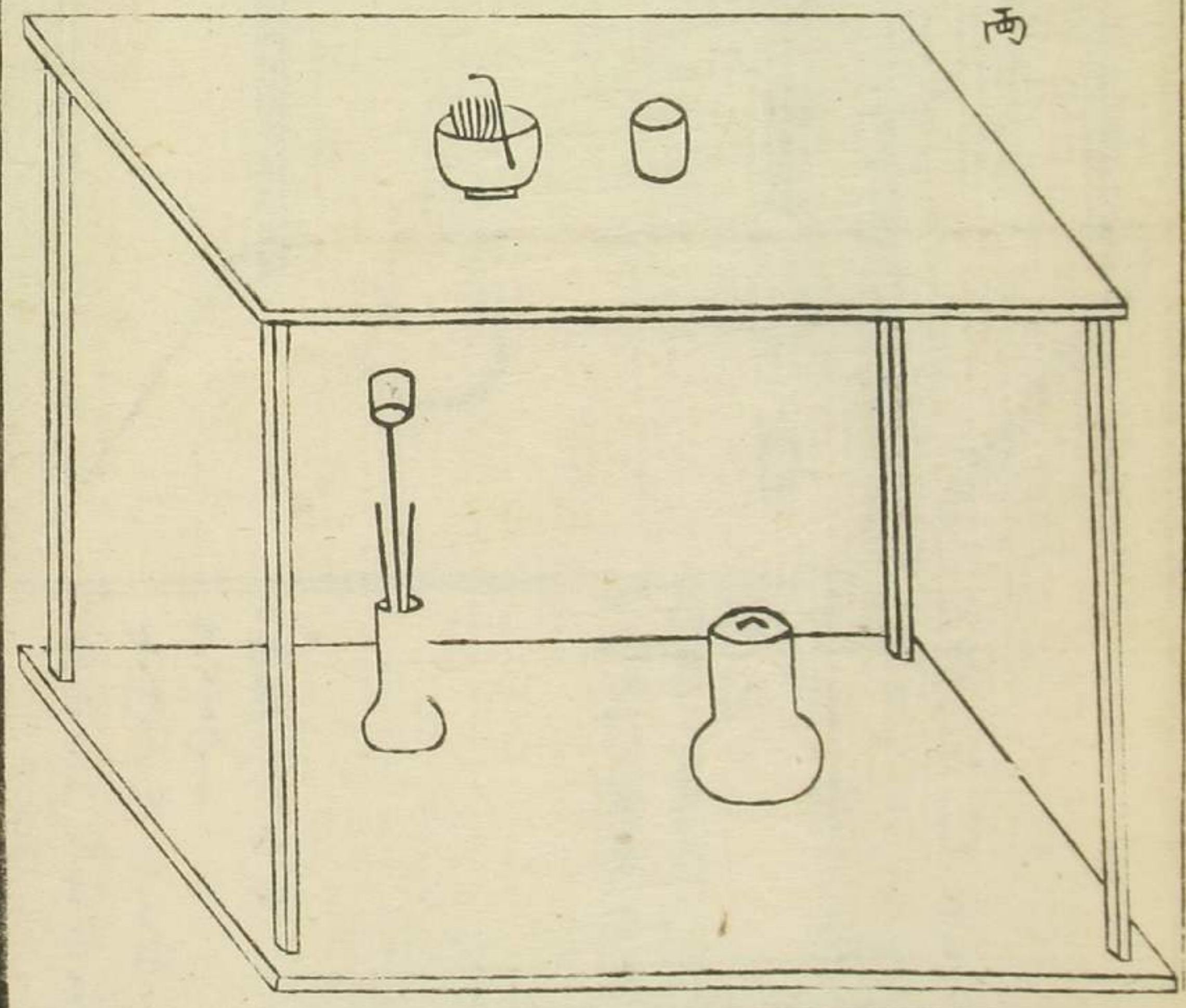
七

炉の節

○建水饒有之時、火箸をねと西
器とわろし夫より建水と右
みより置持廻りをもより
常々に通

風爐の節も此趣をも勘考
らるる

○仕廻り饒いさ水指(水と
こし夫より建水持出左り乃
ひごの前におと蓋置と取
右建水へ入右のよそ饒て
○茶器ごくり飾ても建水饒
てよ



臺子饒爐風爐も小何臺子亦ても如圖之抄立
る火箸、炉の節も風爐の火箸を用

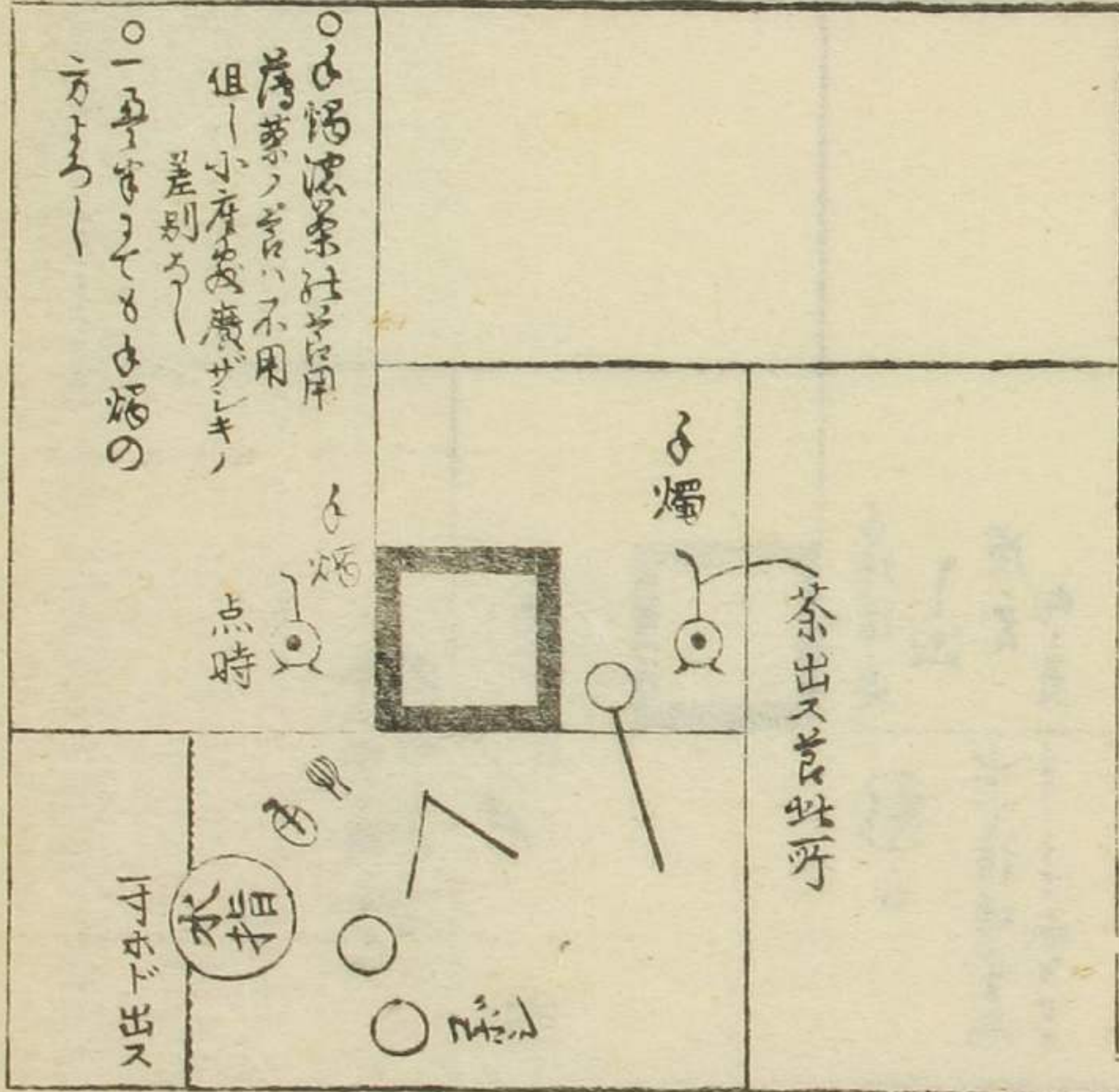
他流も利休形桑柄の火箸とつども流義
もつども記事之

臺子棚物類も大目点も成る棚物に
縁より八寸向に置

四畳半点も成る棚物の半畳に真中より
出し置之今八寸向に置事なる

一四 豊半

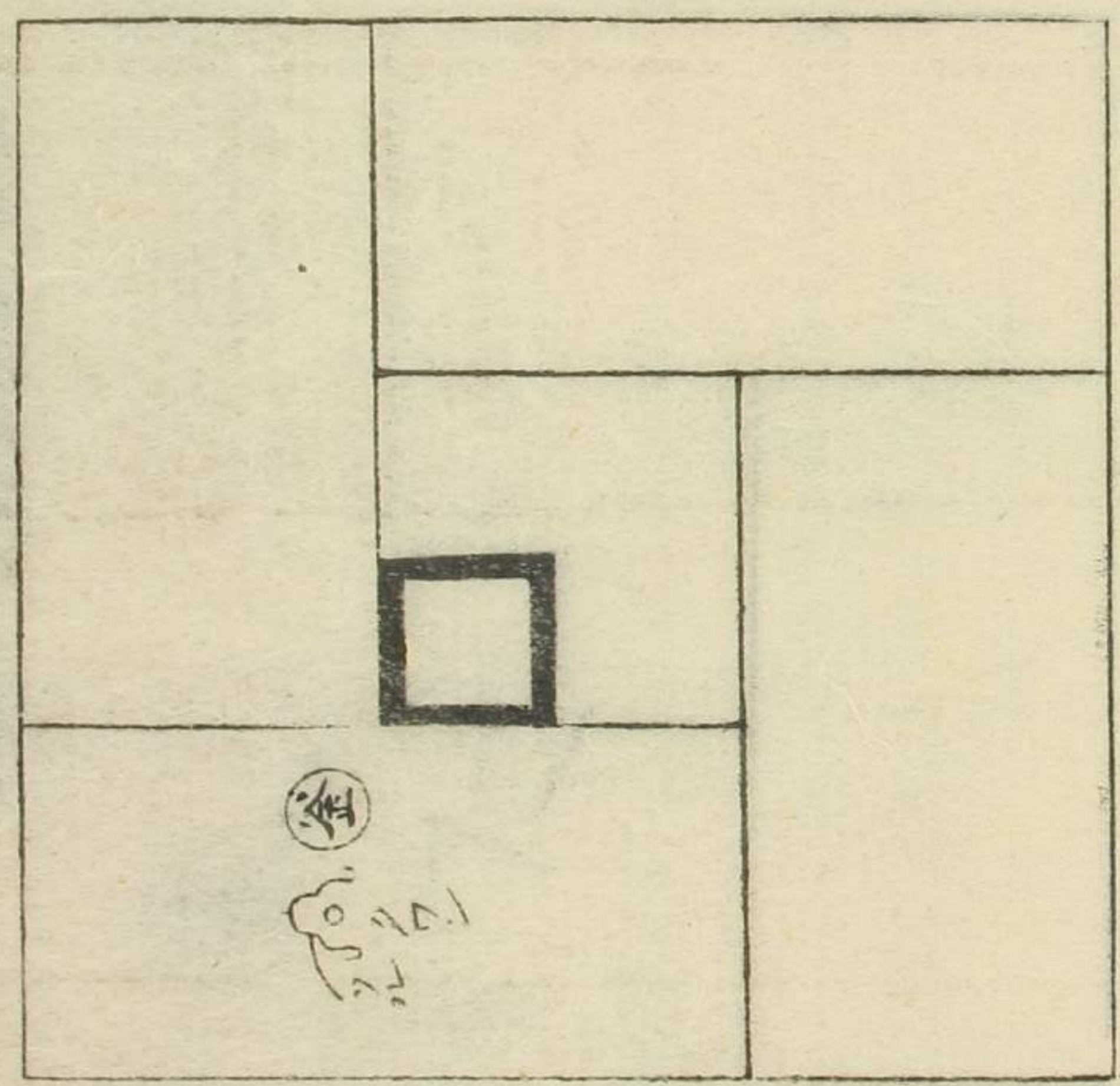
茶碗出又所釜鑲付ノ通茶碗タケ明テ出ラ



○子燭は茶は茶室用
 為茶ノ香ハ不用
 但一小座敷廣サレキ
 差別ナシ
 ○一手中ト出ス
 方より

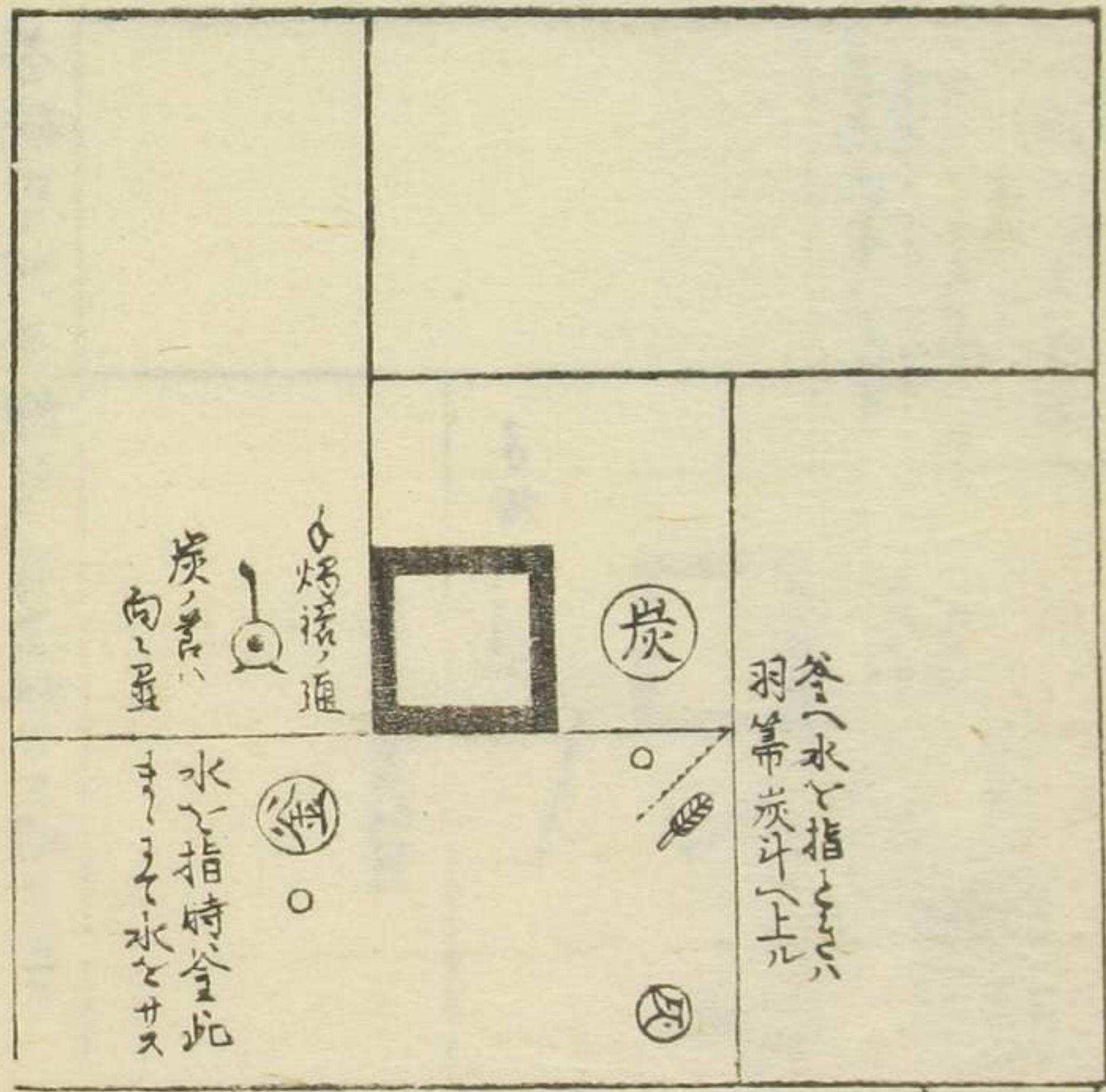
茶道口

一四疊半釣釜



茶式月抄下

三十一

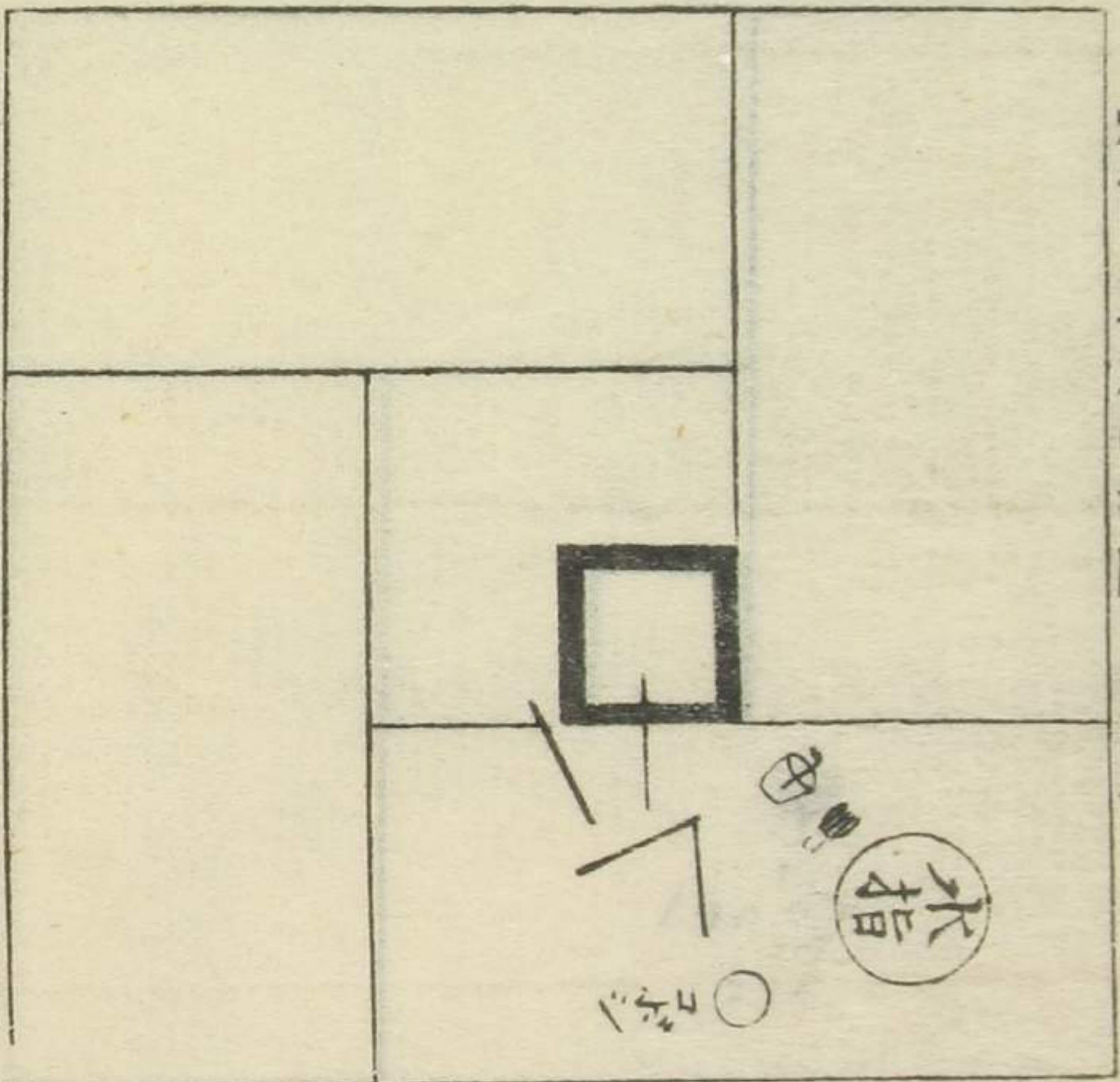


茶道口

三十一

一 逆勝手

燭前ノ通炭同断勝子連斗



茶道口

一 逆勝手飴付之事

客付一茶入と星右乃も一茶碗より一星
 湯持持入常持はとく左に持右に廻る両器持入所右に茶
 碗と取り左より右はより薄茶入持入なり

一 隅棚之置様

柄抄扱やう棚之通也但湯返ハナリ

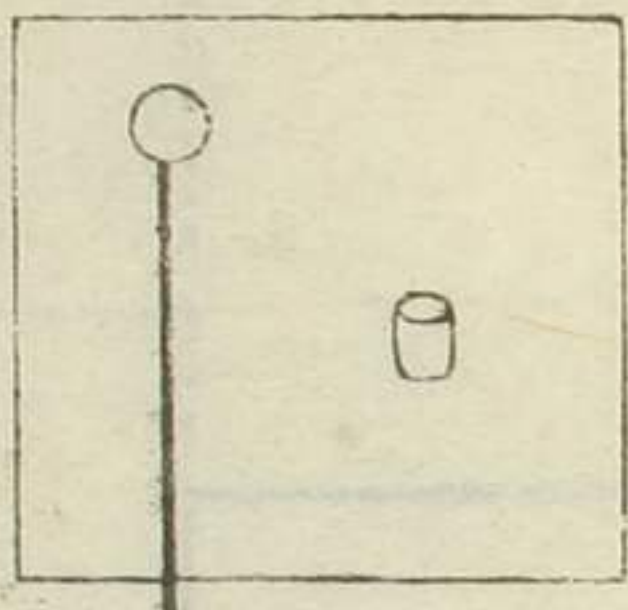
中柱かゝる大目切の勝も此方隅棚釣事なり

隅棚置やう

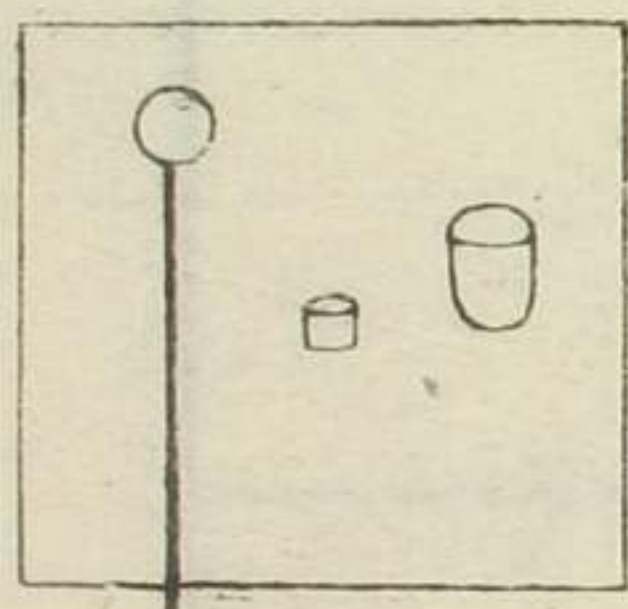
如图

向切

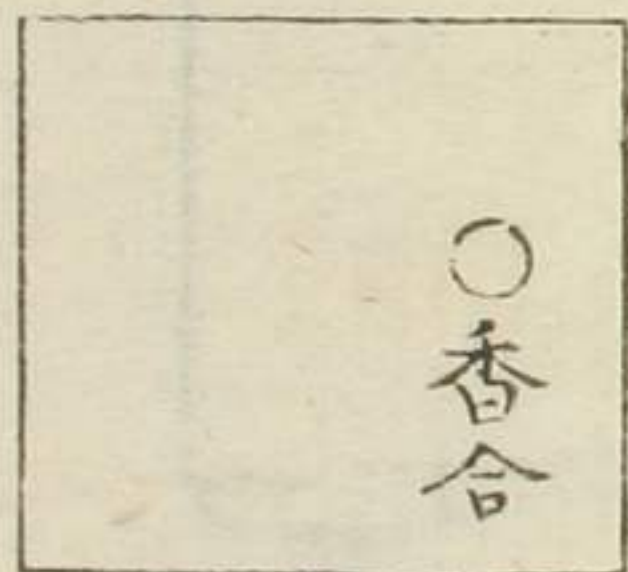
同断



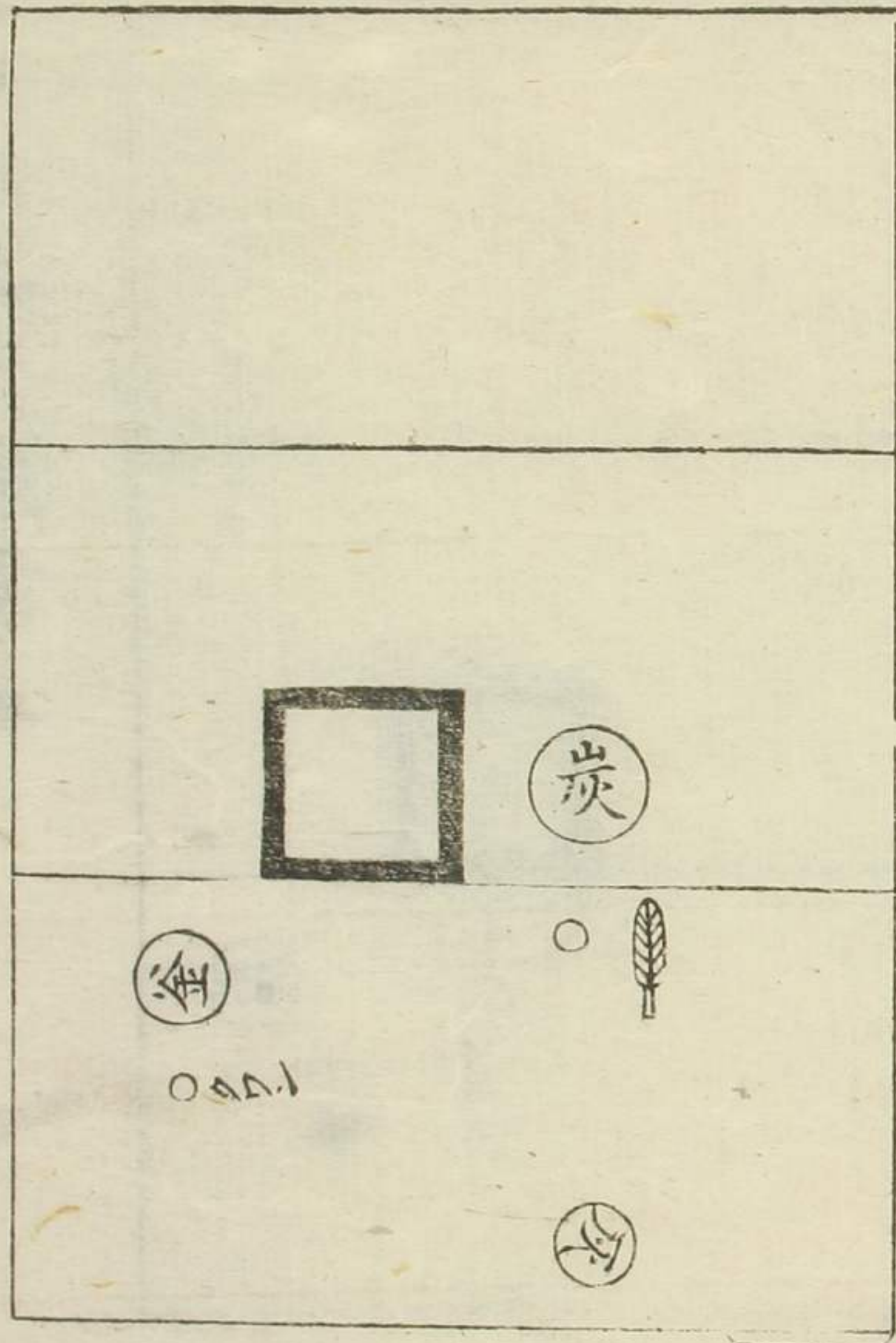
柄抄仰向
カベ付の方と星



薄茶点仕廻り薄茶入
如图銭スアリ



○香合
形 羽幕置
合取タル



茶

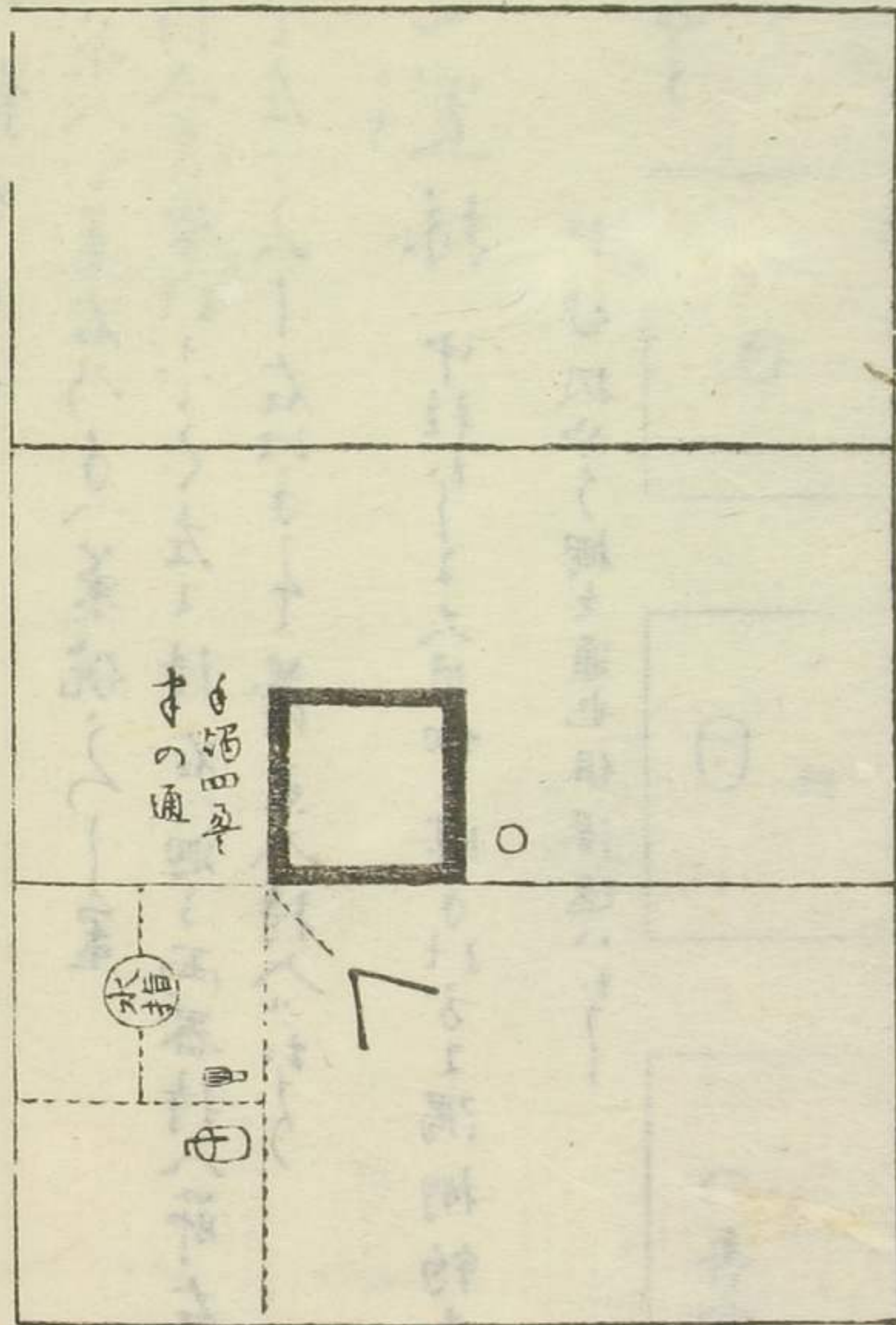
0.9.1

炭

茶

茶

同



白磁四寸
才の通

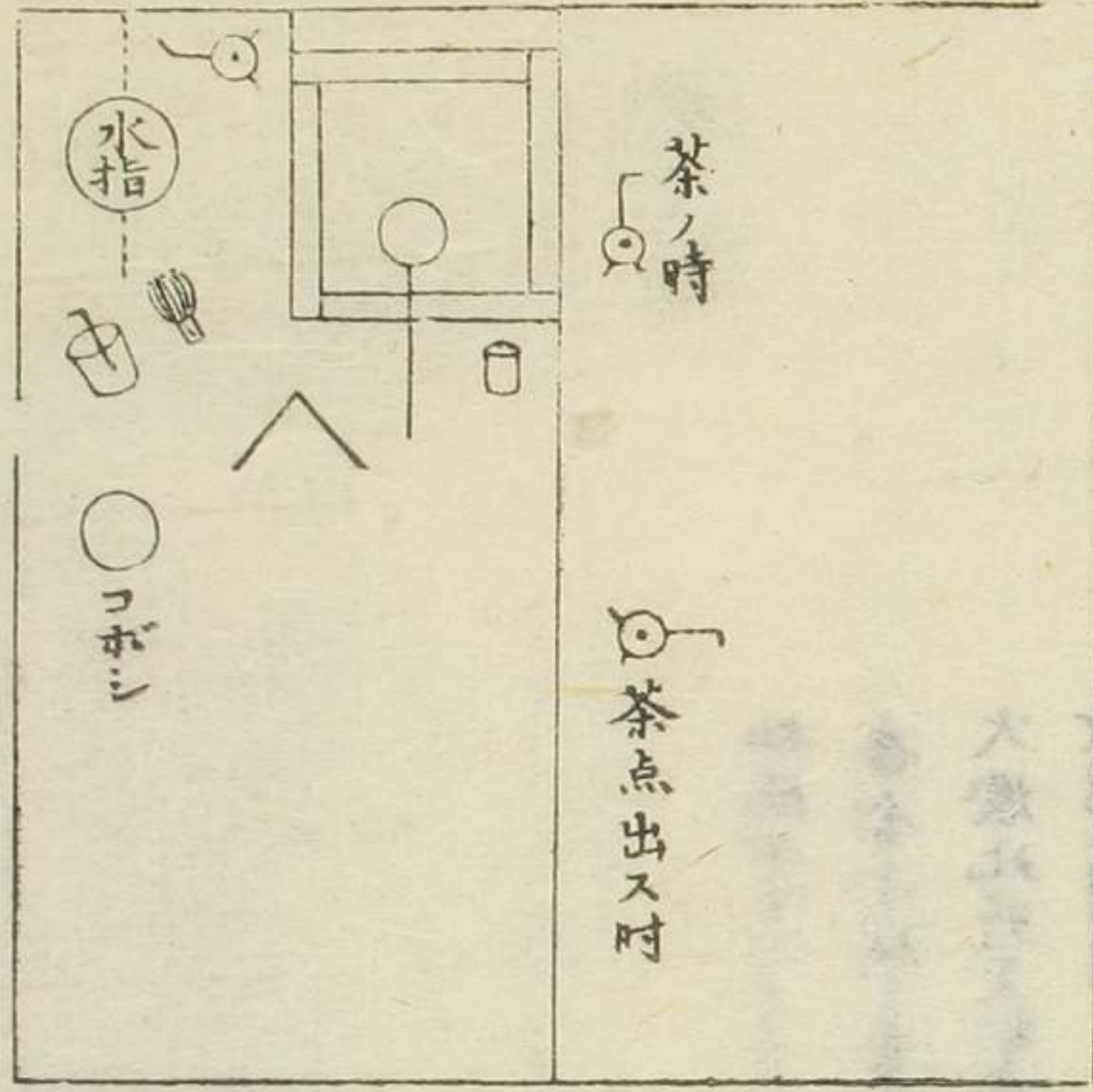
茶

茶

茶道

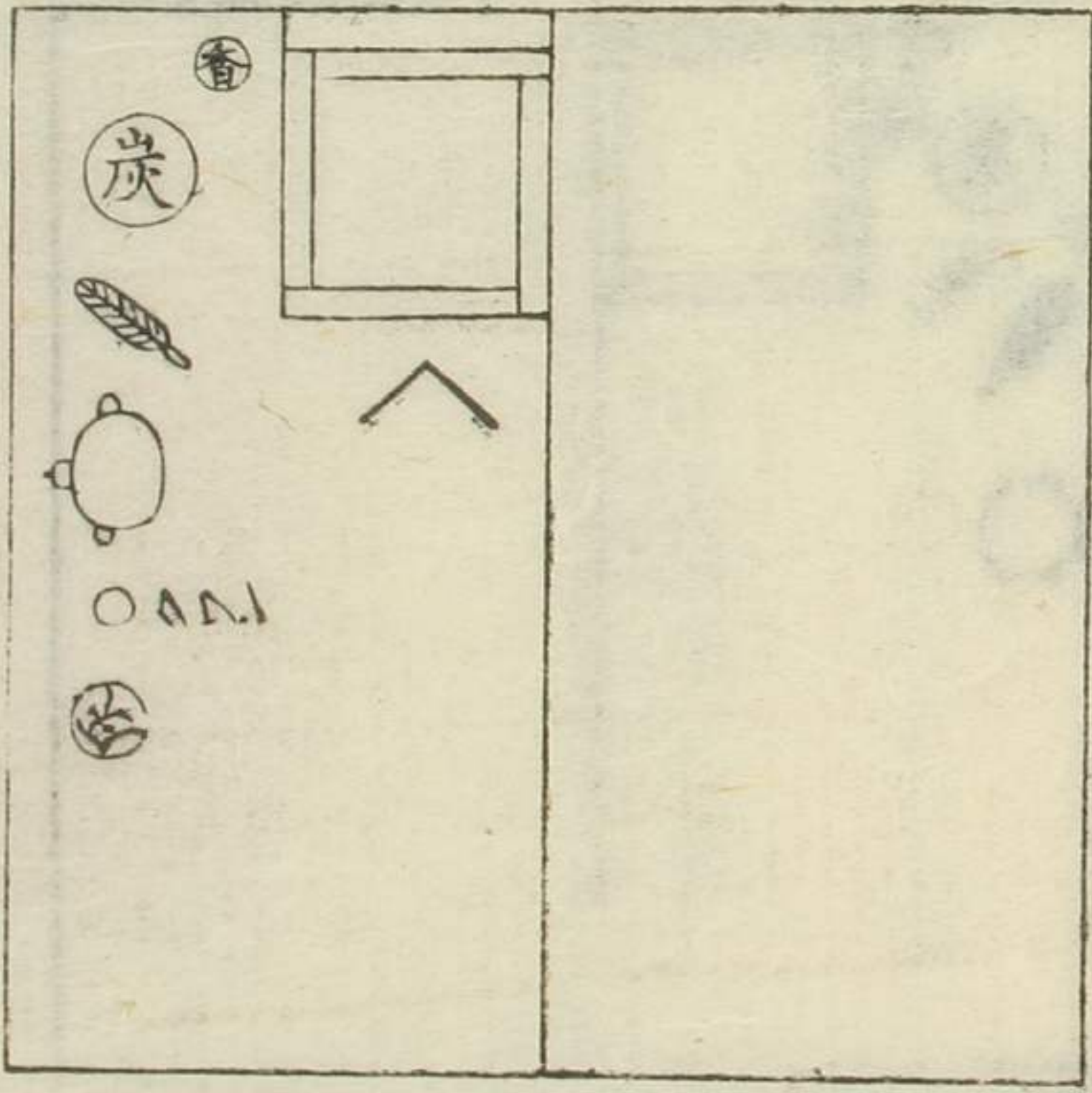
茶式胡月抄下

茶式胡月抄下



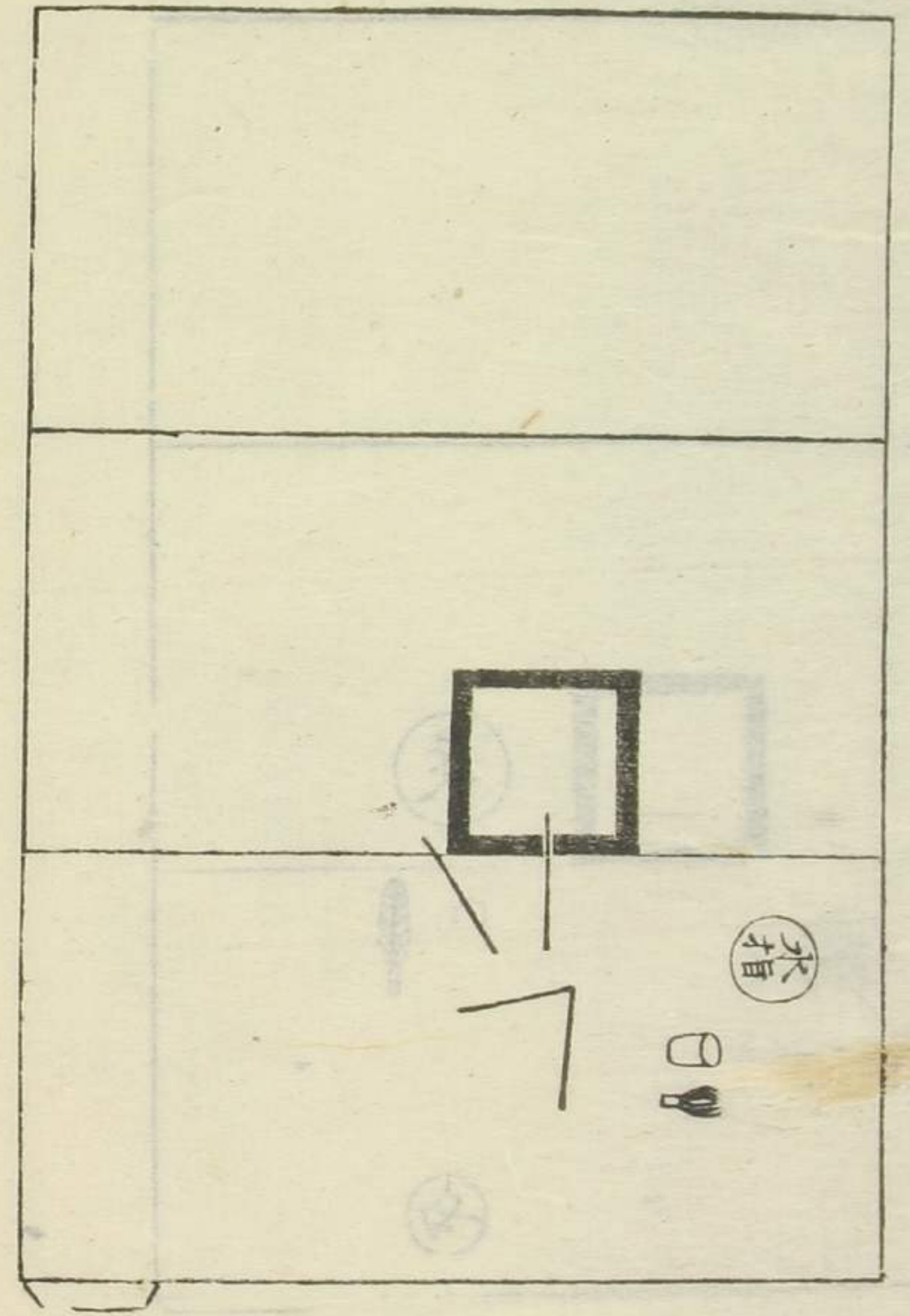
一向切

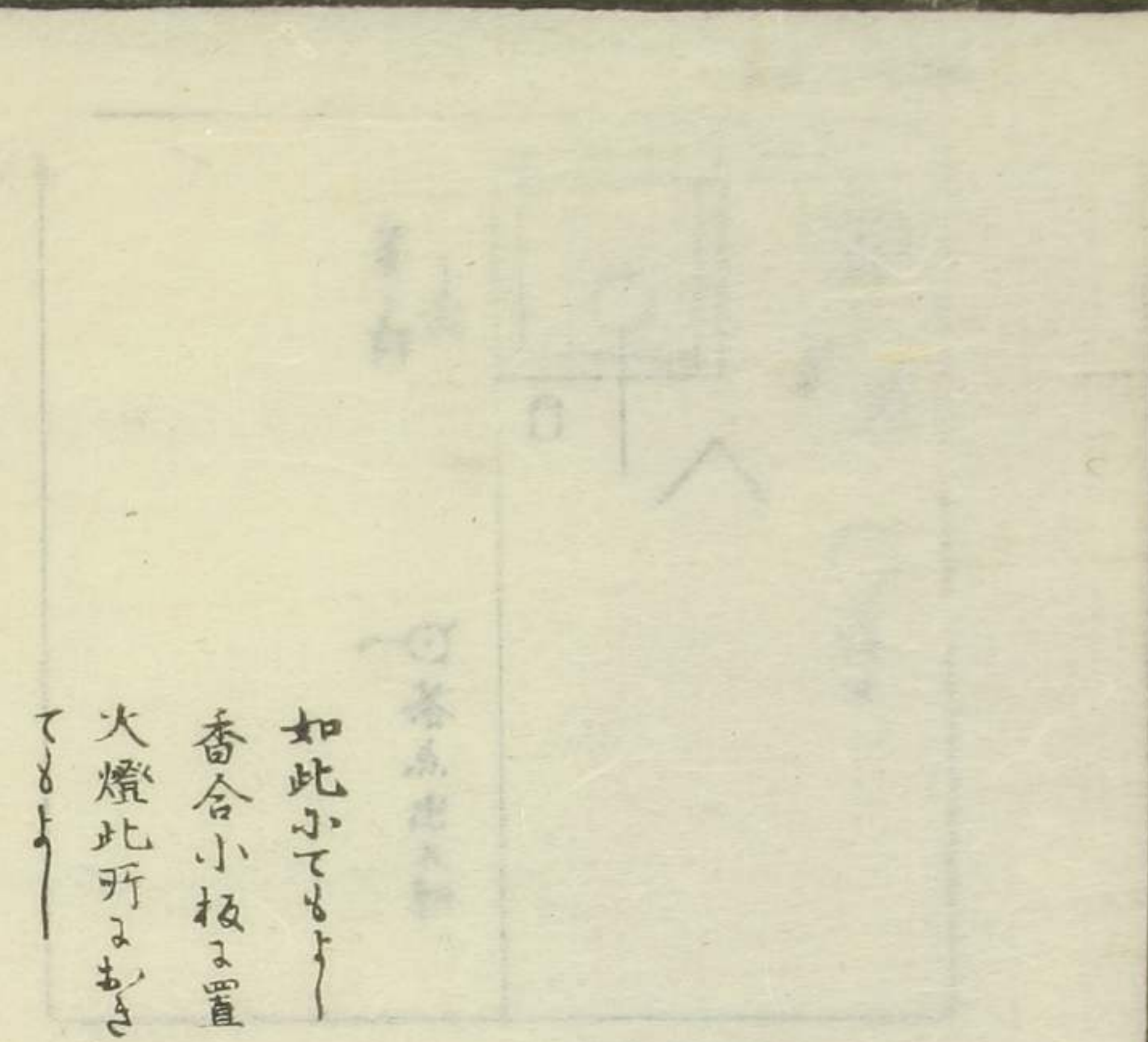
火箸羽箆左に少く出し香合の右より出し



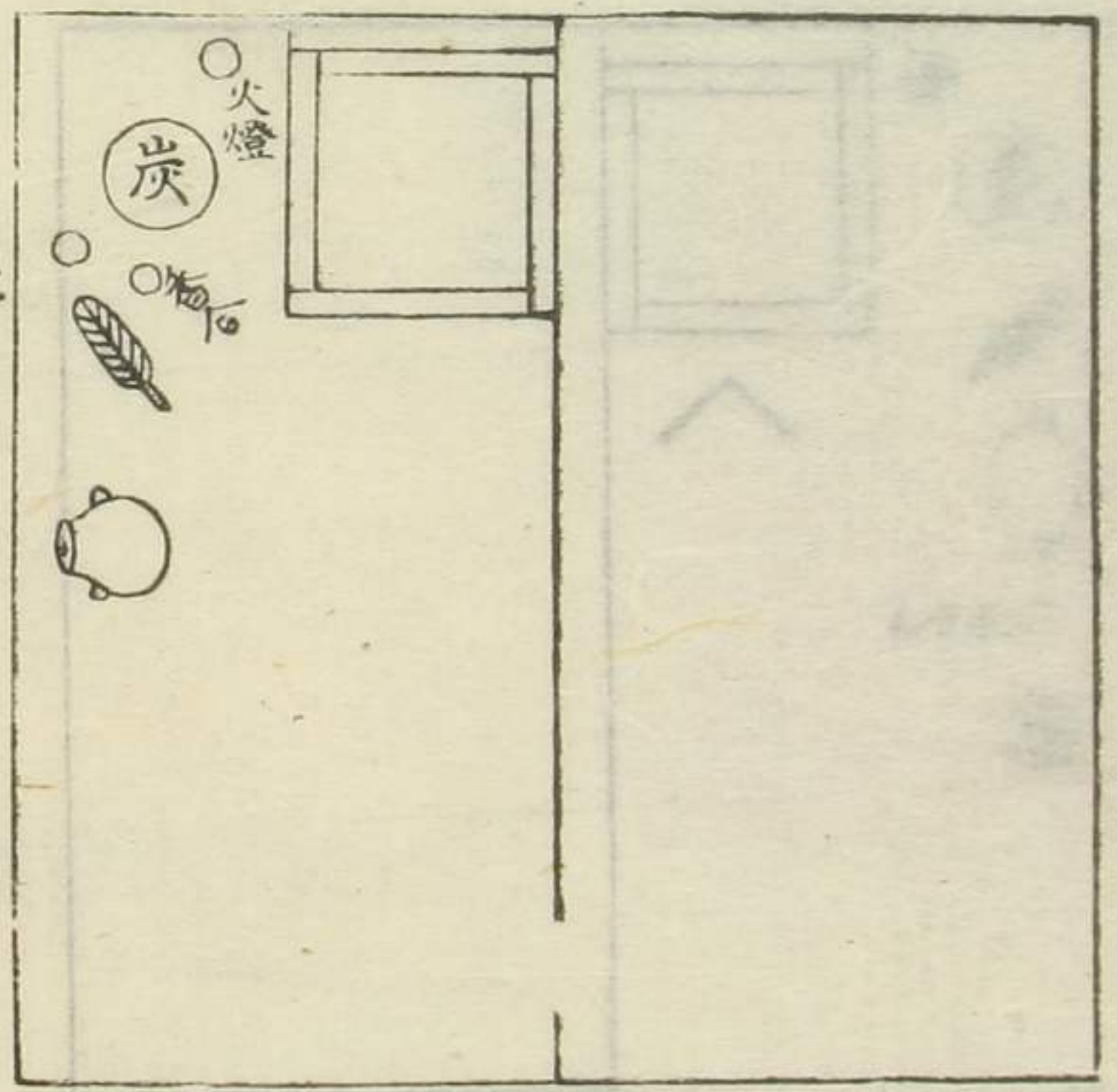
釜の水と指時皆引よせ
水とさしよ

一逆勝手大目先ハ無事也





如此ふてもより
香合小板を置
火燈此所をもち
てより



灰ボウロク

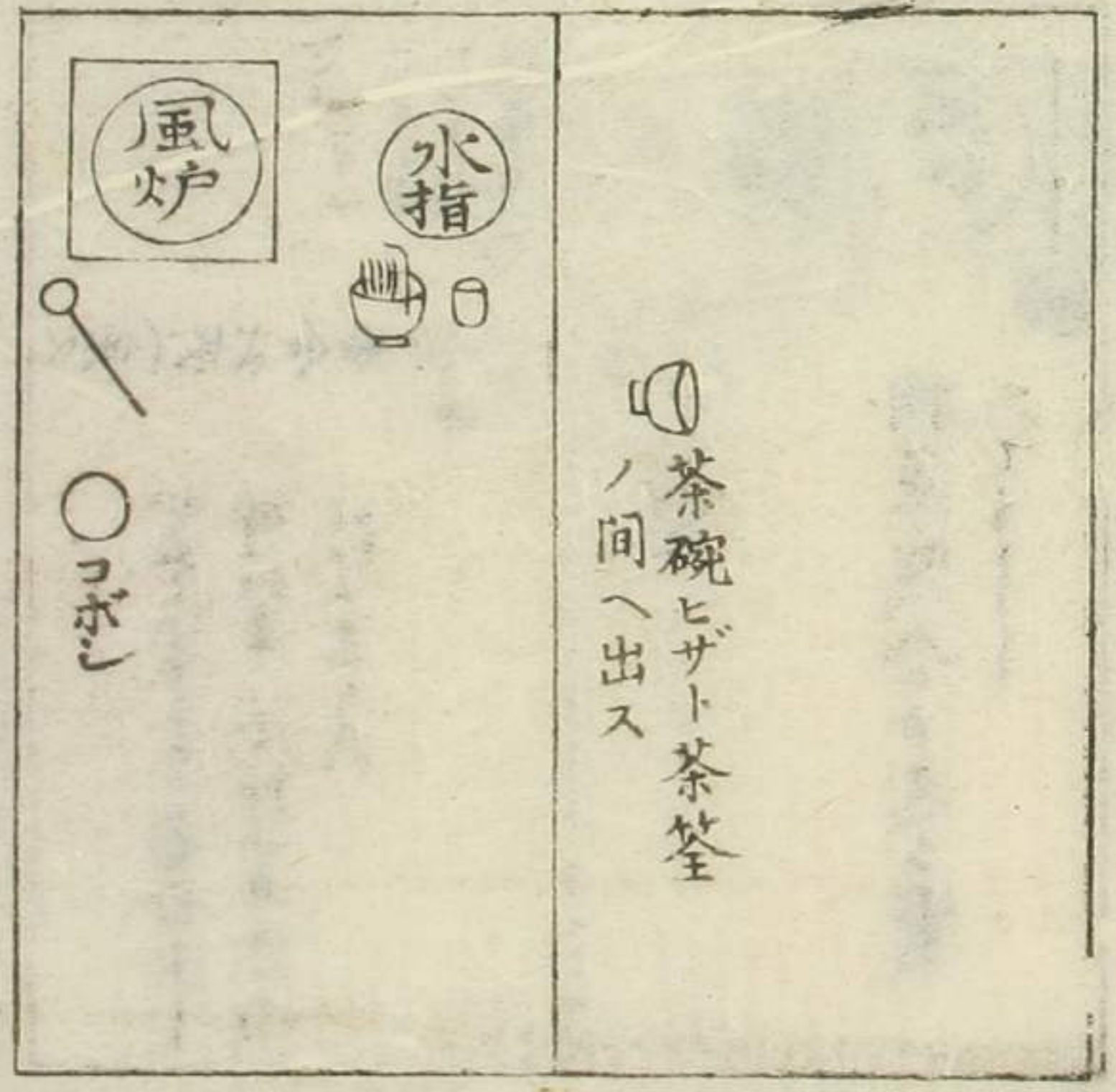
一隅スミ爐カ

妙喜菴点とも云

点やう風爐乃通なり
但し水指のふさゝ客付一取之
も指し水指の向を置之

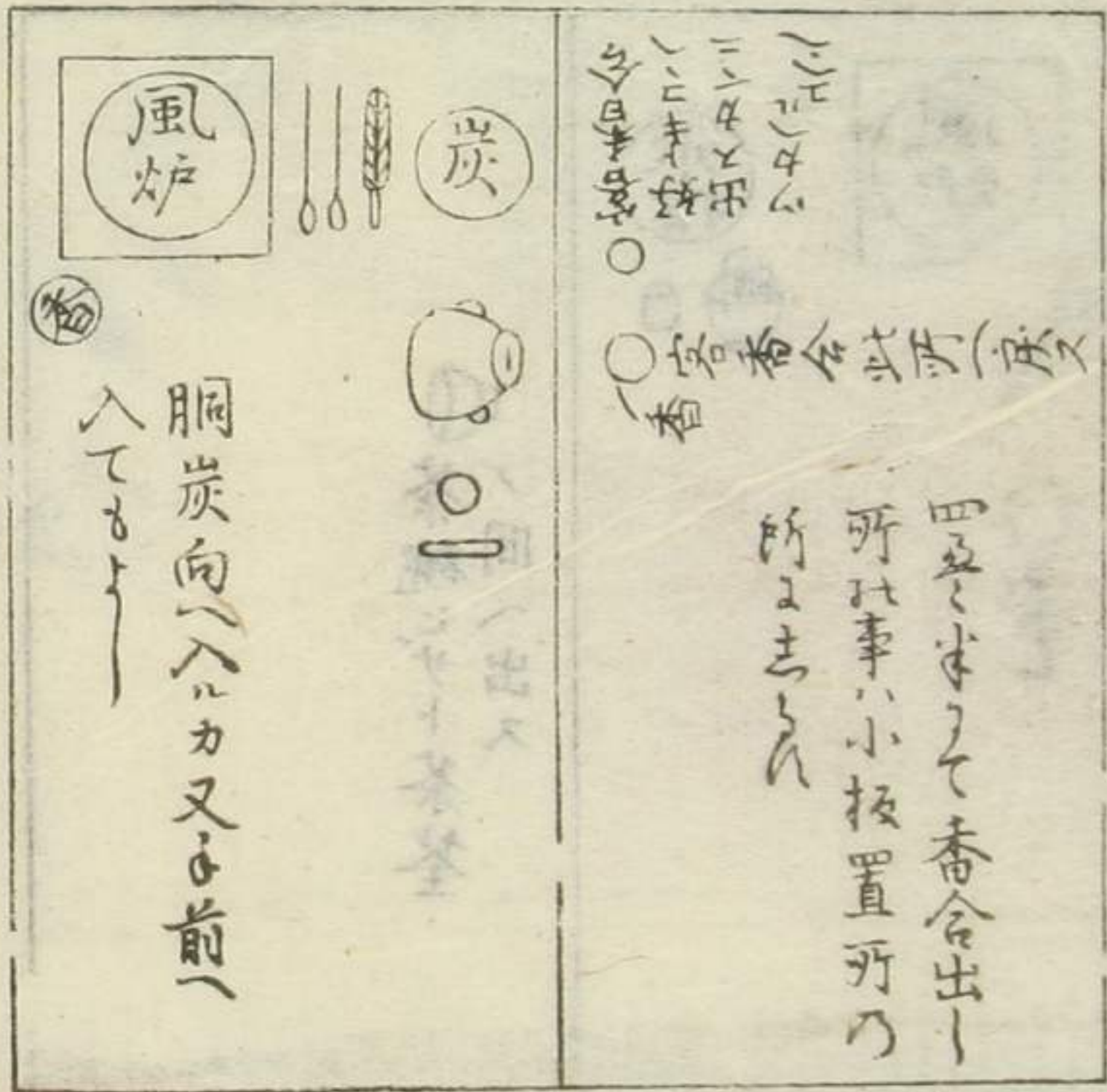
一風爐カ

土風爐其外より乃風炉はふさゝ
臺子棚物をも用ひてもより
○鬼風爐琉球風呂丸板を用大小
より真塗かき合支やうより何と
なりとも見合用



茶碗ヒサト茶筌
ノ間へ出ス

- 棚物は炭の時灰ボウロク持出坐しつゝ両より炭斗を右へよせ羽箒出火着い出れしをふし炭仕廻又初通炭斗を直し置灰ボウロクよりち焼ゆ入
- 灰ボウロク不用時も右に通なり
- 棚物の香合へ水とさし引させこより水とさし引
- 運びも前の時香合を引させると不及
- 透本釜へ水さし引し後乃風爐へき入なり

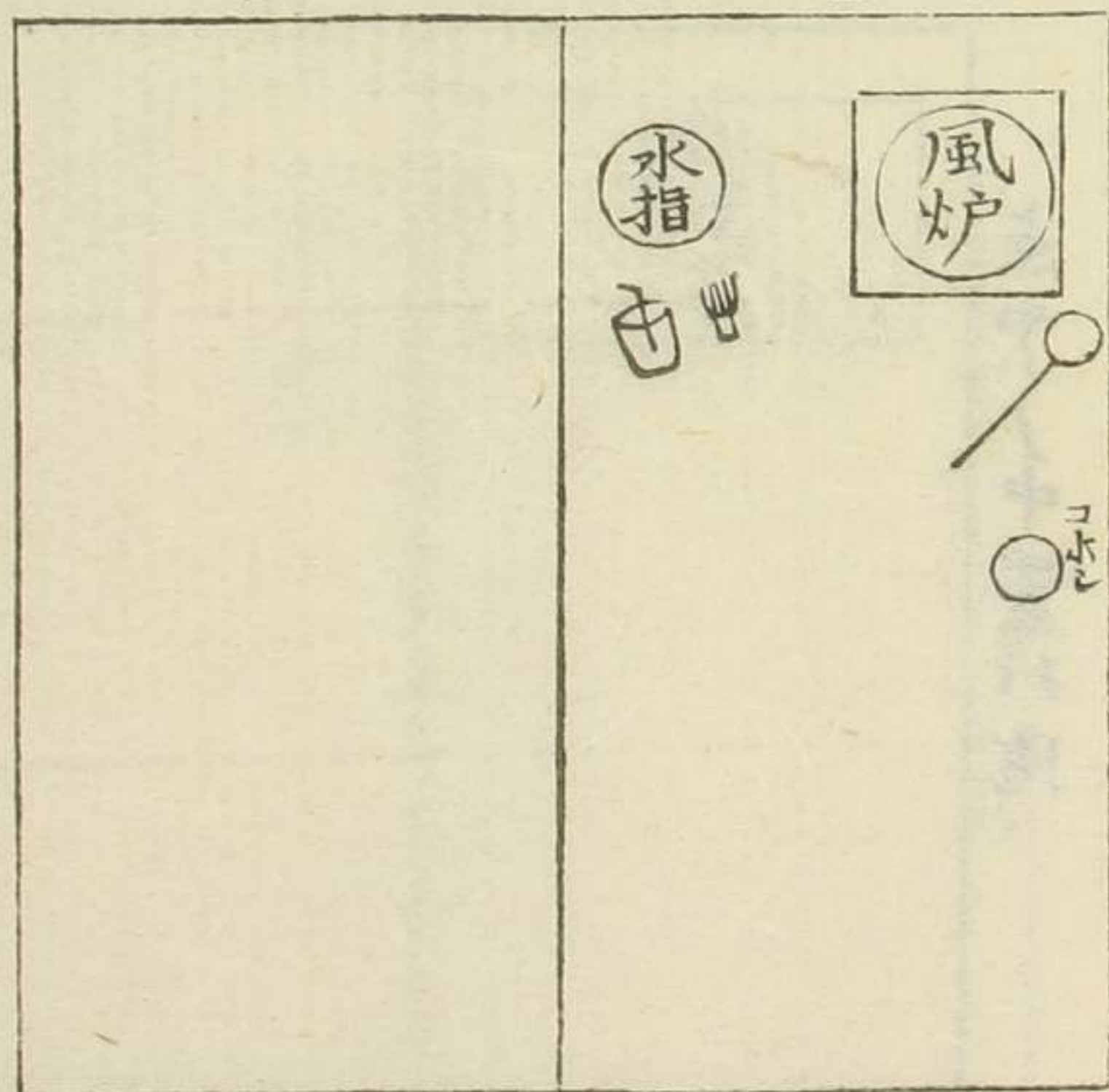


隅炉は炭も此通なり
但し香合は置所茶碗の向に左へ寄せて置

一 逆勝サカ

- 鬼風爐鬼は合目上へつゝても又鬼面乃内へ合目不見やう絞しては
- 鬼風爐は炭は管其の中指筆はし若風爐乃コレキより上へ上り居候は此大銀ハ初一番は銀とわち一丈が羽箒よりて
- 釜は仕付銀有ても風爐多し上置方より

炭本勝はは籠を振久らるるに。点前茶入のよ

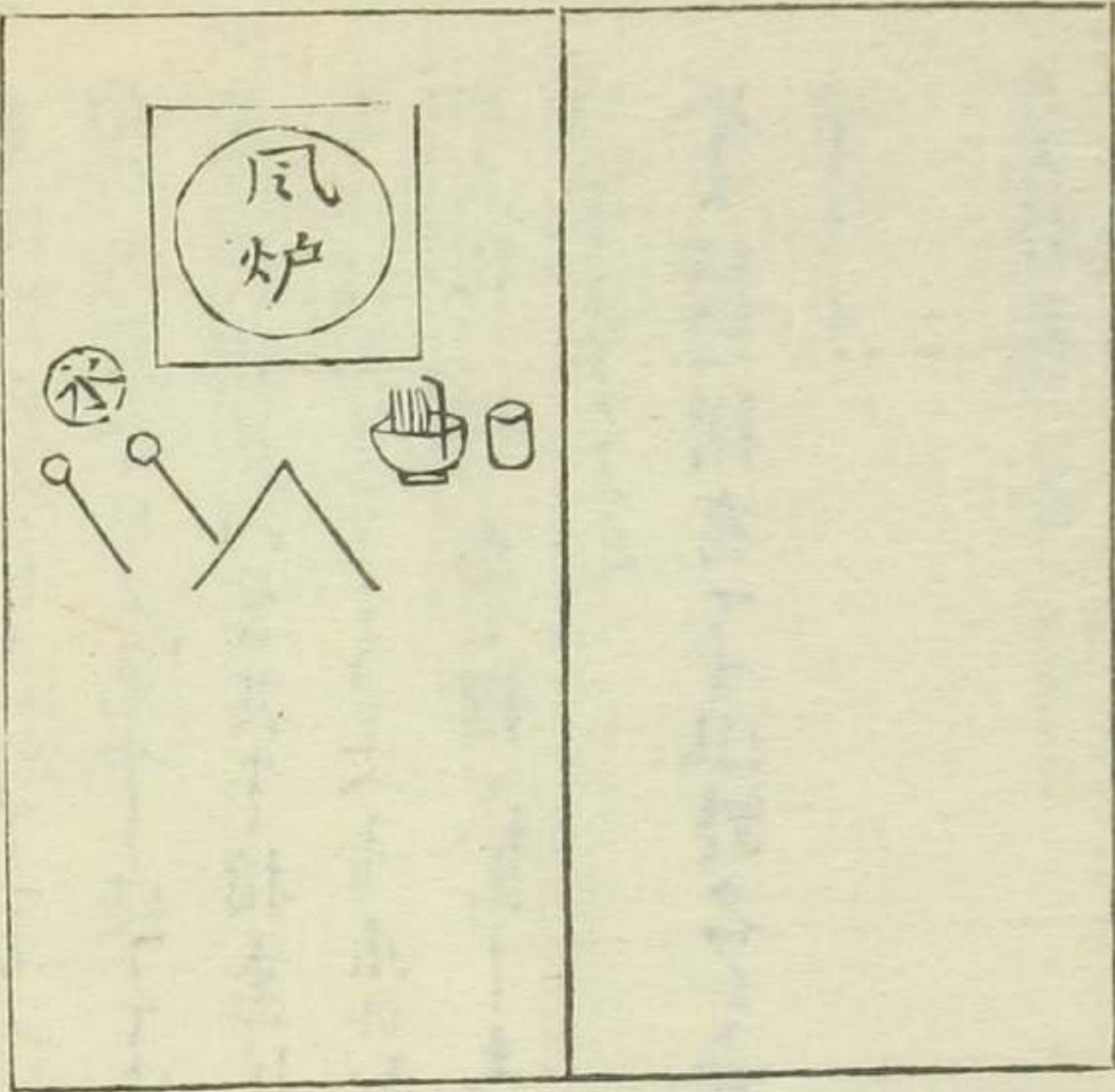


何て煎れ

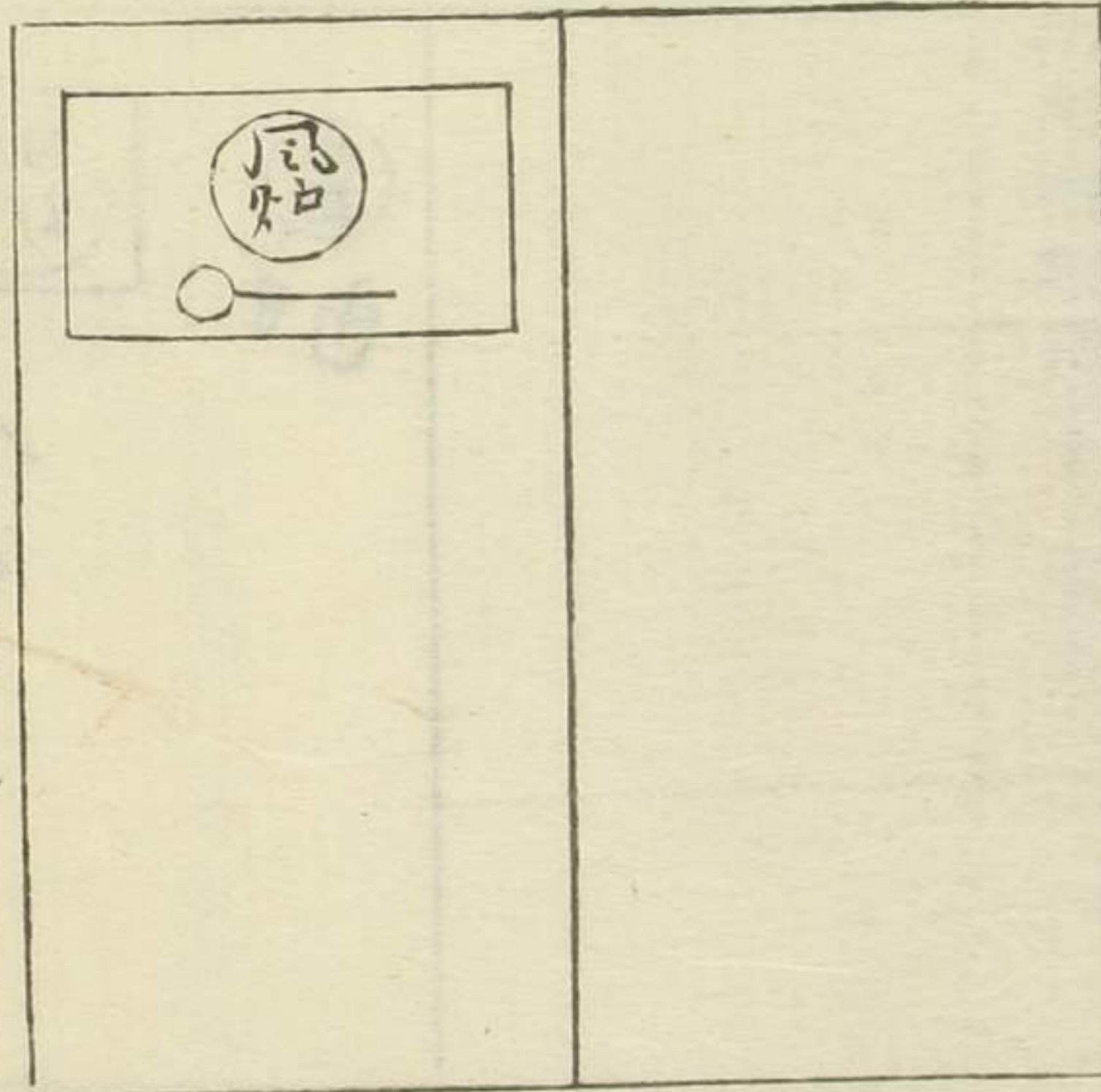
一 向板二ツ置 同一ツ置

西器飾度ハ各々より
風爐何風爐より
長板二ツ置一ツ置は通之
向板有三所より前より小板置飾り

一中置 一長板一ツ置



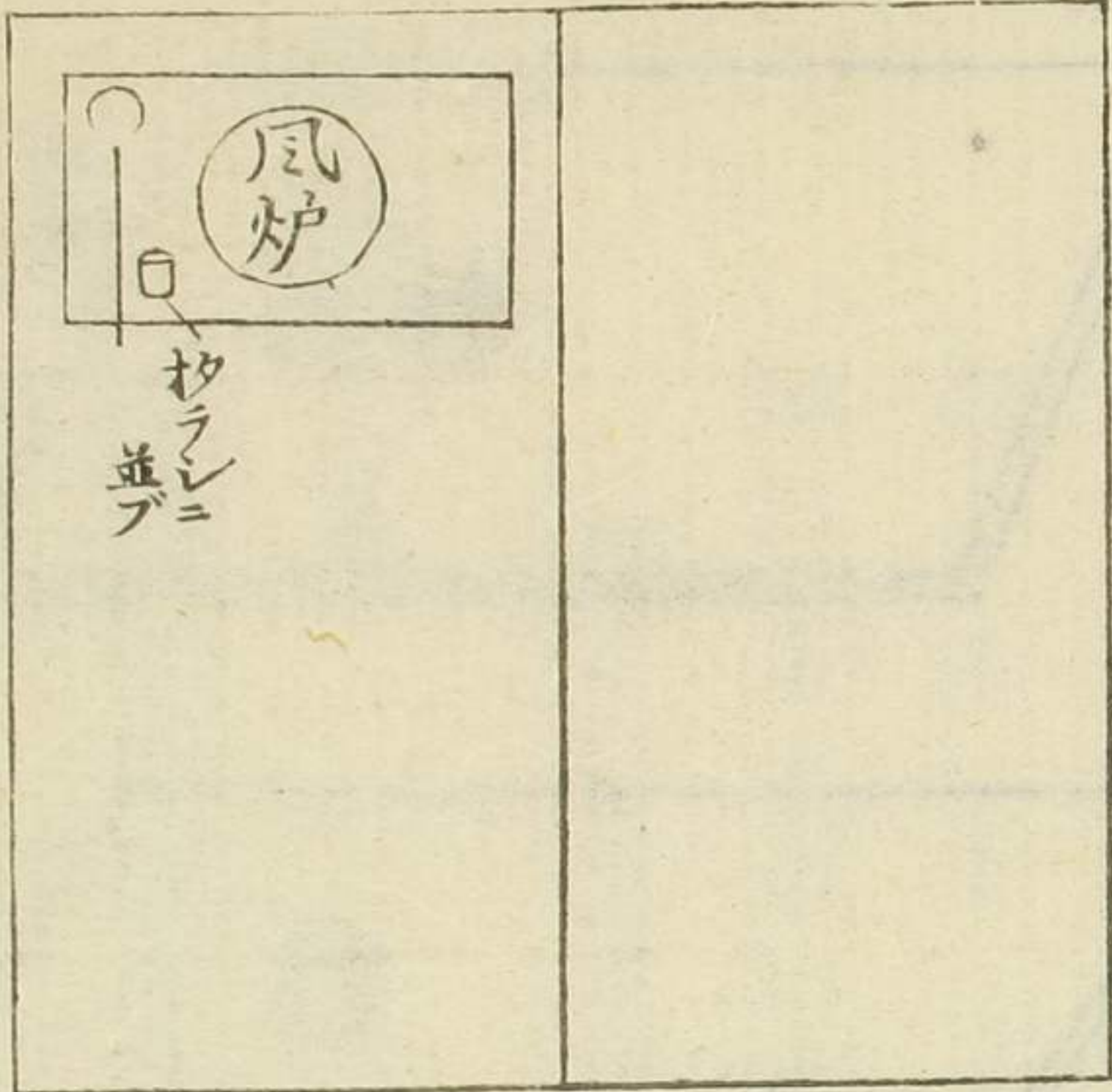
柄拍は之の如左にトヤ
方より



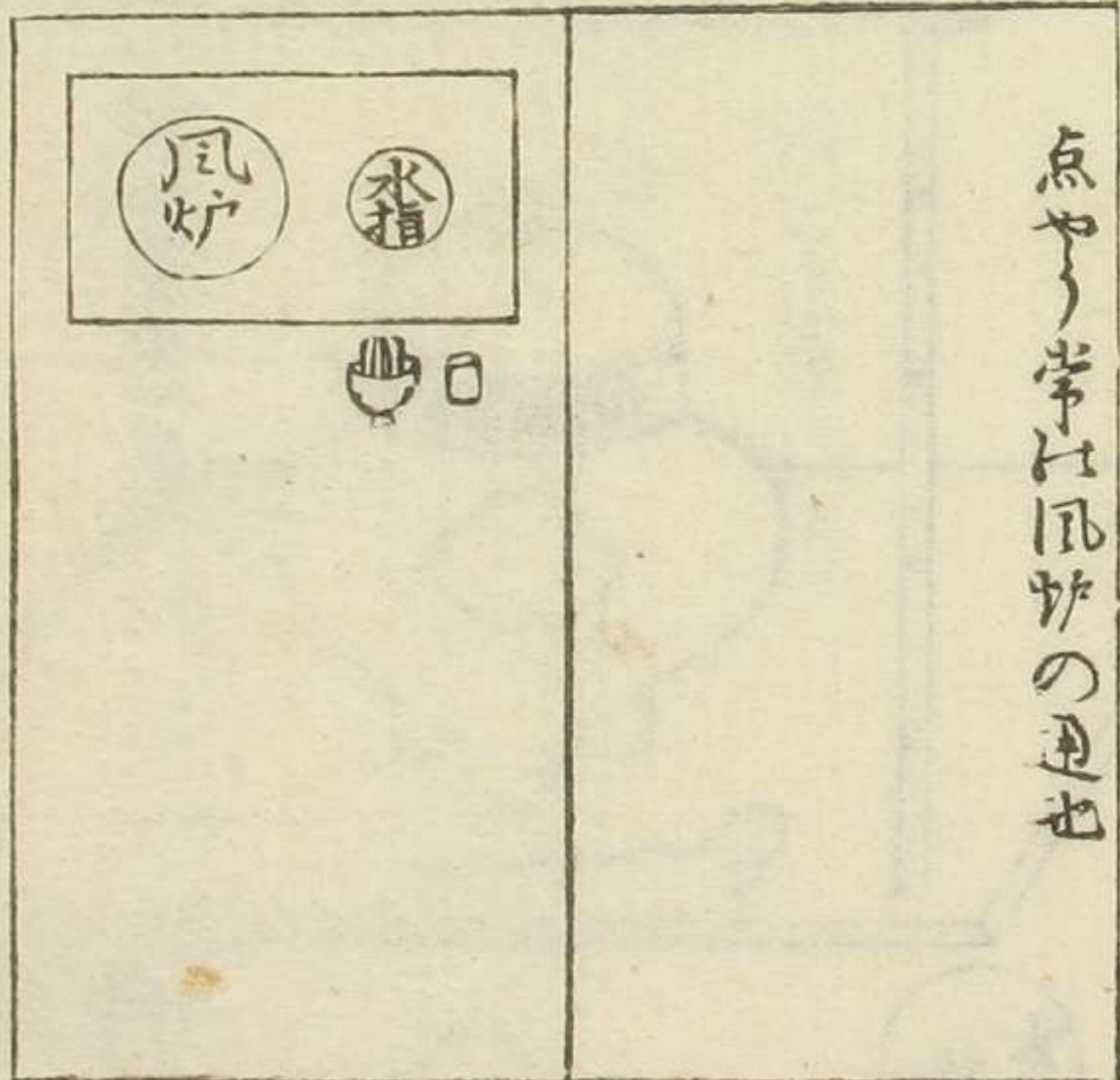
点やう中置は通

点ル時如图仕廻湯返

同二ツ置



抄ラレニ
並ニ

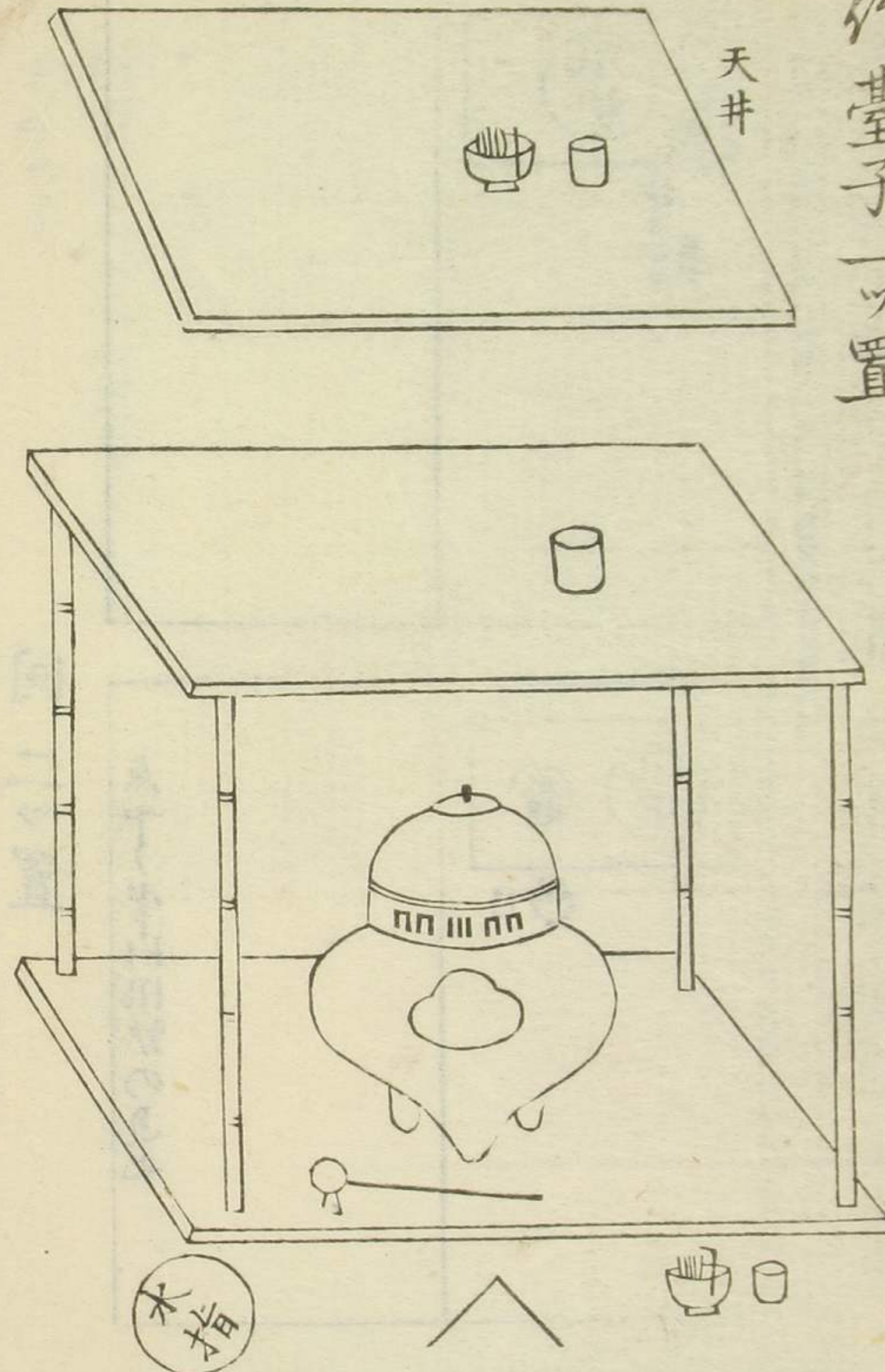


点やう常に風炉の通也

右長板置所乃事ハ風爐置キトシ

茶点節茶碗出ノ所乃事居前入膝の格好ト出也

一竹臺子一ツ置



天井薄茶乃節又濃茶は後坐園は

ぶ〜踐は事は

柄杓蓋玉圓はぶ〜踐は事は

柄杓はこゝ事棚物乃通

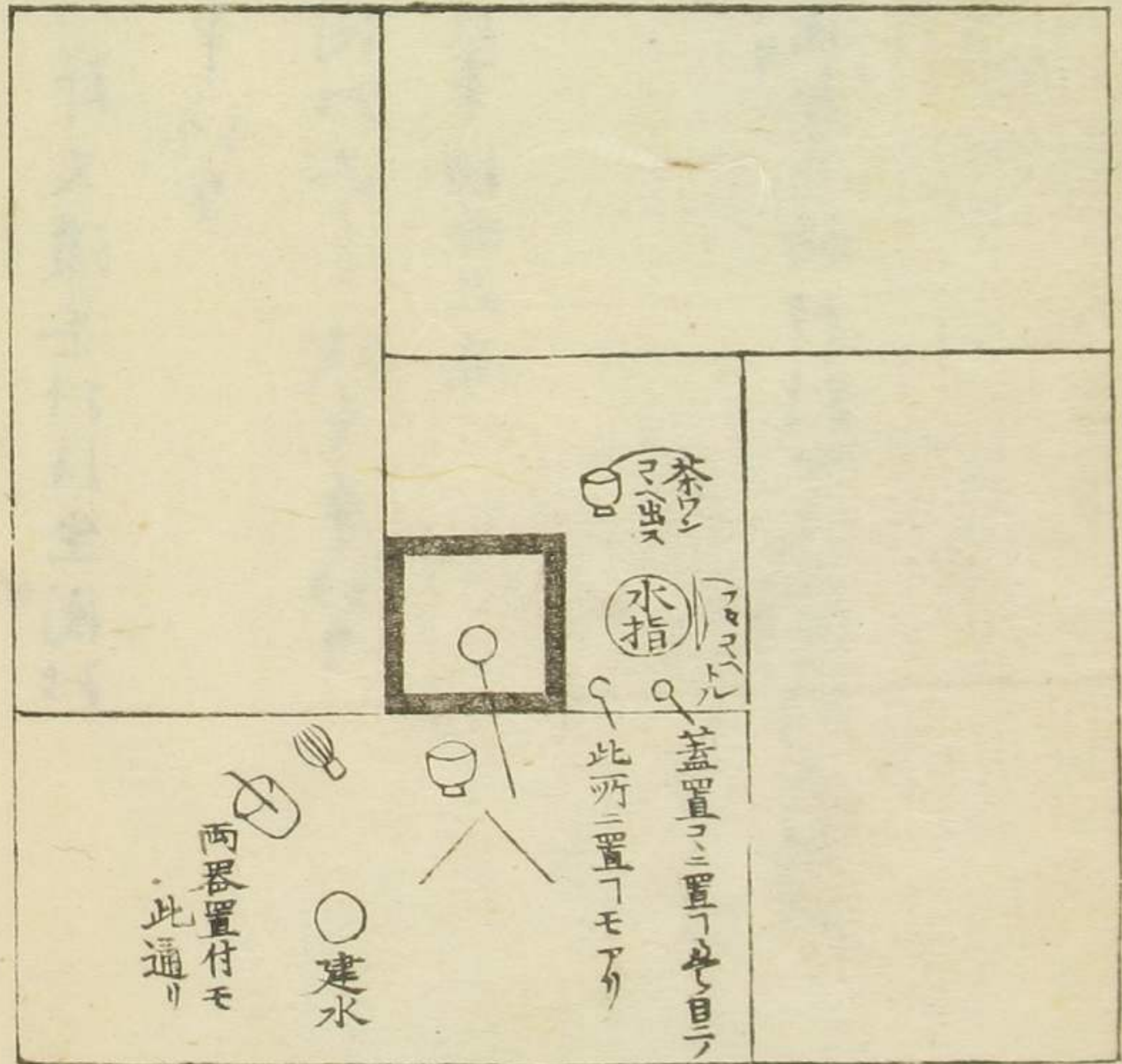
一大板中置

小板中置は通は柄杓引やう常乃大板は
通は

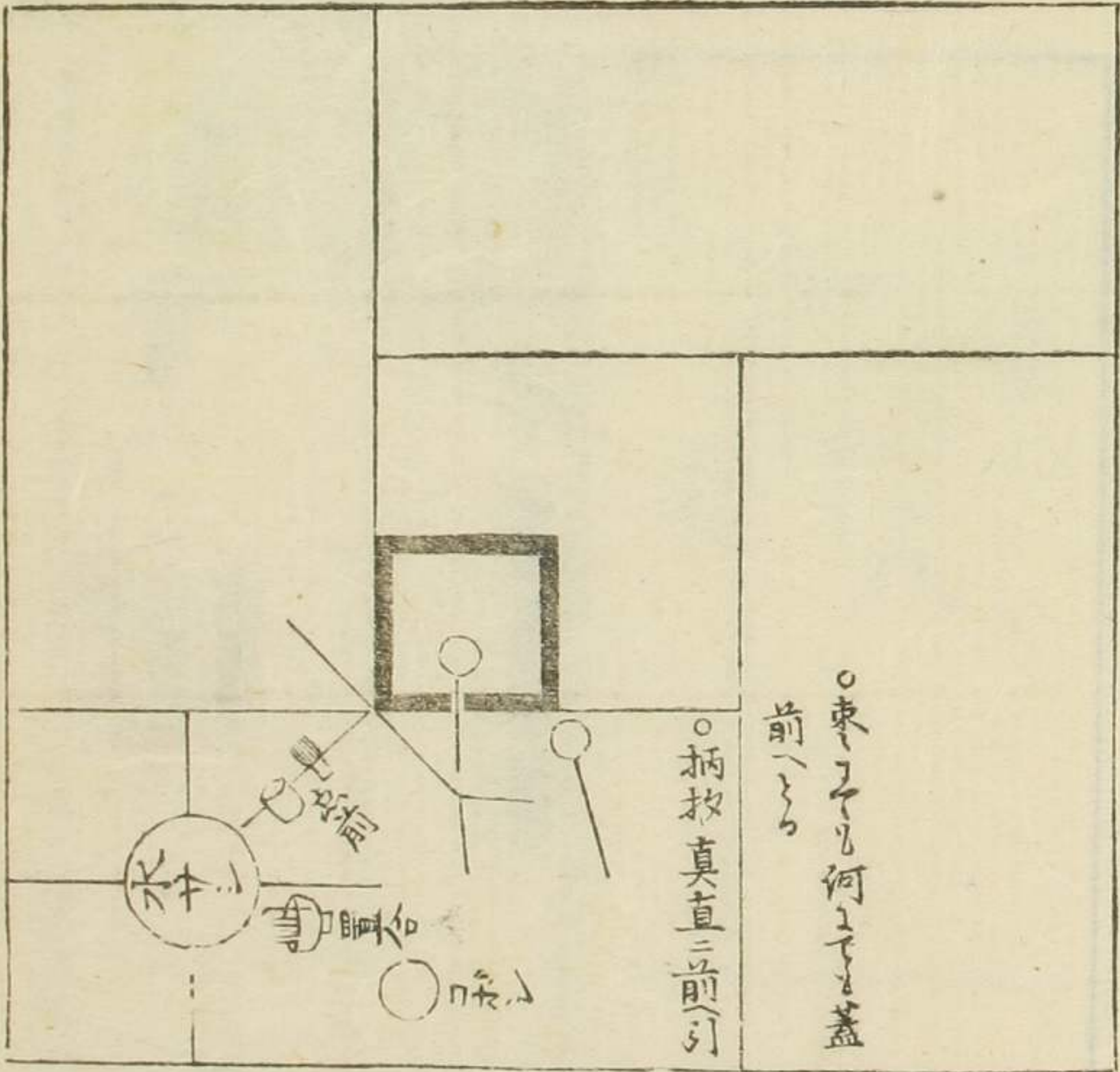
天月山

廿七

一四疊半流し飾

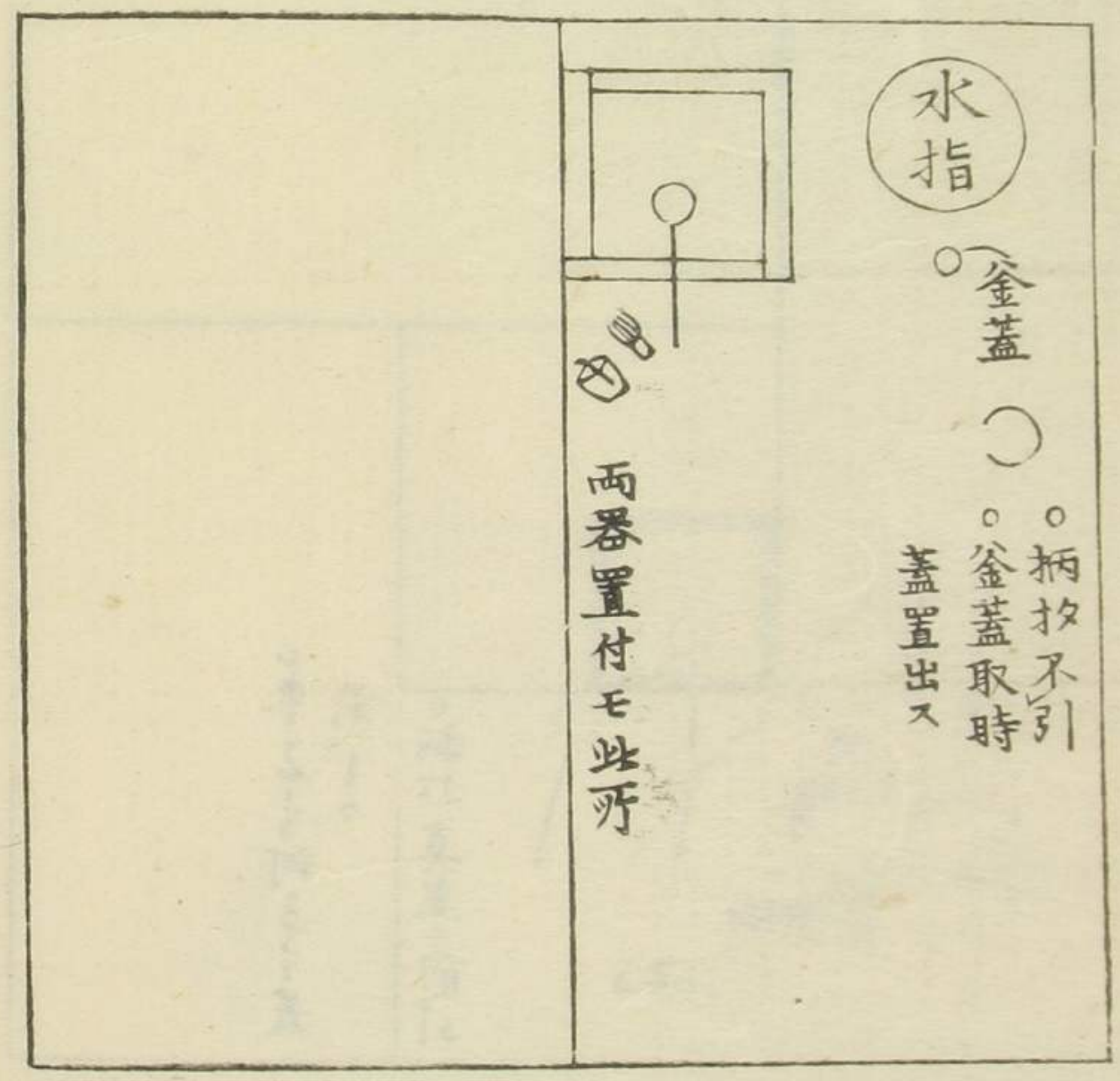


一古風点
珠光点
と云



一向切逆勝手流点

○初両器水指乃前へ飾付ル
○仕廻候節ハ水指の前ニ有
之柄抄蓋置建水ハたゞ
初の通水指の前へかゝる



水指

○金蓋

○柄抄

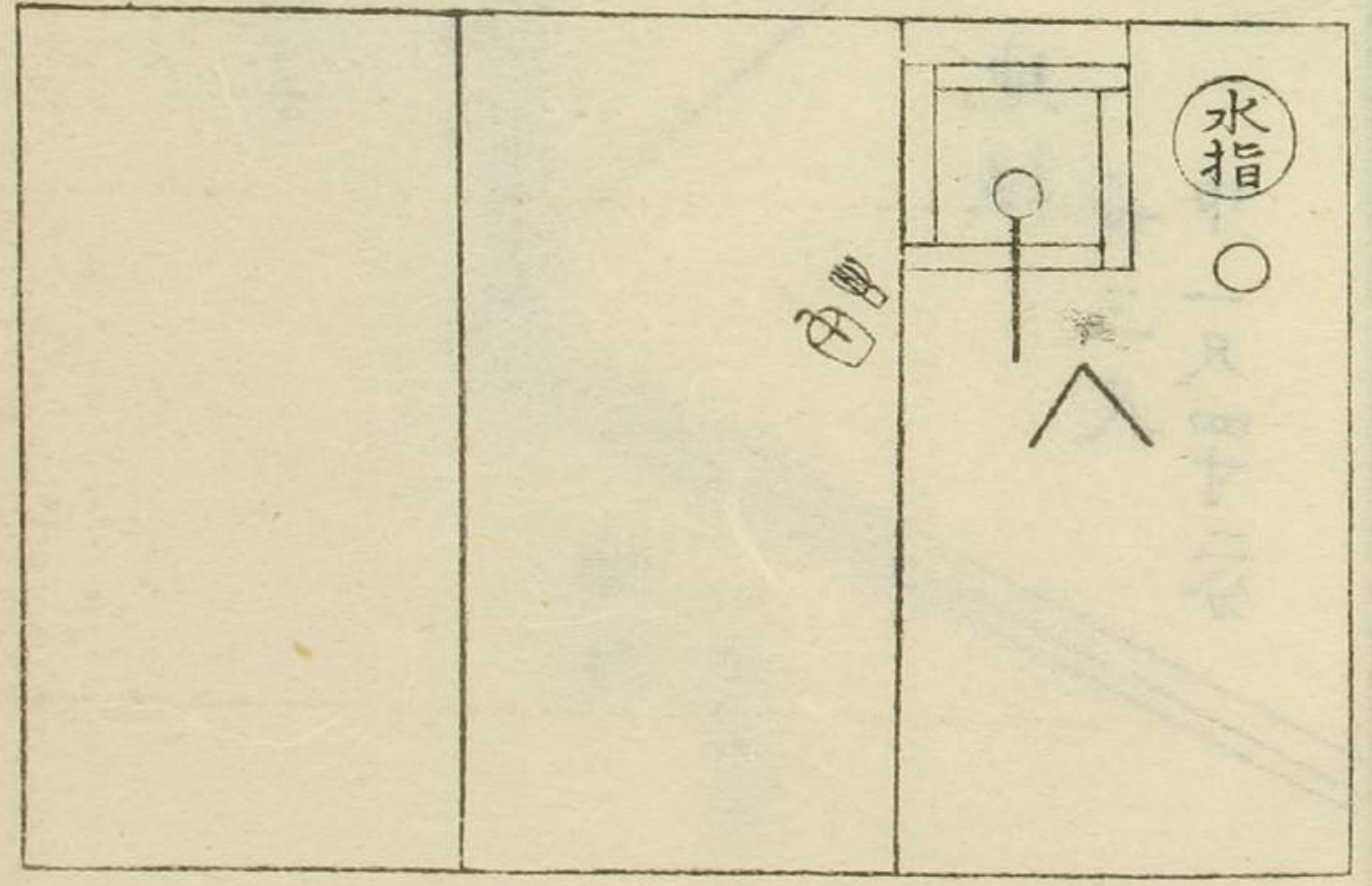
○金蓋取時
蓋置出ス

蓋置

両器置付モ此所

一三疊々もむい如圖

点前
如前



水指

○金蓋

○柄抄

蓋置

利休好 威阿弥写

真比臺子

惣高貳尺二寸

天井 六分

大井

長三尺二寸

巾一尺四寸

柱ハ四方メン壹分

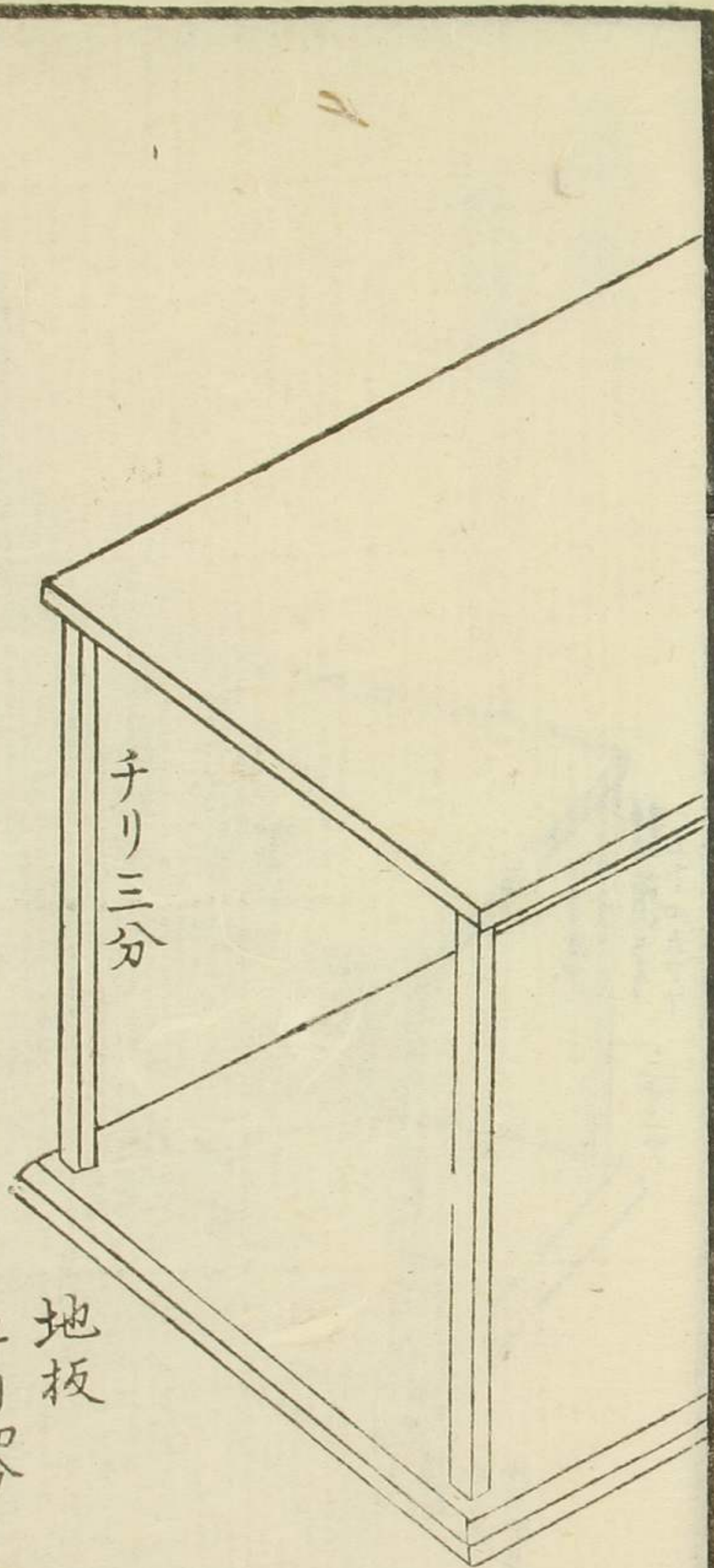
地板

長三尺

巾一尺四寸二分

地板

一寸四分



子リ三分

地板 子リ四分

利休好
威阿弥写
真比臺子

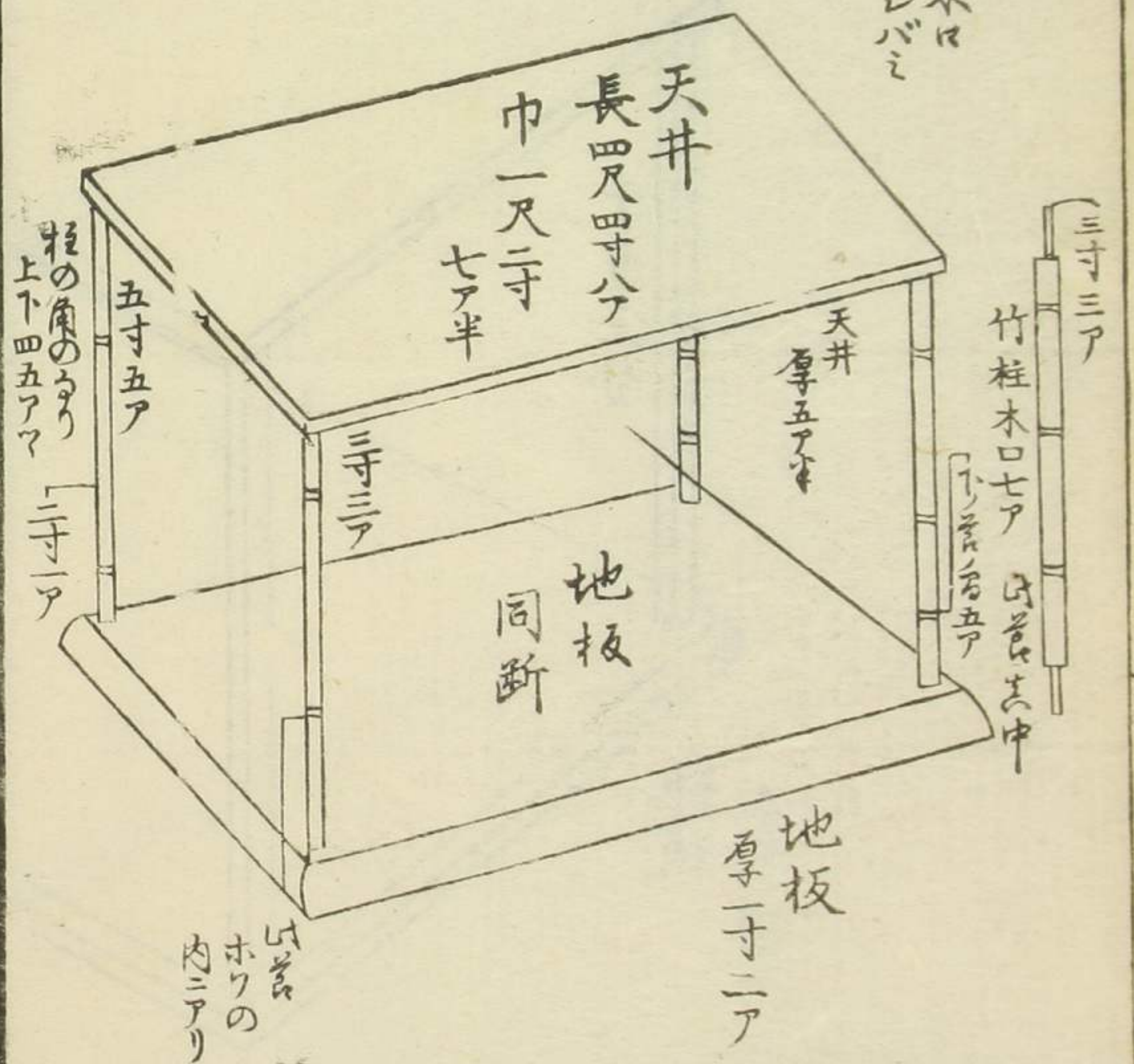
三十一

方三法月打

竹臺子

高内法
壹尺八寸一分

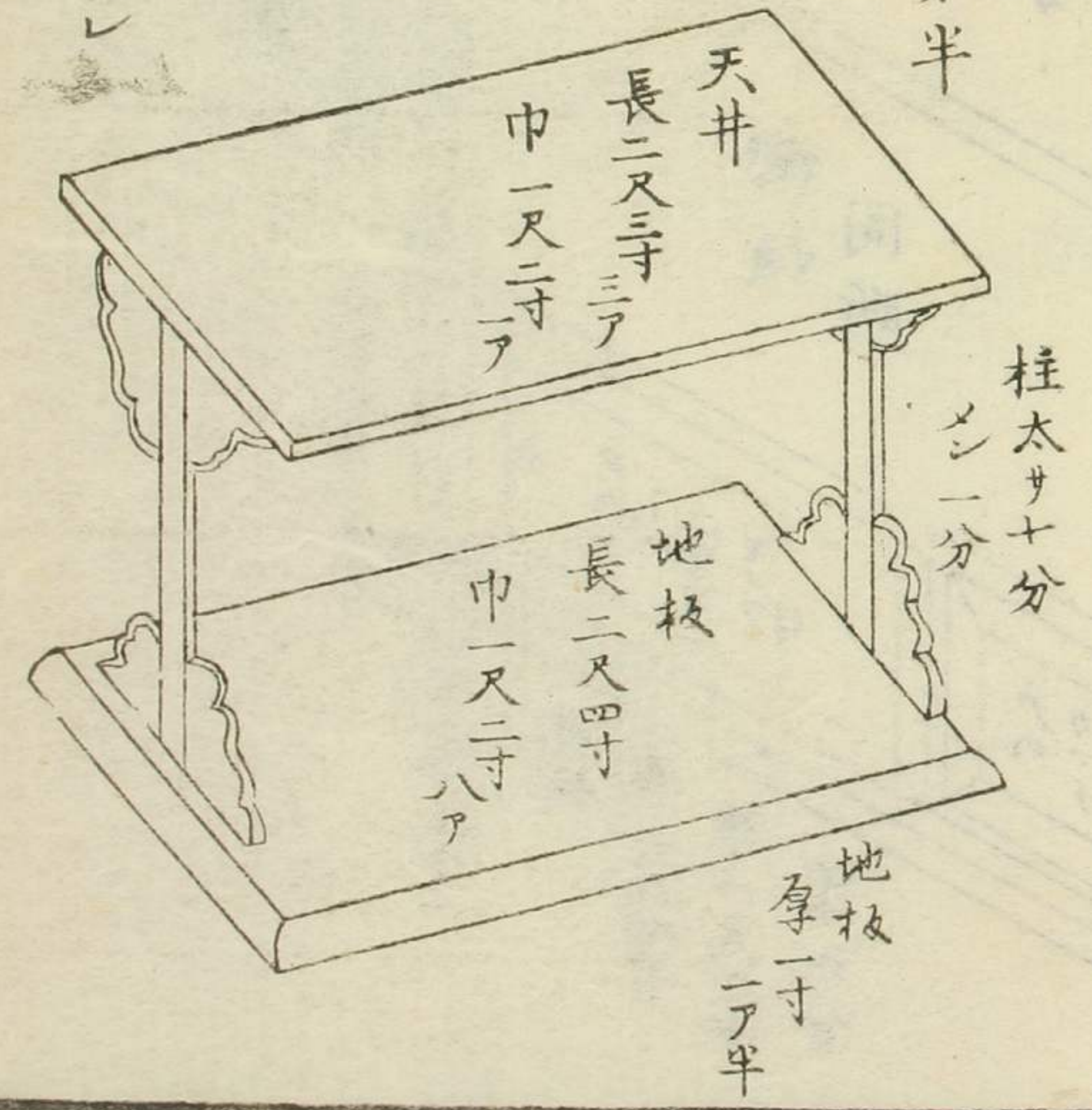
板桐
天井本口
ハシバミ



桑臺子

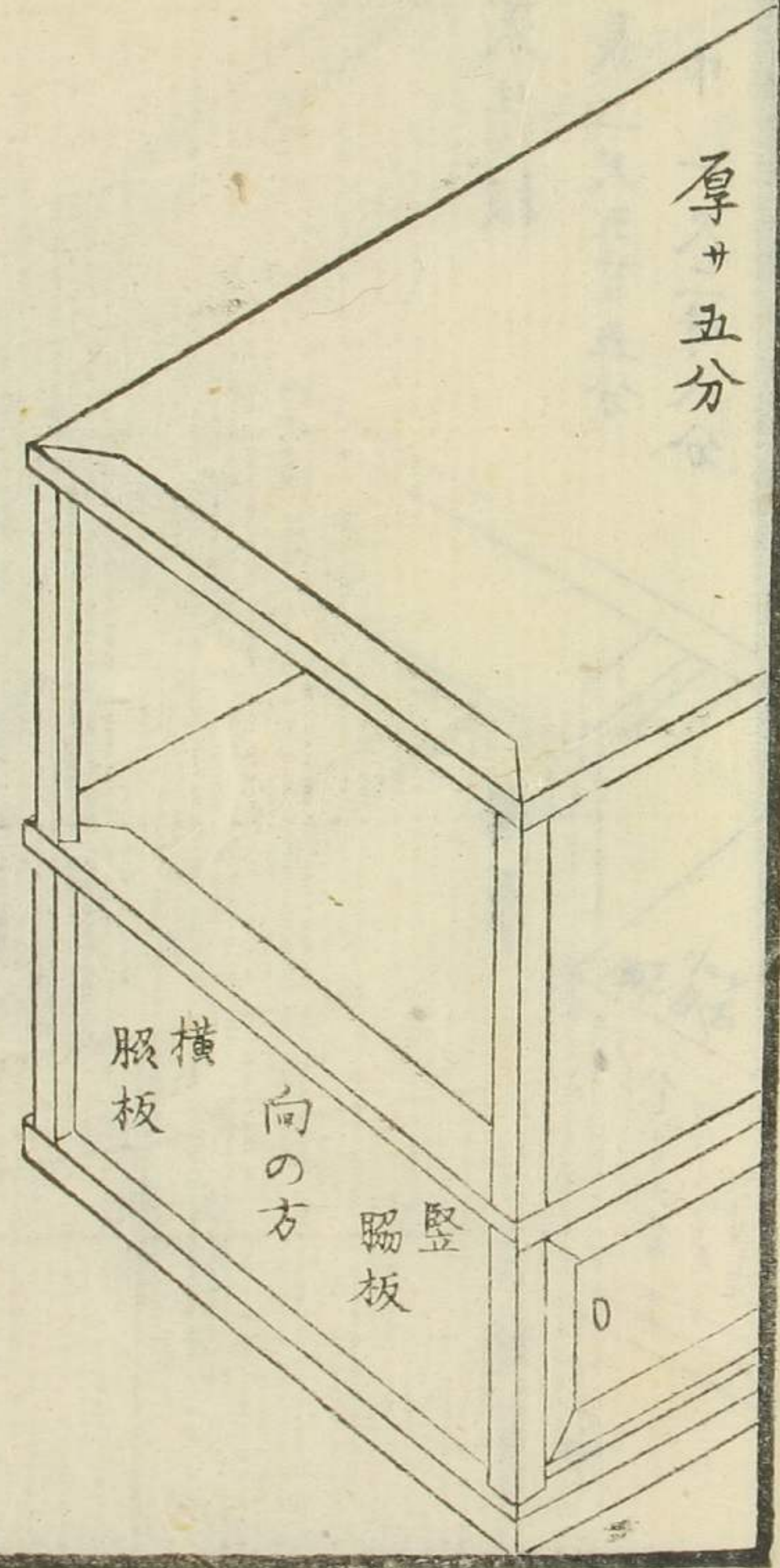
惣高壹尺八寸三分半

天井
裏ノヒレ



方三法月打

方三法月打



厚サ五分

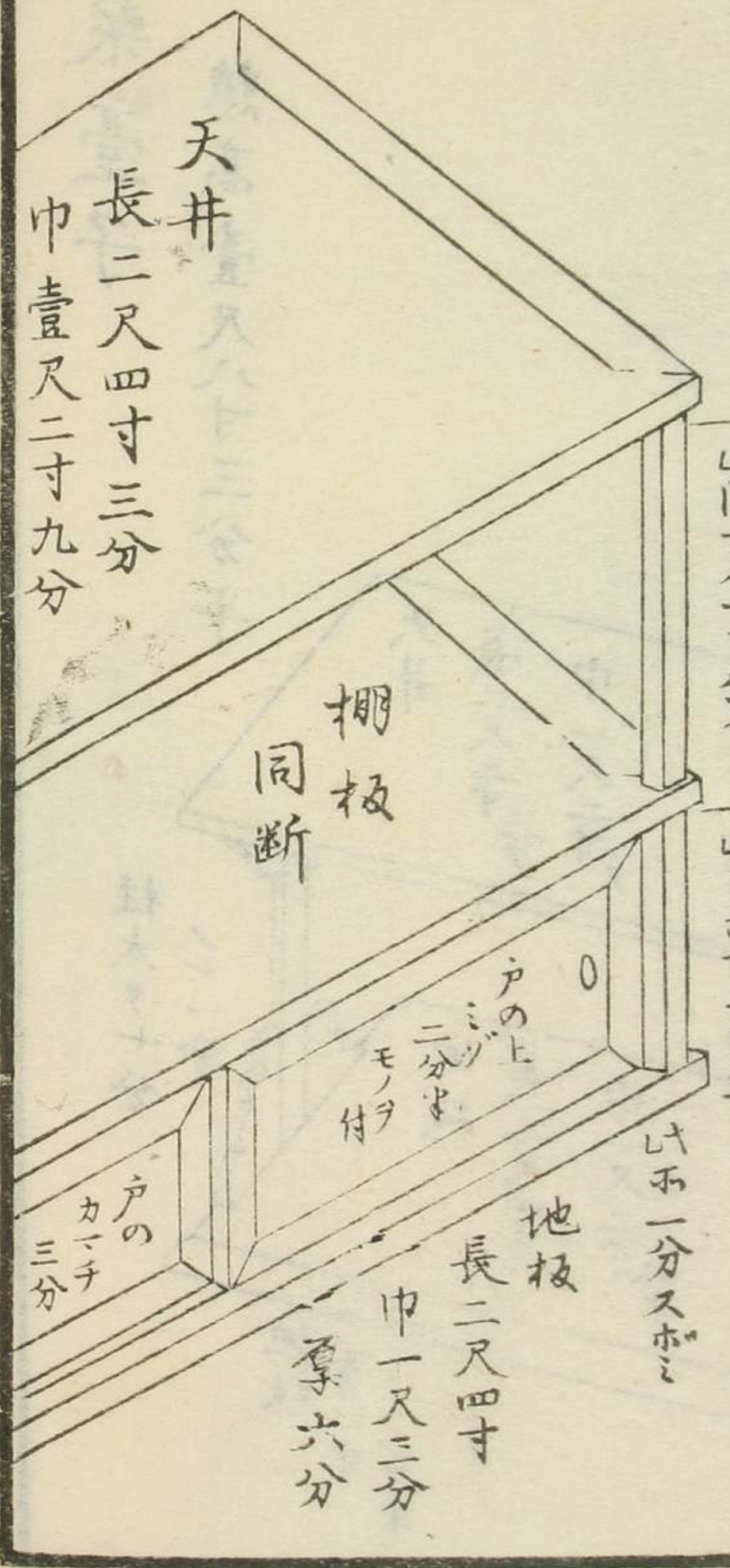
横板

向の方

縦板

紹鷗棚 檜溜塗

惣高壹尺九寸五分



天井

長二尺四寸三分

巾壹尺二寸九分

棚板

同断

戸の上

二寸半

モノ付

地板

長二尺四寸

巾一尺三分

厚六分

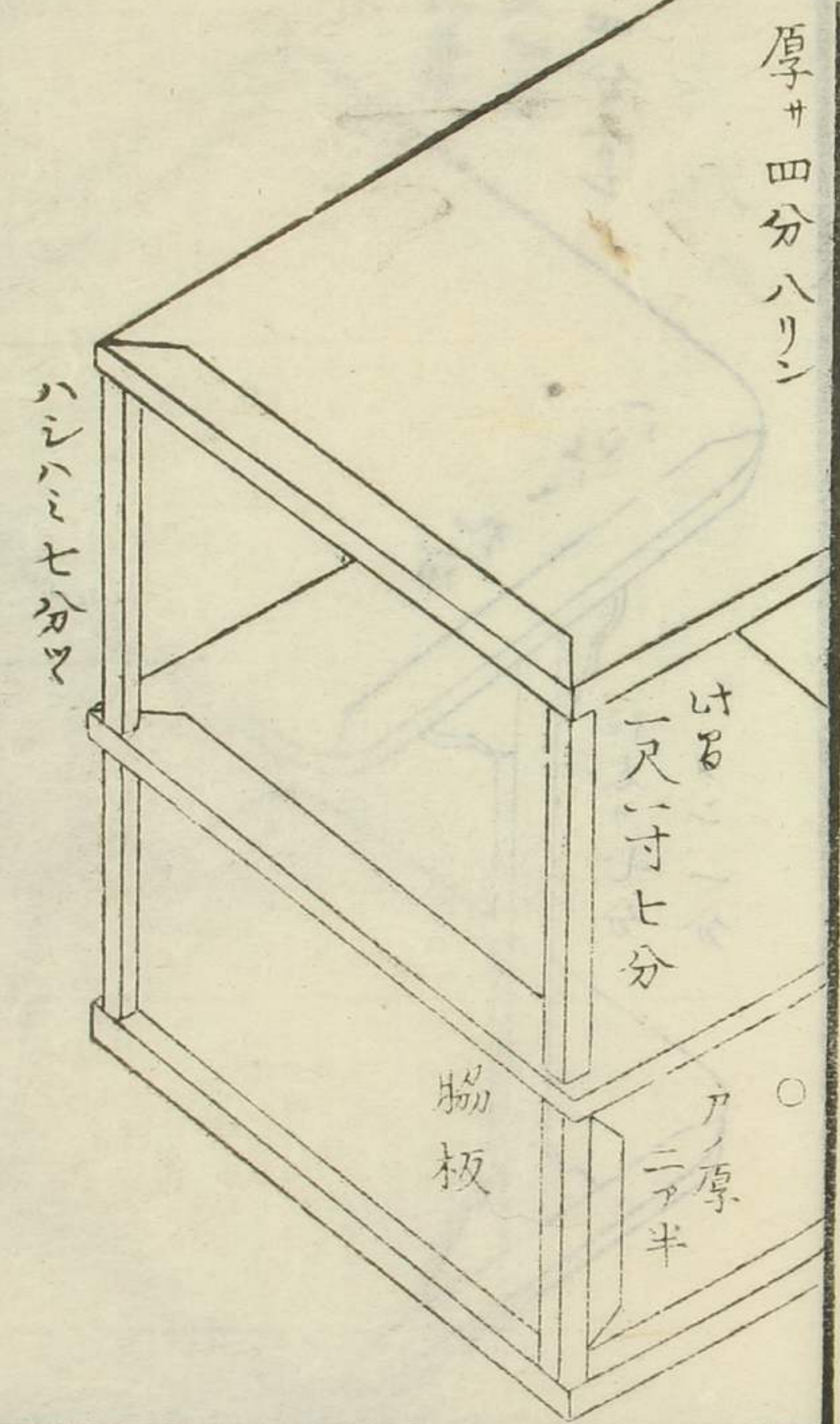
戸のカーチ

三分

間一尺一寸八分

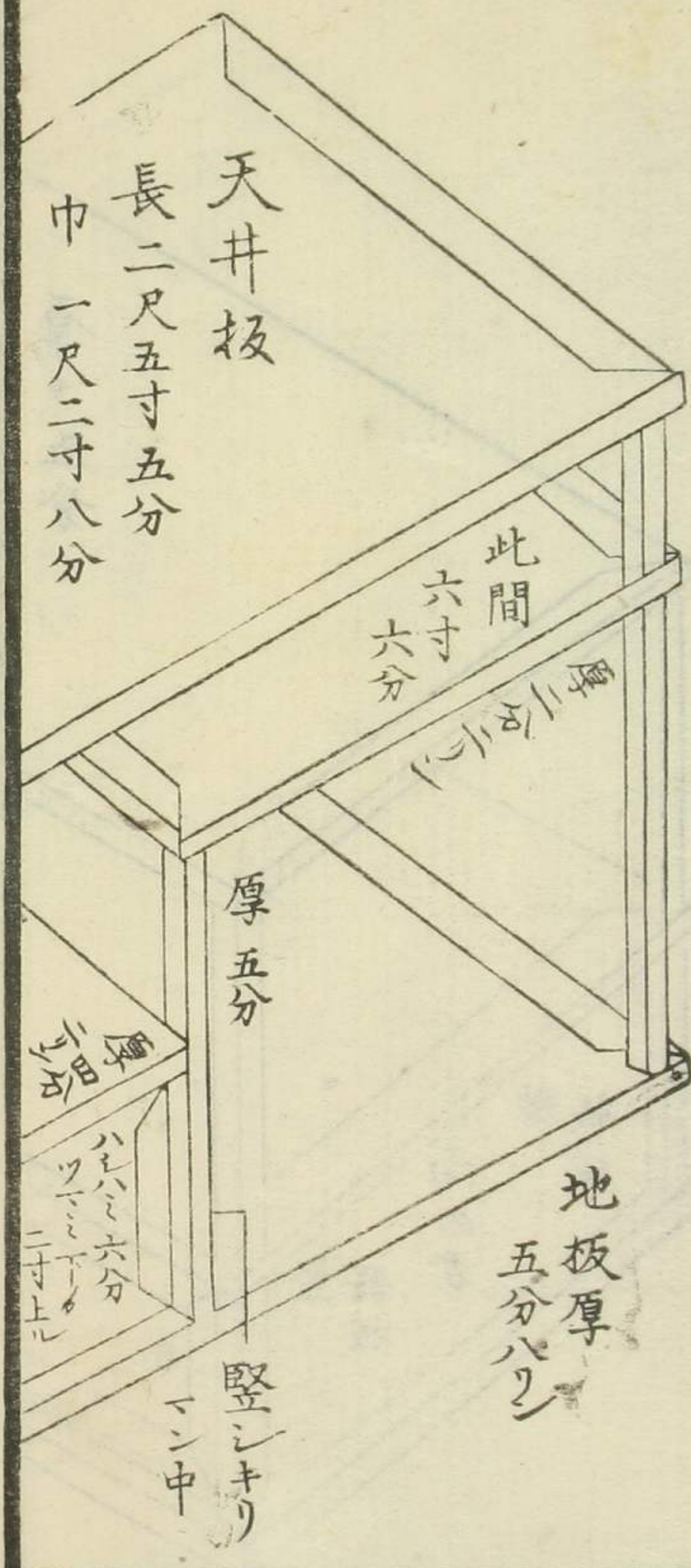
六寸一ツ半

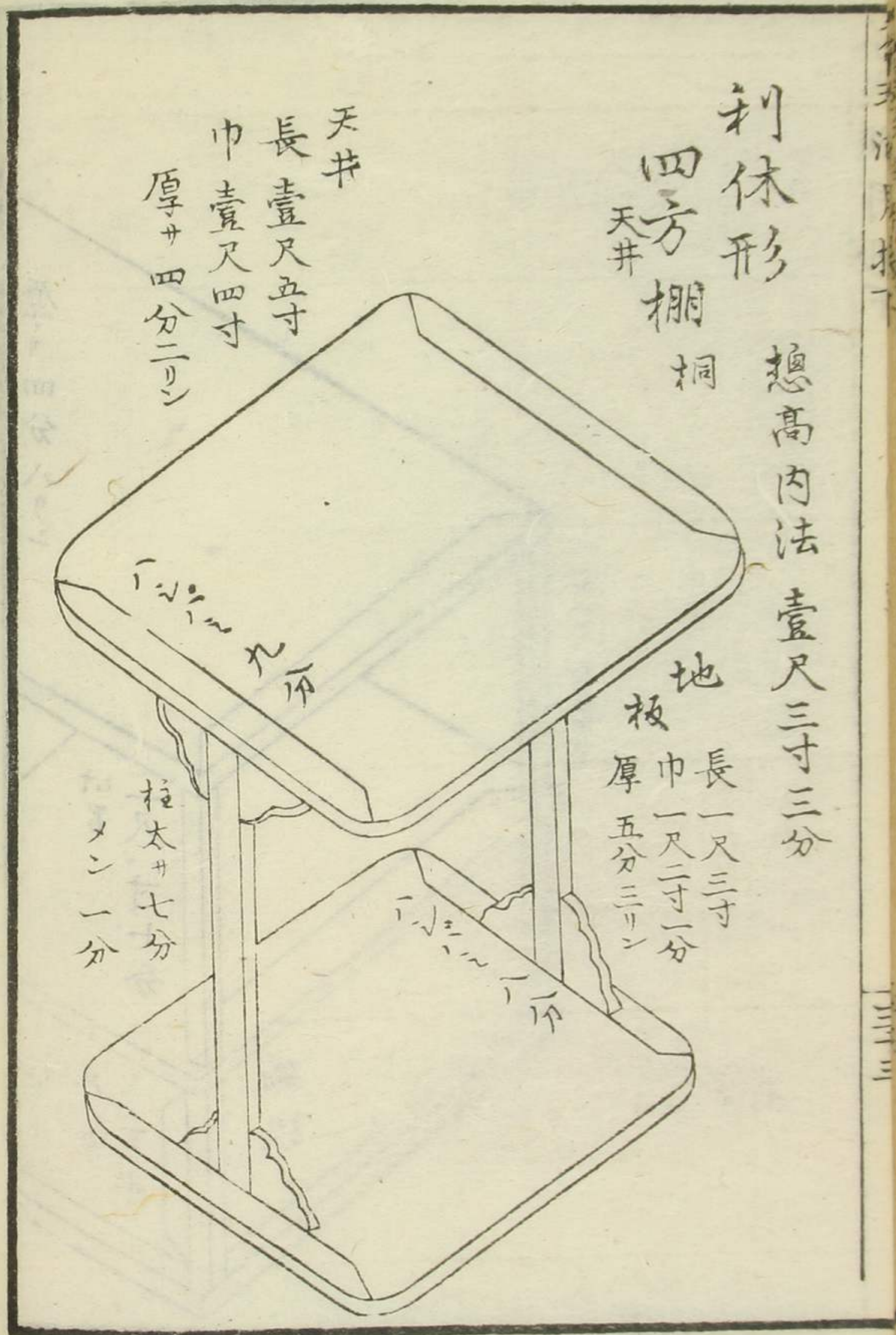
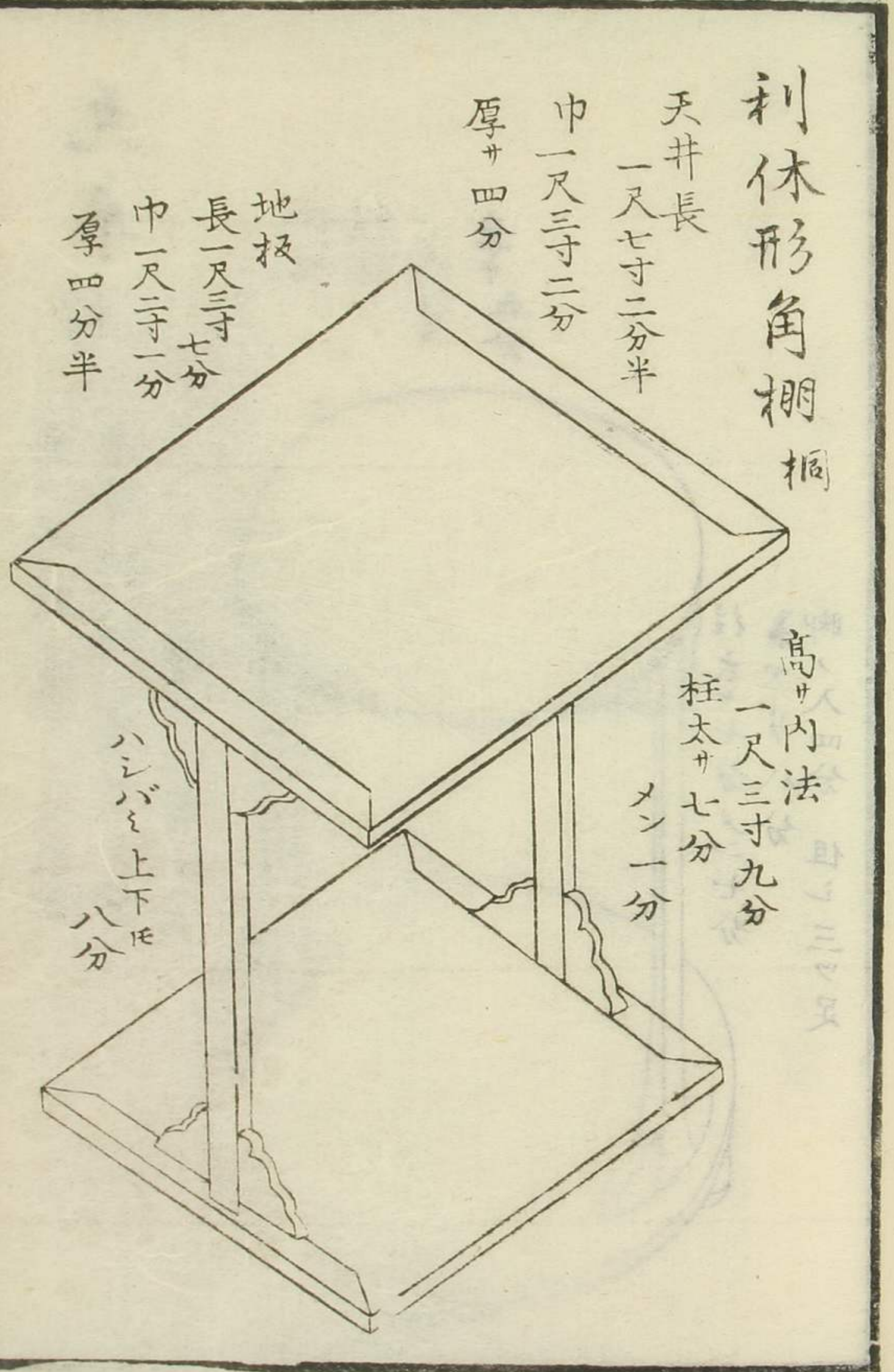
一分スホ



袋棚 桐

惣高壹尺九寸八分

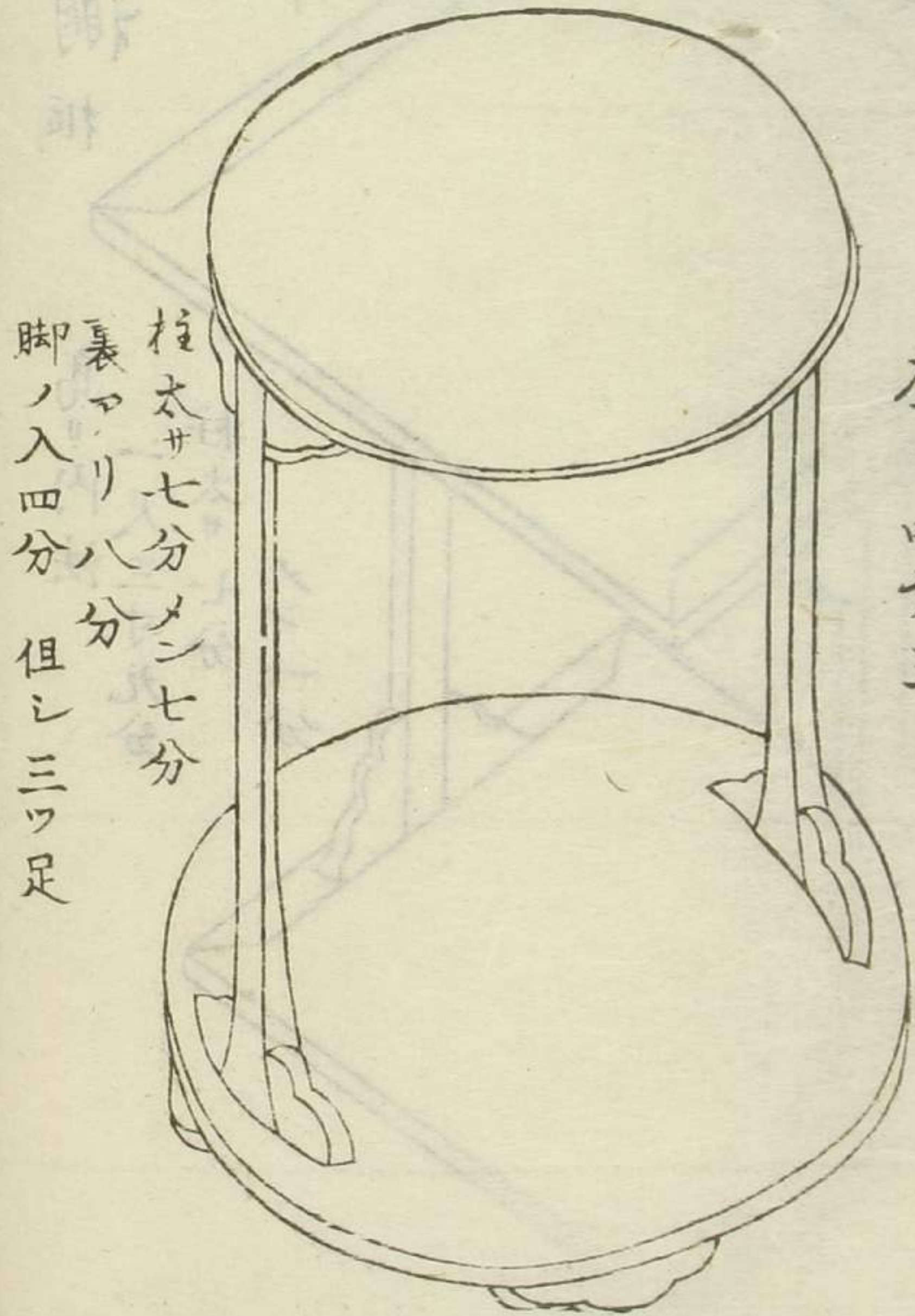




丸卓 桐

高サ内法壹尺三寸三分
天井指渡シ壹尺二分
厚サ四分三リン

地板
指渡シ
一尺一寸
厚サ五分



柱太サ七分メシ七分
裏ワリ八分
脚ノ入四分 但シ三ツ足

桑小卓

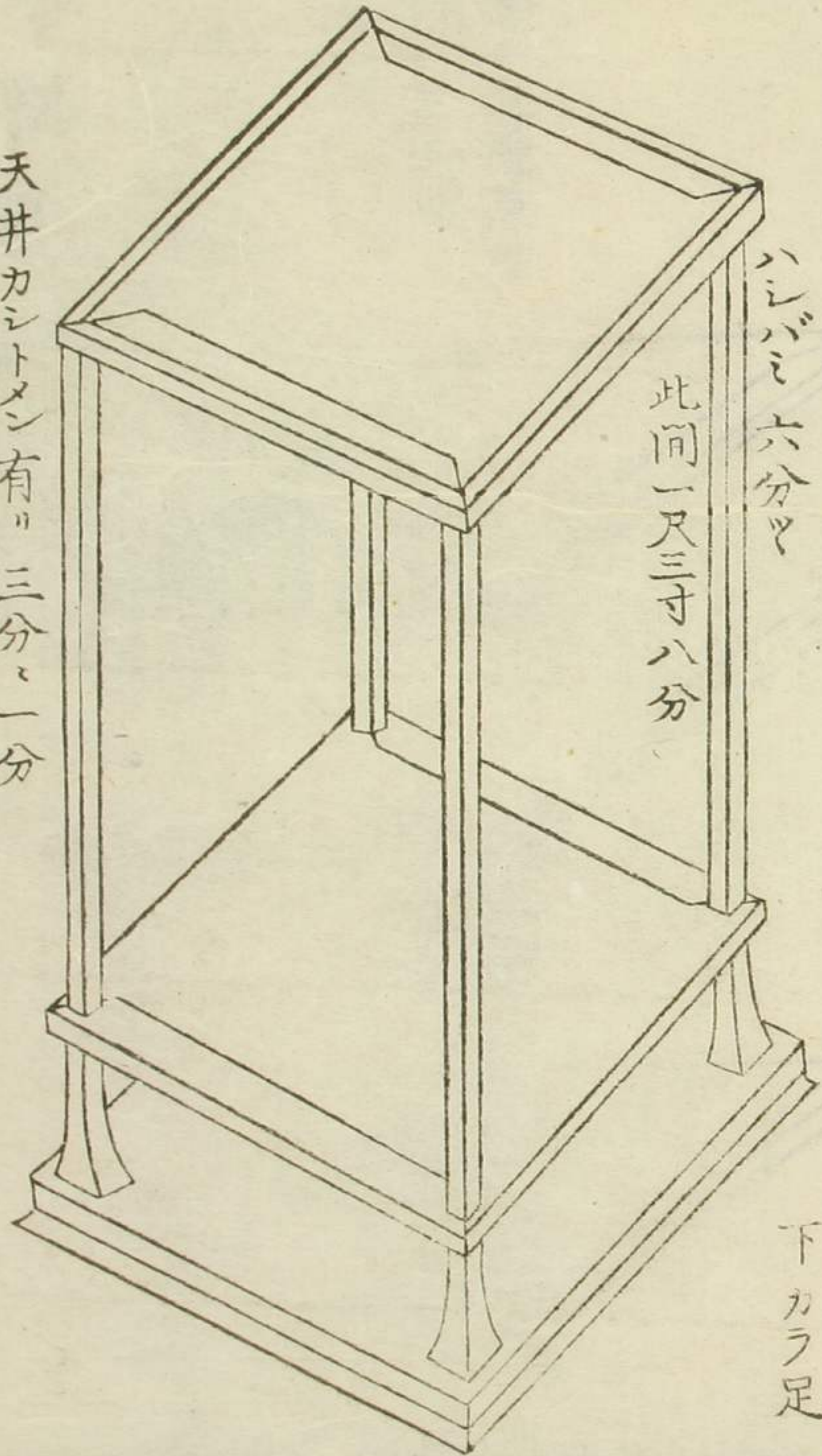
惣高サ一尺七寸
天井中棚九寸二分四方
厚サ四分

地板大サ九寸四分
厚サ五分

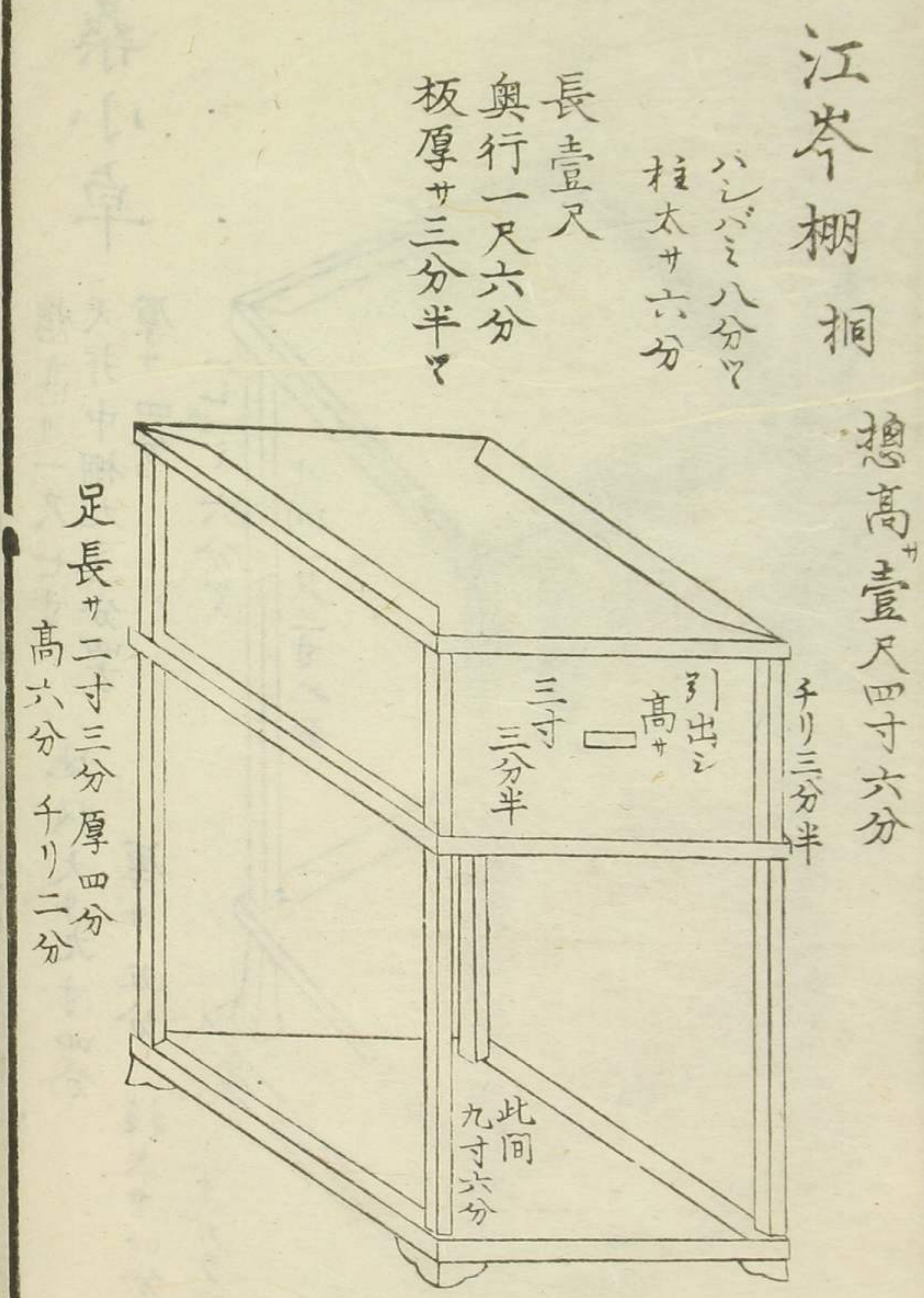
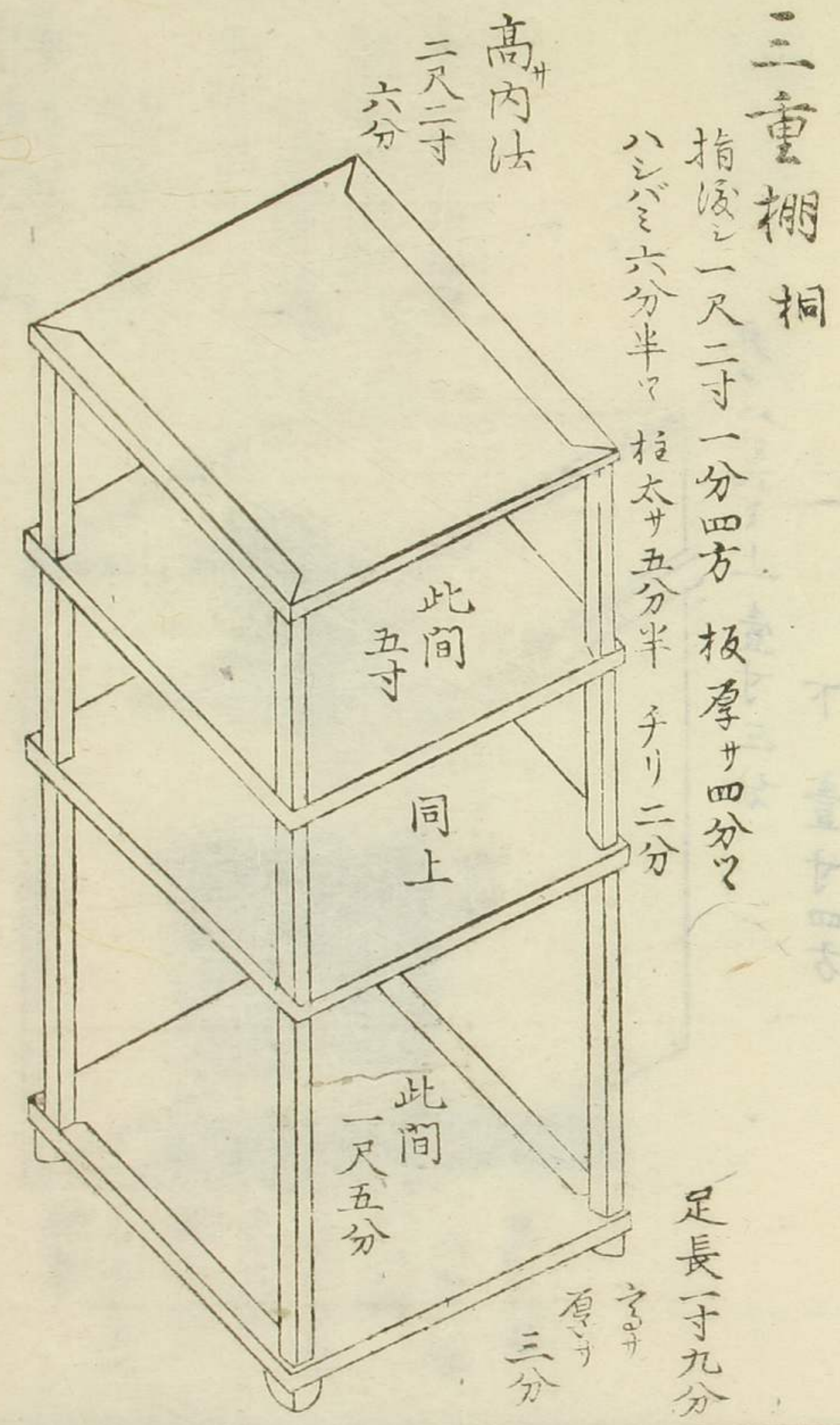
柱太サ四分
下カラ足

ハレバミ六分

此間一尺三寸八分

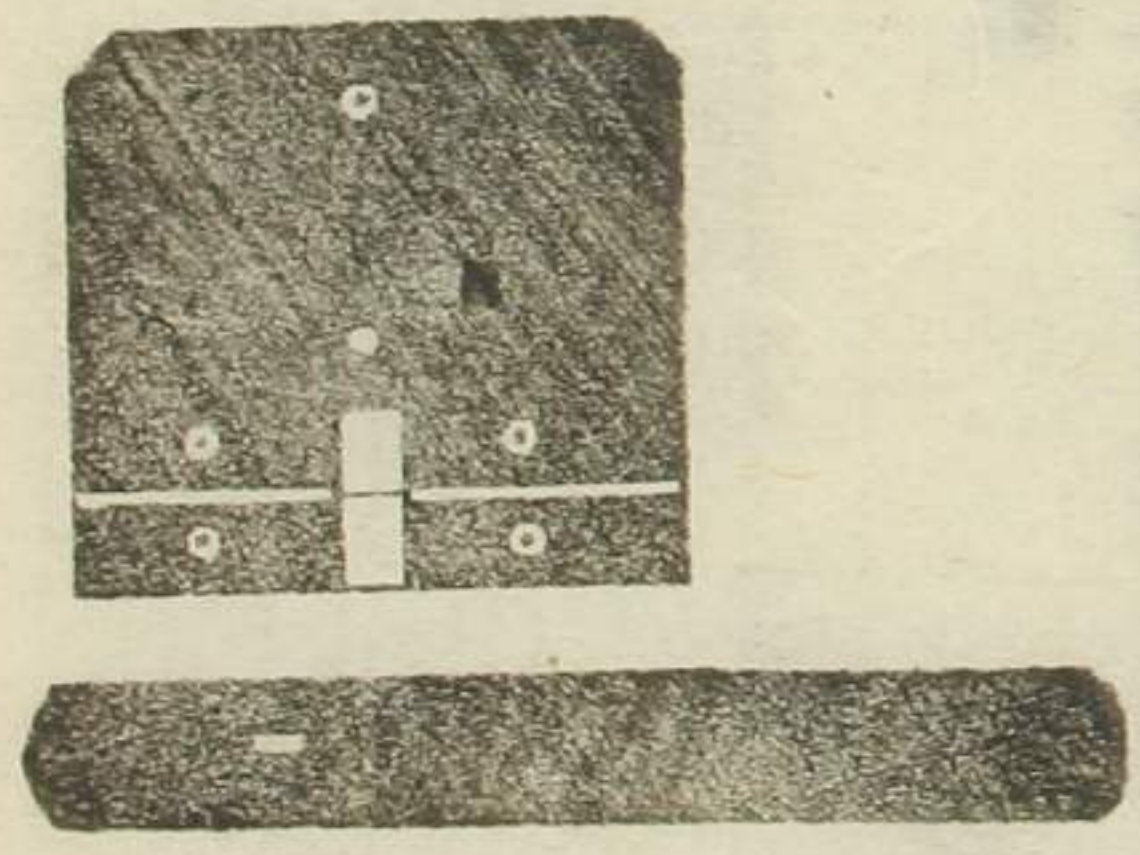


天井カシトメ有リ三分一分



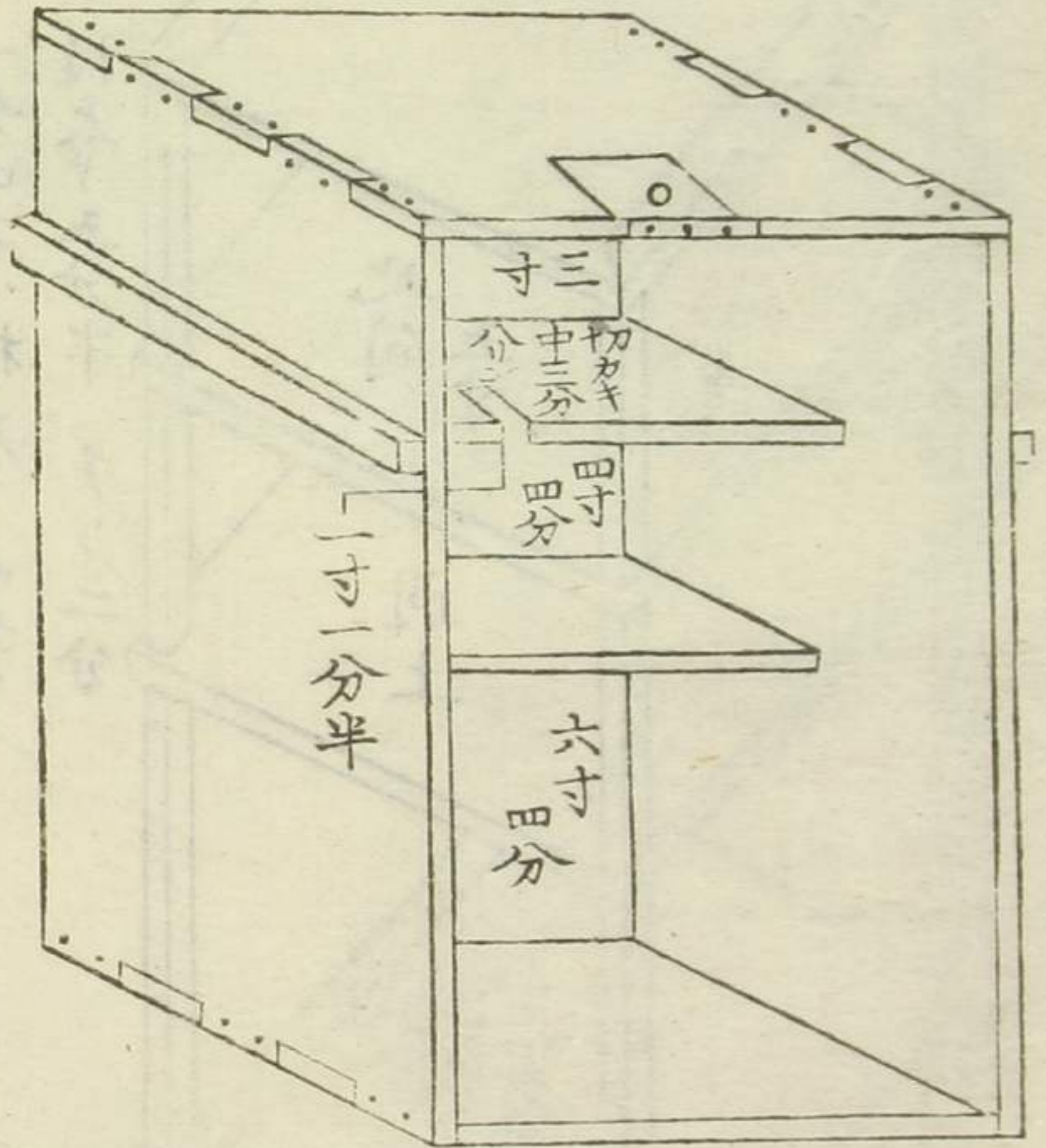
同いぐく周

鏡物
左乃



利休形 桐
旅單筒

外法高サ
一尺四寸七分
同深サ九寸
巾一尺一寸四分

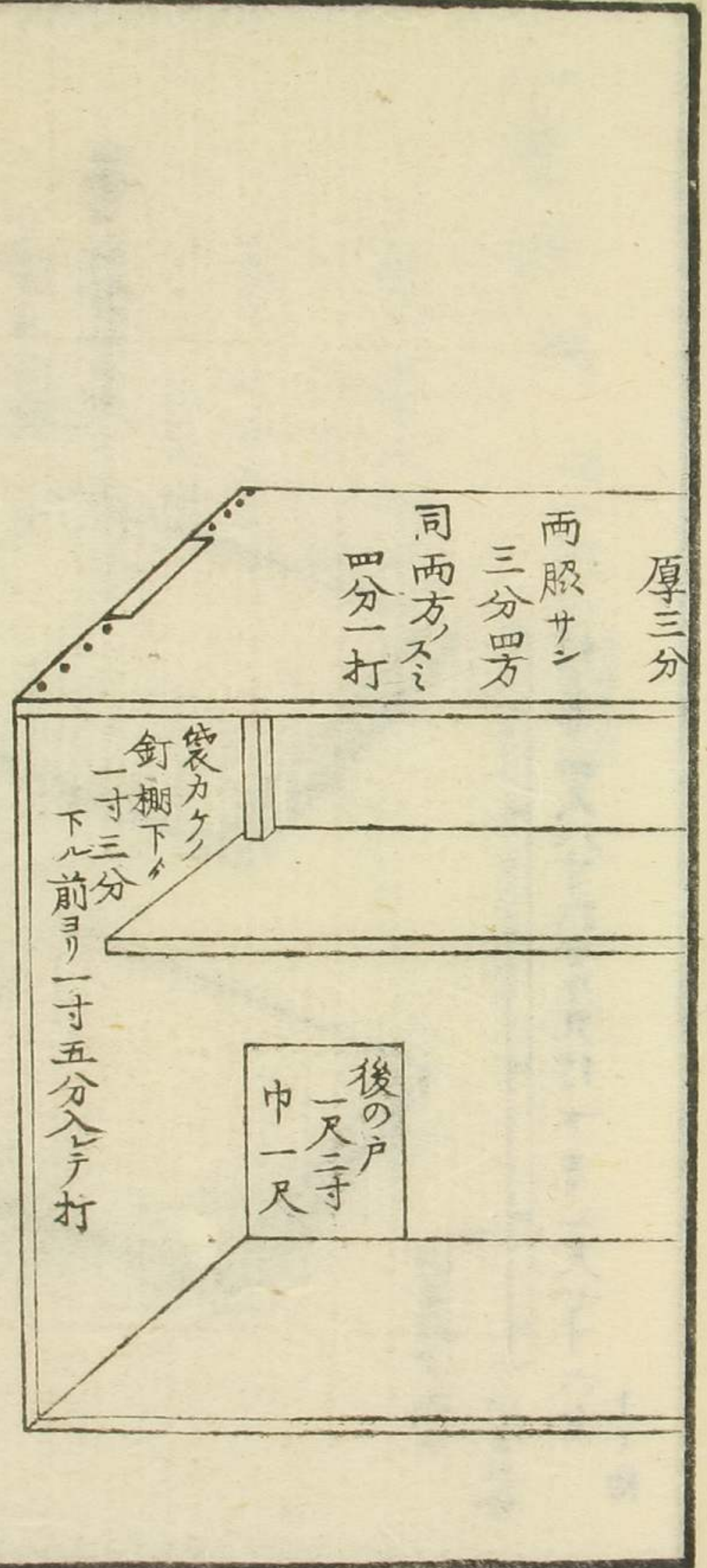
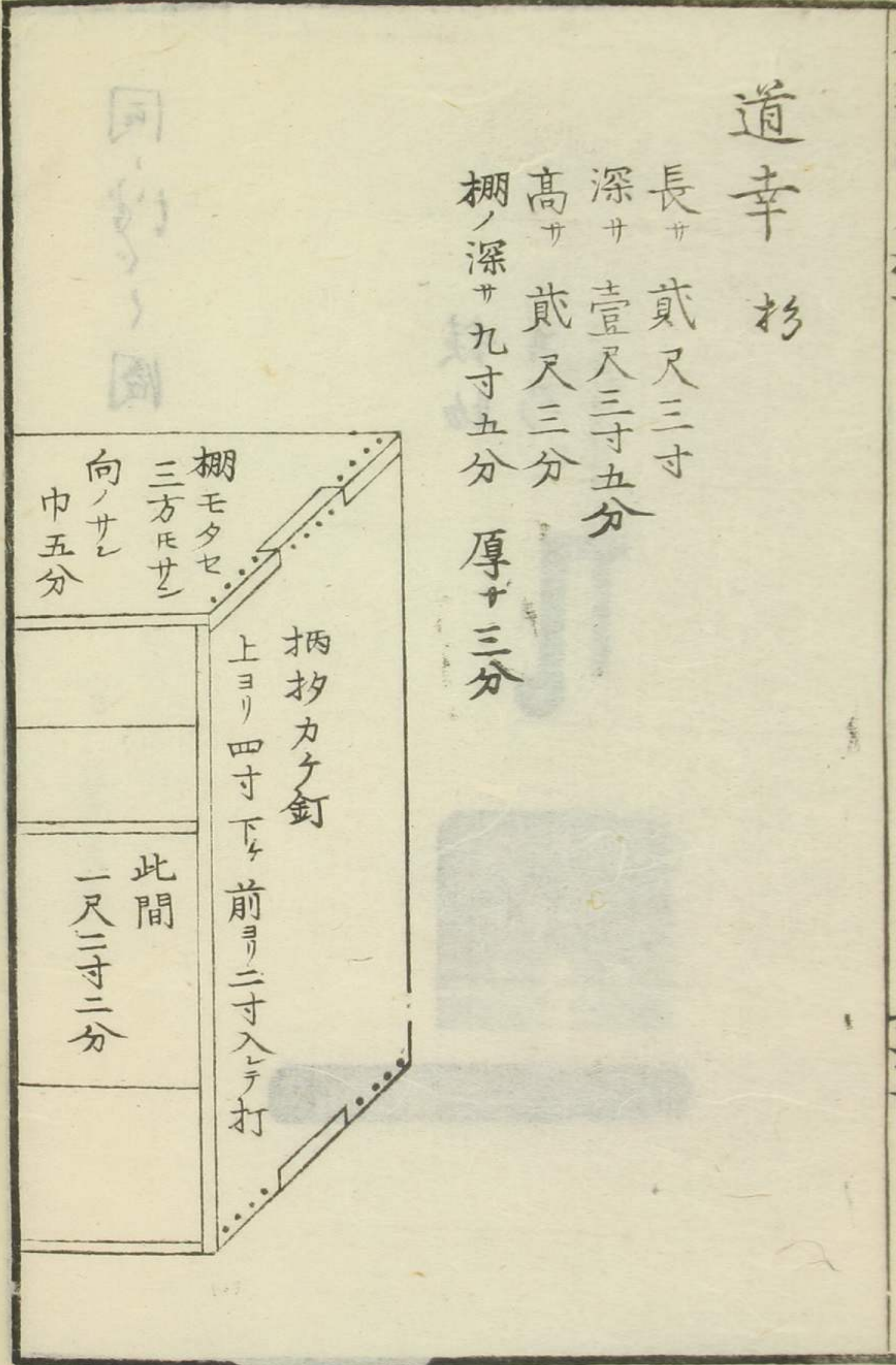


戸ノハシバミ上壹寸三分
下壹寸四方

板厚
三分ツヨク
棚二枚
上乃棚
八寸一分半
下の棚
六寸一分
厚サ二分

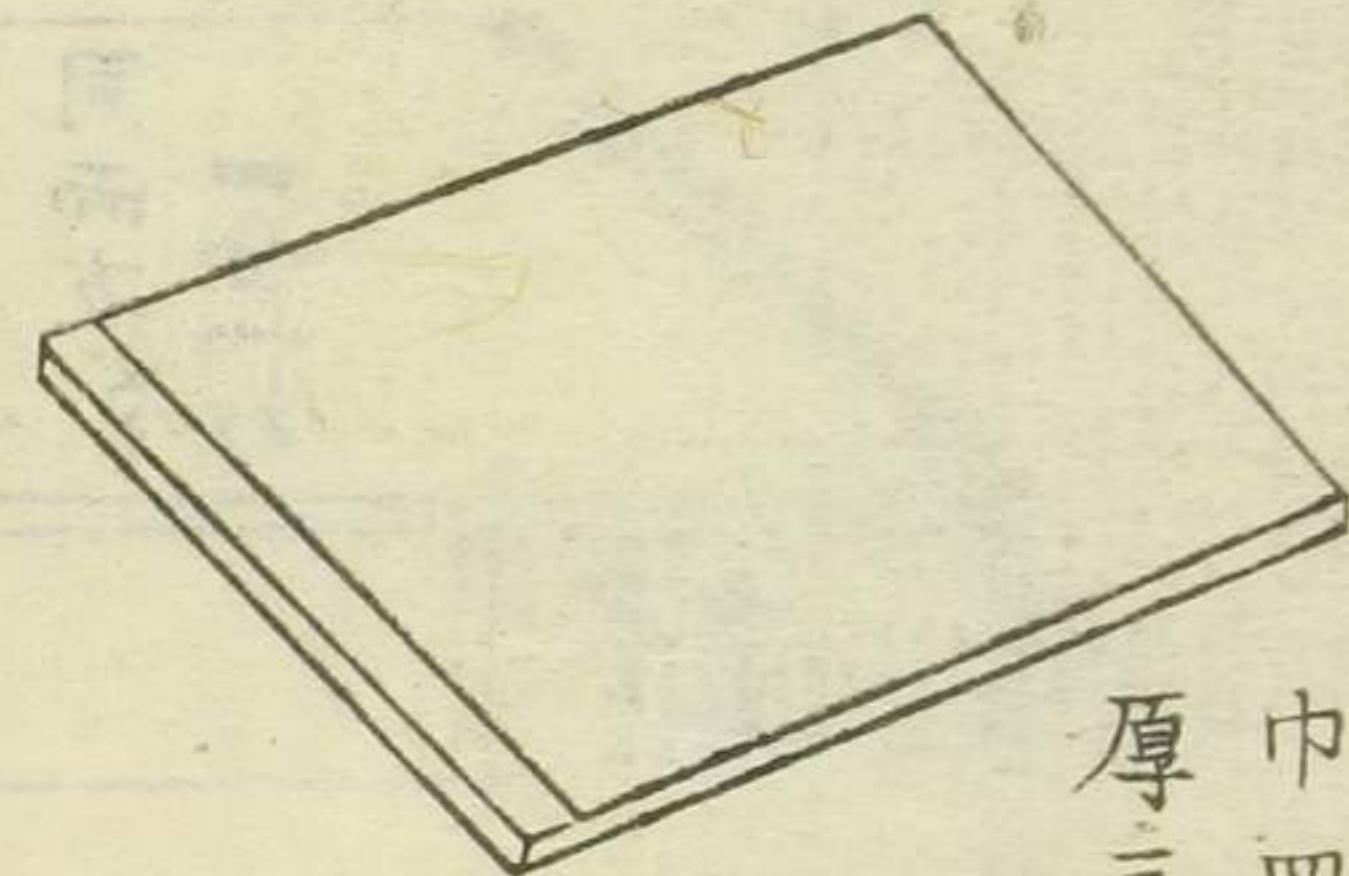
道幸杉

長サ 貳尺三寸
 深サ 壹尺三寸五分
 高サ 貳尺三分
 棚ノ深サ 九寸五分 厚サ 三分

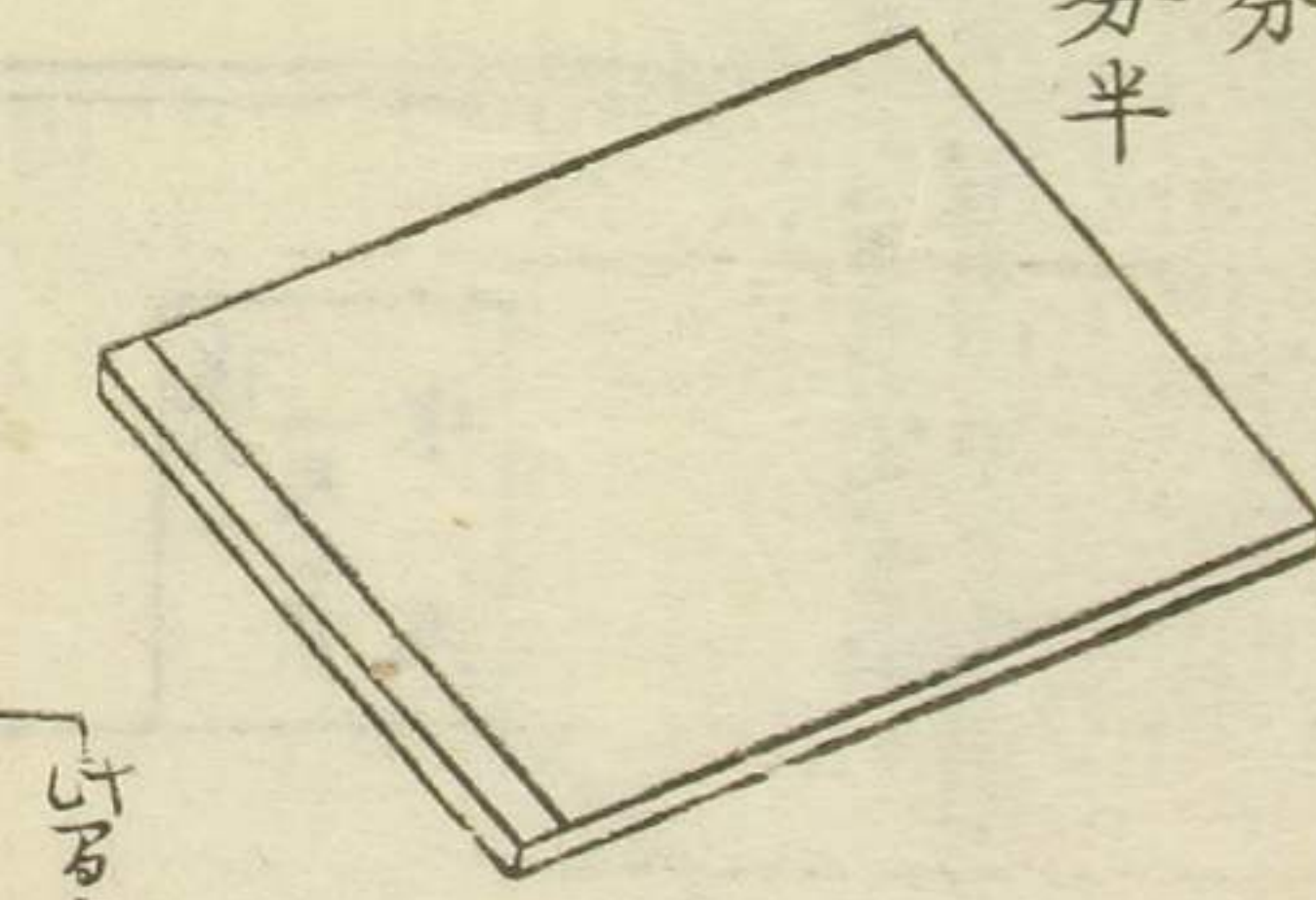


大日向二重桐

長⁺壹尺二分
巾九寸
上下尺同断
厚⁺四分二リ



巾四分
厚三分半



但シサビニテ移⁺するとも⁺なり

ハシバミ六分 ツリ木七寸七ア

竹長サ四尺八寸六分ツ九竹下ヨリ二尺七寸六分

ハシバミ六寸五分

ハシバミ五分

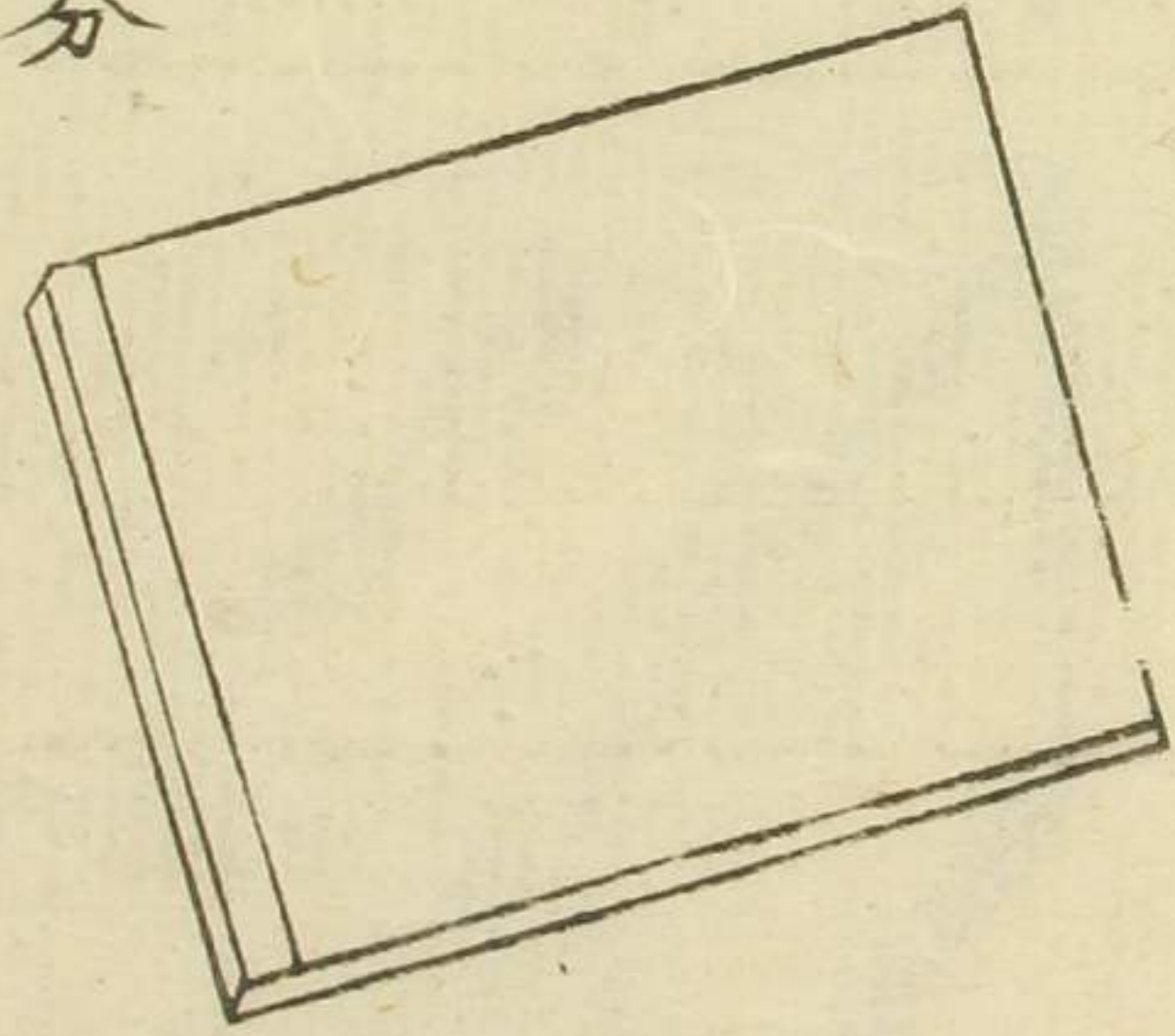
上テ約

一重桐

但シ移⁺と用る事二重⁺と同

一重⁺半

長⁺壹尺四方
巾八寸八分
厚⁺四分二リ
ハシバミ五分半
ツリ木三分ノ丸竹



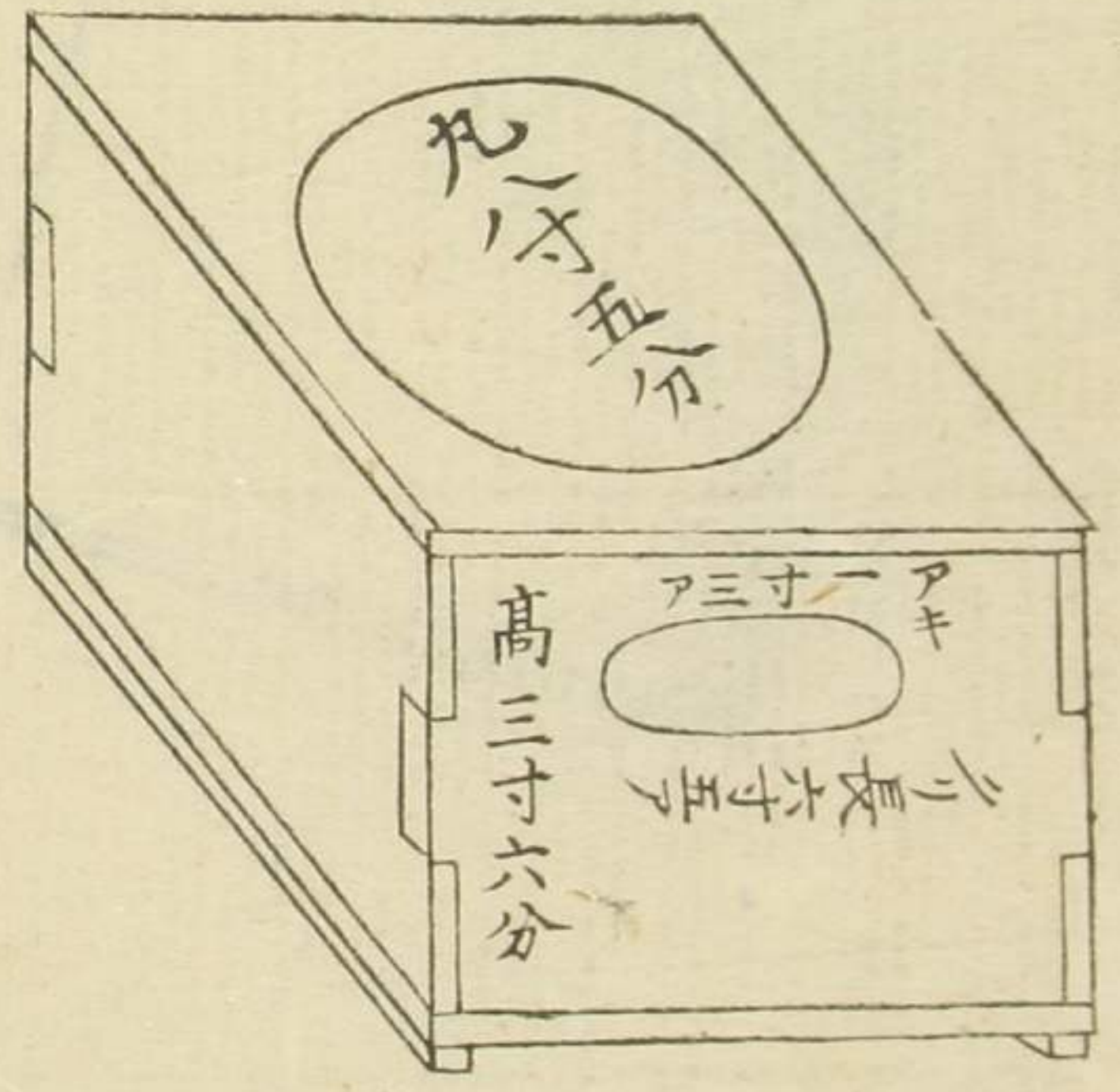
妙喜菴桐

長⁺一尺二寸八分
巾一尺八分
ハシバミ六分

宗旦板風呂桶

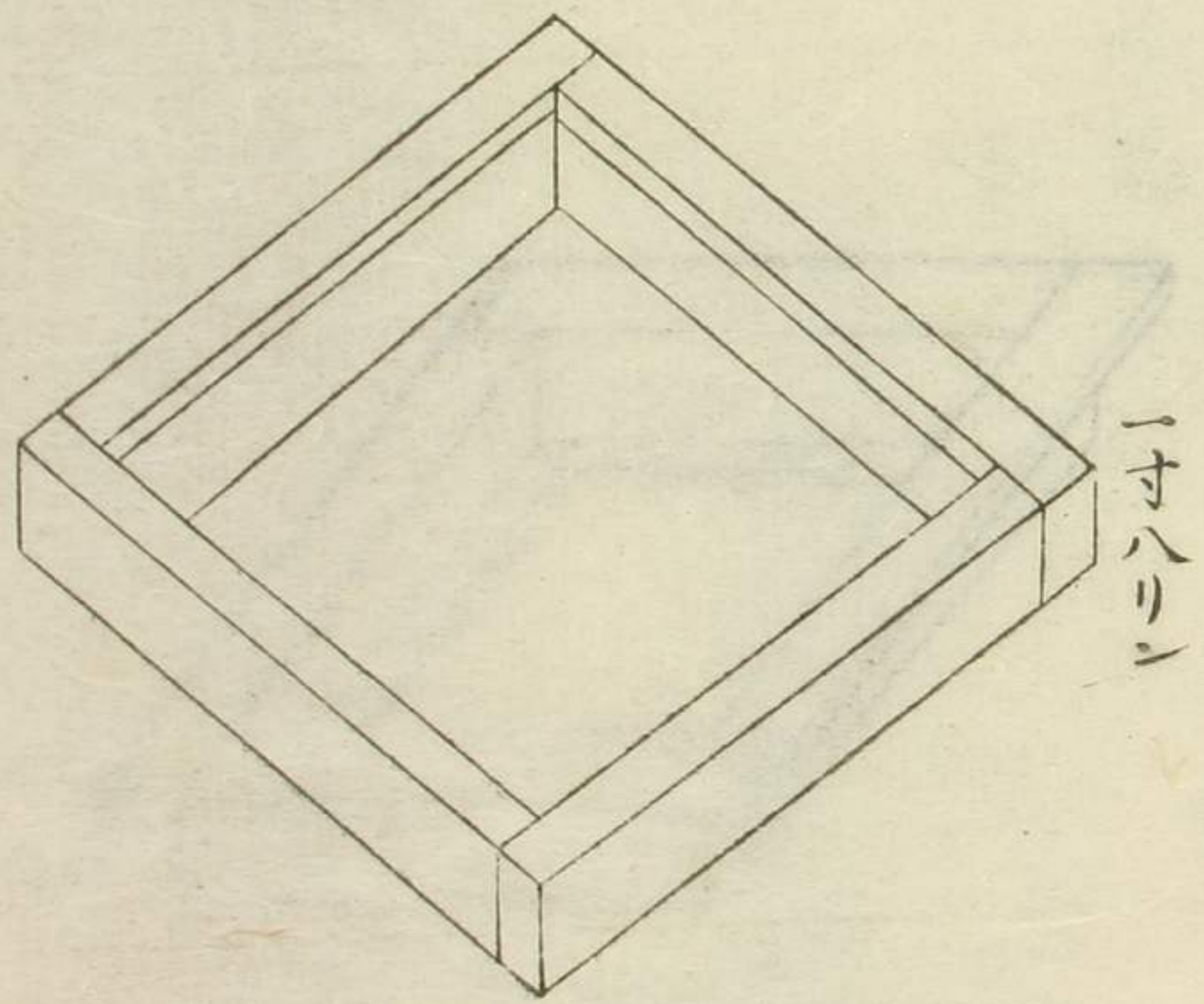
大廿壹尺八分四方
 高 八寸四分足_正
 横厚 三分半
 足中 九分
 厚 四分

但原叟好松_ノを上乃板_ト
 四方切お_と二ツ_ニ割_ハなり



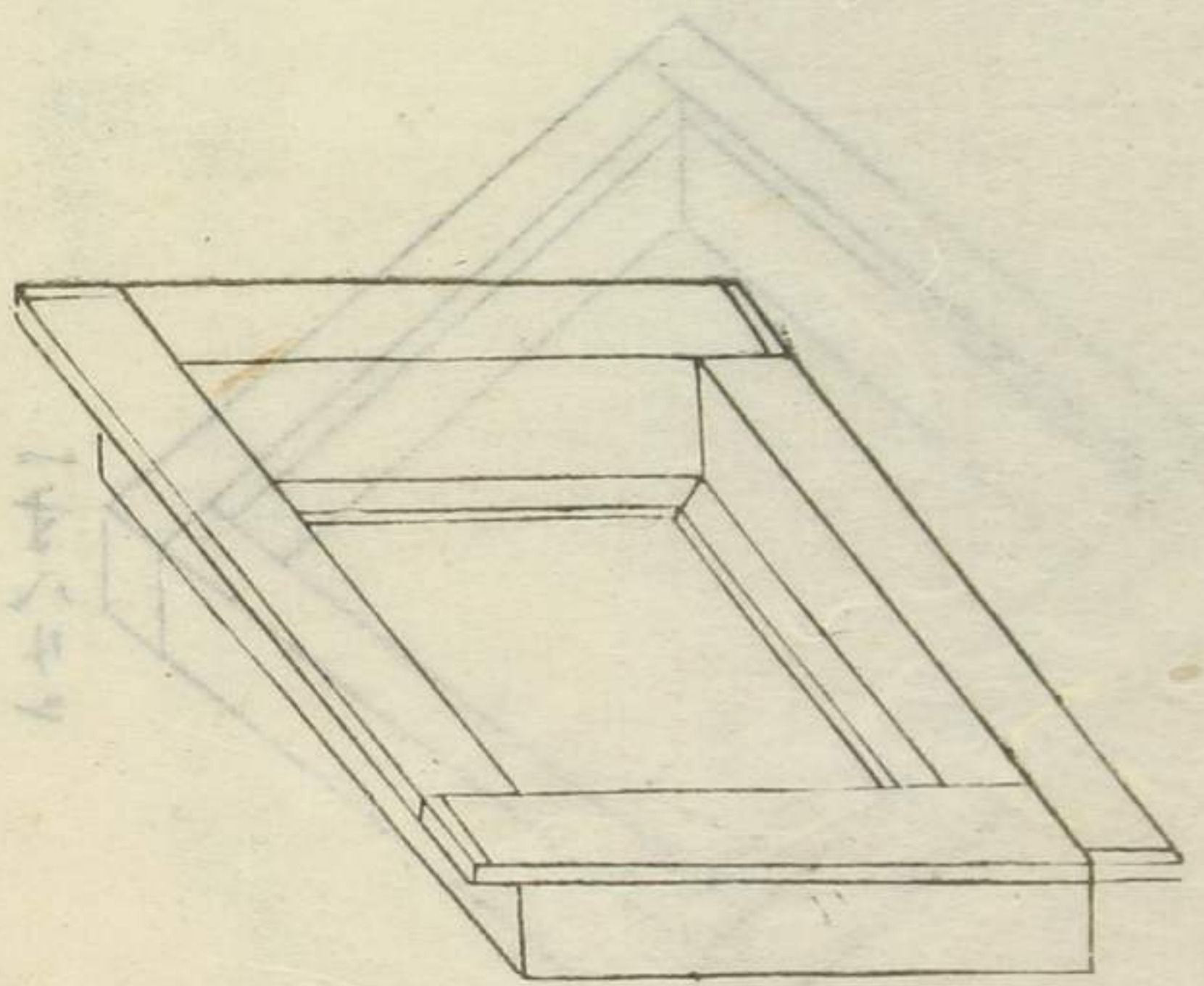
利休 爐縁

大廿壹尺四寸
 高 二寸二分_ヨ
 厚 壹寸二分
 ハシ巾 三分半
 ウラハ 四分二分



同
西履オホヒ

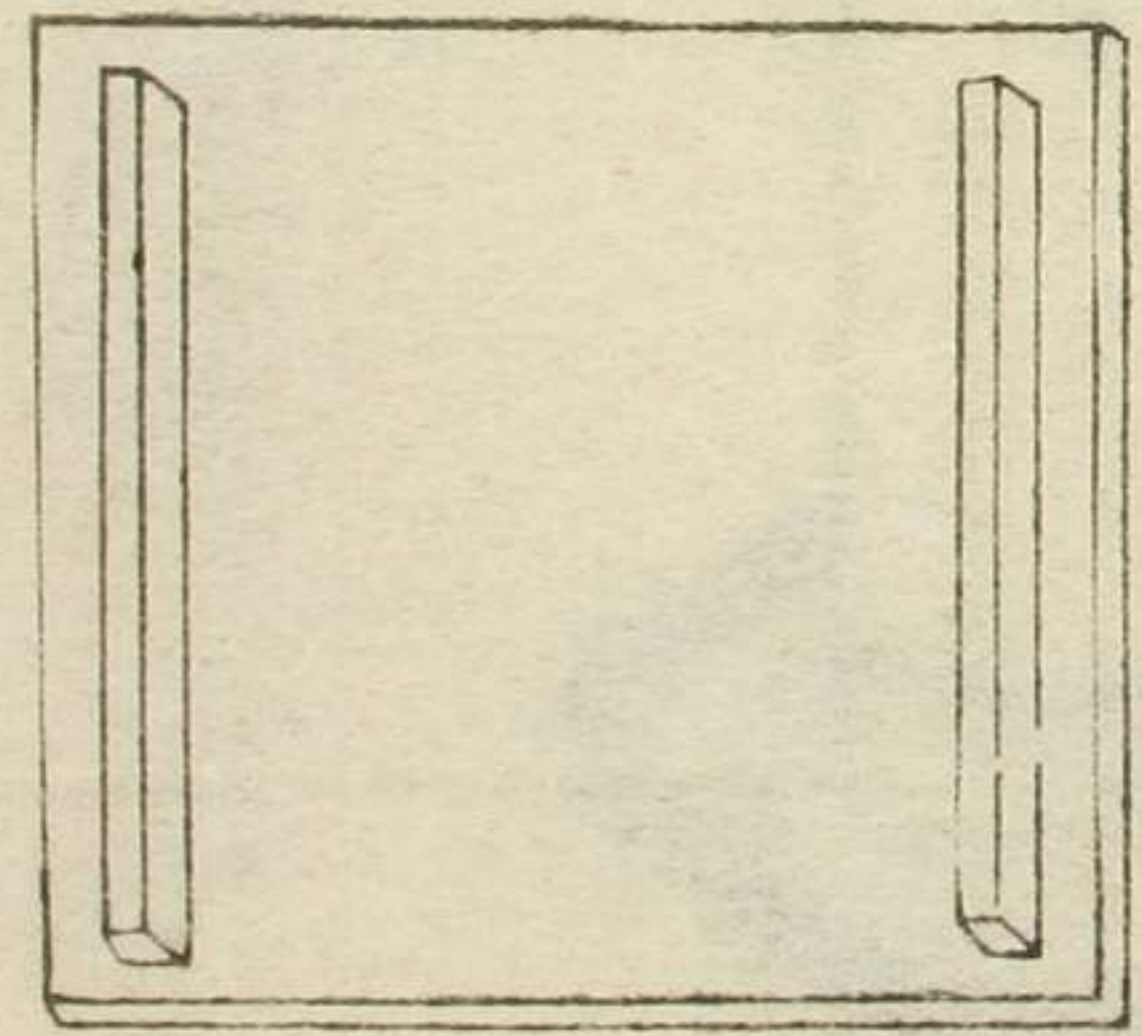
大サ 壹尺四寸一分
板巾 壹寸四分半
高 二寸二分
コケフチ巾 壹寸



林 敷

司
蓋

大サ 壹尺四寸一分
サシ 六分
高 七分



仙叟 同

臺 長五寸三分

巾五寸一分

厚四分

角一寸

竹臺より上

一尺三寸六分半

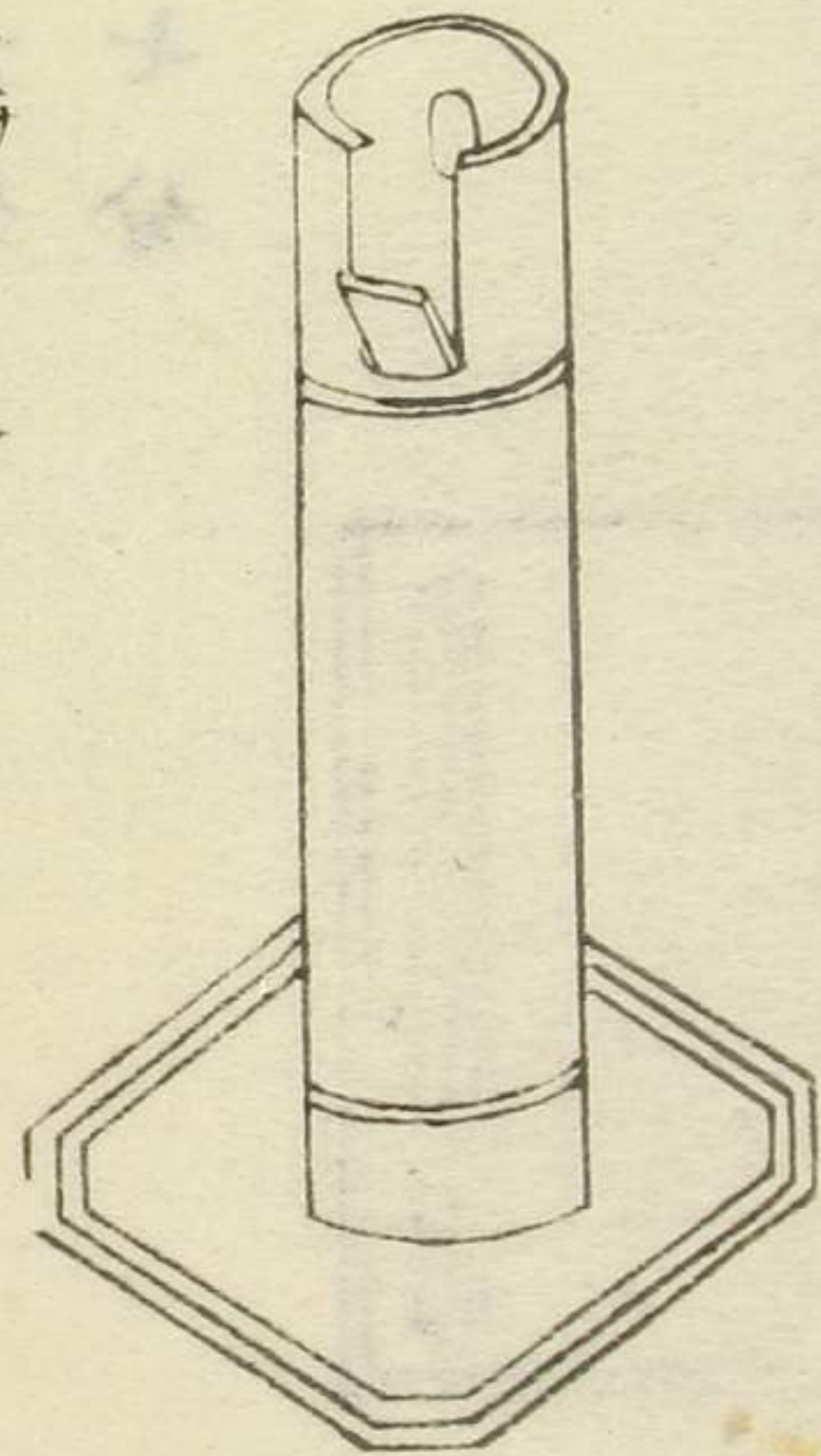
節上より六寸五分

下テ舌ノカキ

長五寸七分

作壹寸五分舌ノ長三寸二分

ウレ口穴上ヨリ壹寸下テ壹寸三分、巾七分



利休竹繁

ナカキ

ウレ口穴上ヨリ壹分下テ

壹寸三分、九分

竹サレヨリ三寸二分位

臺

長五寸四分

巾五寸一分

角壹寸

厚四分三リ

竹ノ高

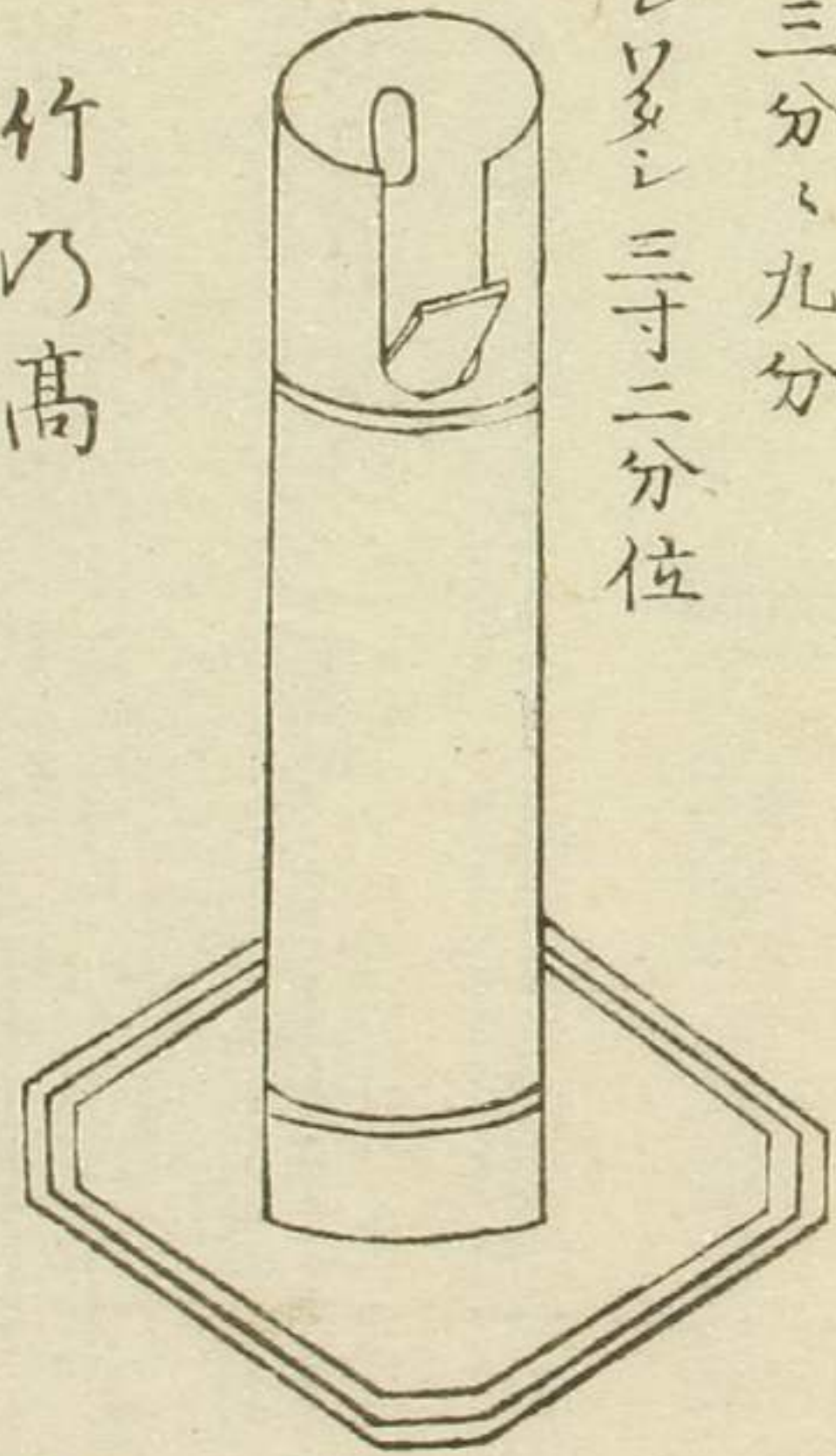
臺ヨリ上壹尺四寸五分

節上ヨリ四寸二分下

下カキ上ヨリ三寸四分

巾壹寸四分

下ノ長三寸二分



一 踏次仕様之事

先中敷と改踏次付邊ヒ下押縁ツ樋竹等モ青竹ノ見合カ替カ志西ノ幕塵チ著レ青竹ノ替カ

踏次ハ掃除サウ付外踏次ハ水ト打チ戸不残水ト志西ノ雪隠セウイ中ノ不残水ト打外待合マ烟タバコ子コ盆ボと出シまシより内踏次ハ水ト打チ尤砂ス雪隠セウイ中ノ水ト打チなりまシより内腰掛コシカケ一ヒ圓エン中ノ客カ乃カ敷キはシるノ至シ尤ト下座ノ方ノ一松葉ト安事ツ植込ウ乃内見合ノ所ノ敷キなり

右ノ通口切ニ安シ月ノ元日ノよりウおシ松葉ト揚ツはシ仕

茶三油月抄

四三

やうハ大晦日ニ敷奇座の方ト揚但一長ハ改テ又正月末
或ハ二月ハ今其次ト見合揚但一風ハ揚ル時モ待合ニウケルハ松葉ハリ替カハ
待合不揚揚但一風ハ揚ル時モ待合ニウケルハ松葉ハリ

附 利休大晦日ニ奉書ハ此ハ紹路一信出スルハ昔紹路踏次カレ薄ニカリ居ルニ此時直ニ茶乃湯ハリ花ハ餅ニ味
曾卷牛房ハ菓子ニ有之ニ申スリ利休ハ落ニカリ大晦日ニ
松葉カレ薄ニカリ居ルニ此時直ニ茶乃湯ハリ花ハ餅ニ味も少ク揚ルハ是ハ改テ春ト違フ

茶室ハ内外トテトモニ青葉アラニウケルハ松葉ゴロ夕石ト
入交ニシルハ是ハ時節モハリト申ス事ニウケル定ヤ
ハルハ青葉アラトモ

外待合寸法ハ外ノ書ハリ本末ハ掛テ蓋ハ松ノハ水桶也テウ柄杓テウハ柄杓也
皆水ト入置也蓋本目横ニモウケルカセハ様ニ包ニ申ス如クハカセハ

砂雪隠セツト申テ雪隠ハ餅物キトウケル昔ハ貴人キニンハ不
時キタト申スゆニ貴人ハ為イト申ス事ニウケルハ是ハ今
も如ク

一夜咄踏次コト事

法ハフ如前外待合フハ柄杓ツハ水桶ツノ所本焼籠
内踏次石焼籠内掛コト行焼アント申ス心シニ所シト申ス
六トモ時焼トモト申ス本焼ト申ス

一 曉茶湯路次之事

七ツ半時路次入 初生掛物 後生花

夜吐吐おとくはく夜五ツ頃十を火と焼く一盃より火
消朝客来るまじ又焼昔ハ霄より焼屋より今々
不致火と焼く想作外より焼消ハ内より消む救
奇屋より消也

一朝ハ茶湯飯後の茶路次昼乃茶湯日前也

一 跡見ハ客ハ跡その行くと烟子多と出ハ至水と打改
幸時宜より云

一 不討ハ格ハ先侍合ハその中烟子多或ハ圓坐ホ出

一 客と通をまより内庭ハ水を打也或ハ客と通を
中庭前水と打ても物事は潤ハか移るが不討の
大意なり

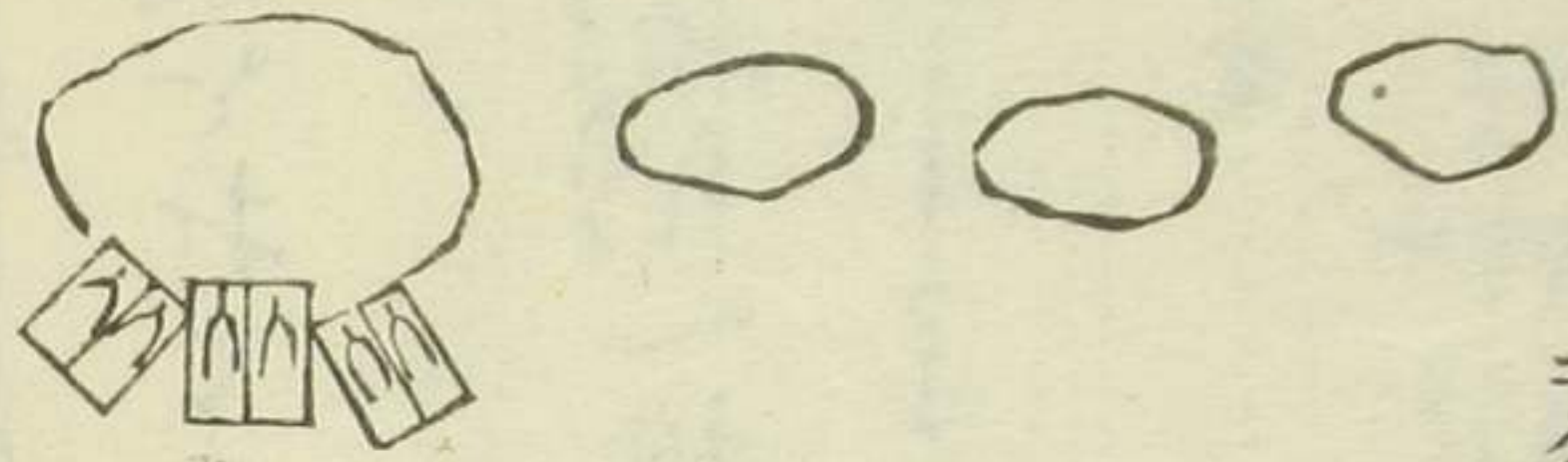
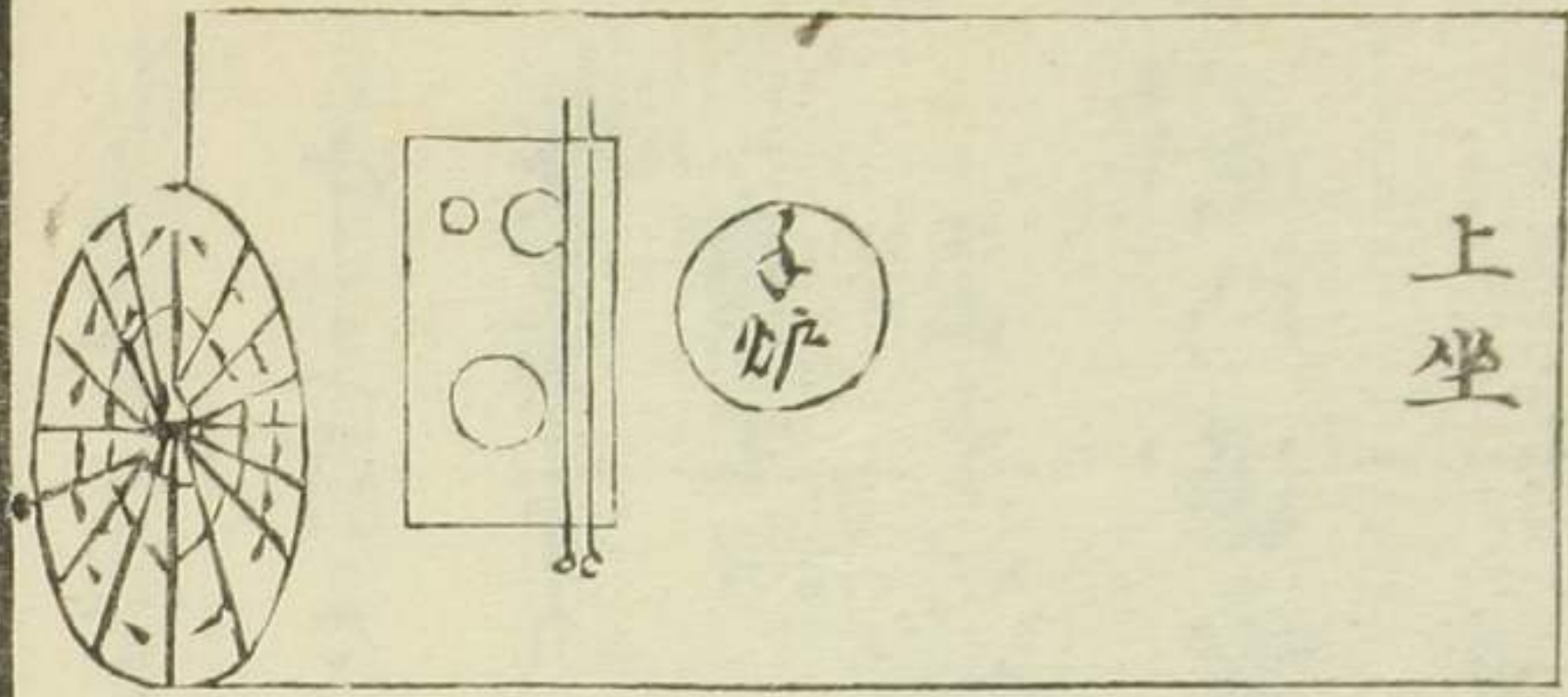
一 但ハ不討ハ格ハ朝茶湯乃改るれば朝ハ茶湯乃
改る時刻より更前ハ法と云くまじ

一 茶乃湯當日

正午 水打時刻 四ツ時前 風埴四ツ半時
金抄時刻 五ツ時

待合 煙草盆

上坐



子つづり 甚寒^{ジンカン}は冬^{フユ}の又ハ老人

火箸ハお供^{ツケ}シ原^{ハラ}更^{マシ}ハ用^{ヨウ}ひら^{ヒラ}ま^マ外^{ソト}火^ヒ箸^シ好^{コト}り^リニク^ニク^クワ^ワ張^テ貫^スの火^ヒ箸^シ之^ノ客^{キヤク}何^{ナニ}人^{ヒト}も^モ子^コつ^ツづ^づり^リ一^{ヒツ}ツ^ツニ

○ 煙^{タバコ}草^コ盆^{ボン}中^{ナカ}ニ杉^シ束^ス奉^{ホウ}書^{ショ}紙^シを^ヲ敷^キぬ

但^レ本^{ホン}丸^{マル}形^{ケイ}コウ^ウリ^リ形^{ケイ}筒^{ツツ}ハ紙^シ志^シを^ヲ敷^キぬ

其^{ソノ}余^{ヨリ}ハ紙^シを^ヲ敷^キぬ

○ 灰^{ハイ}吹^フ青^{セイ}竹^{チク}

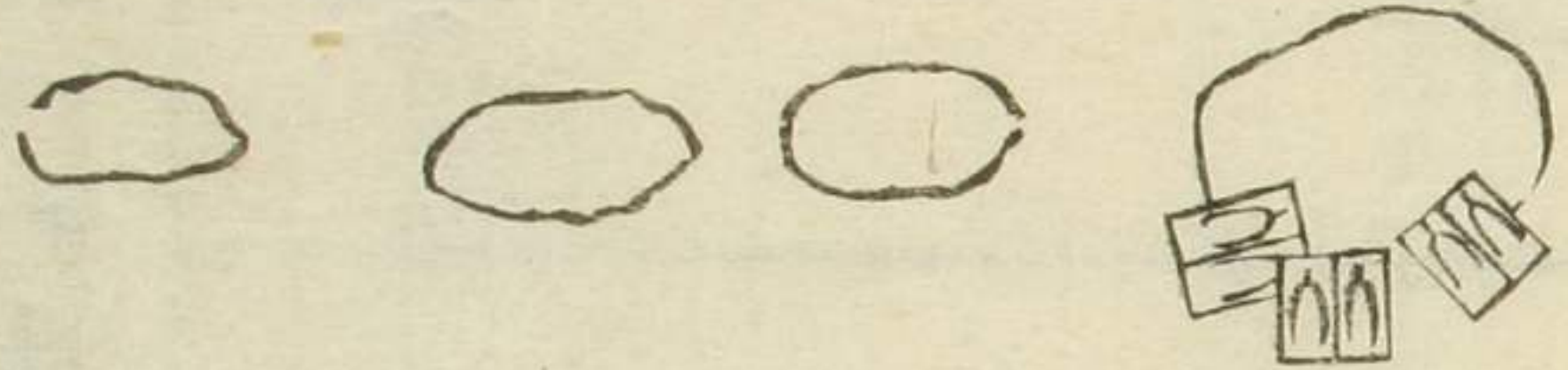
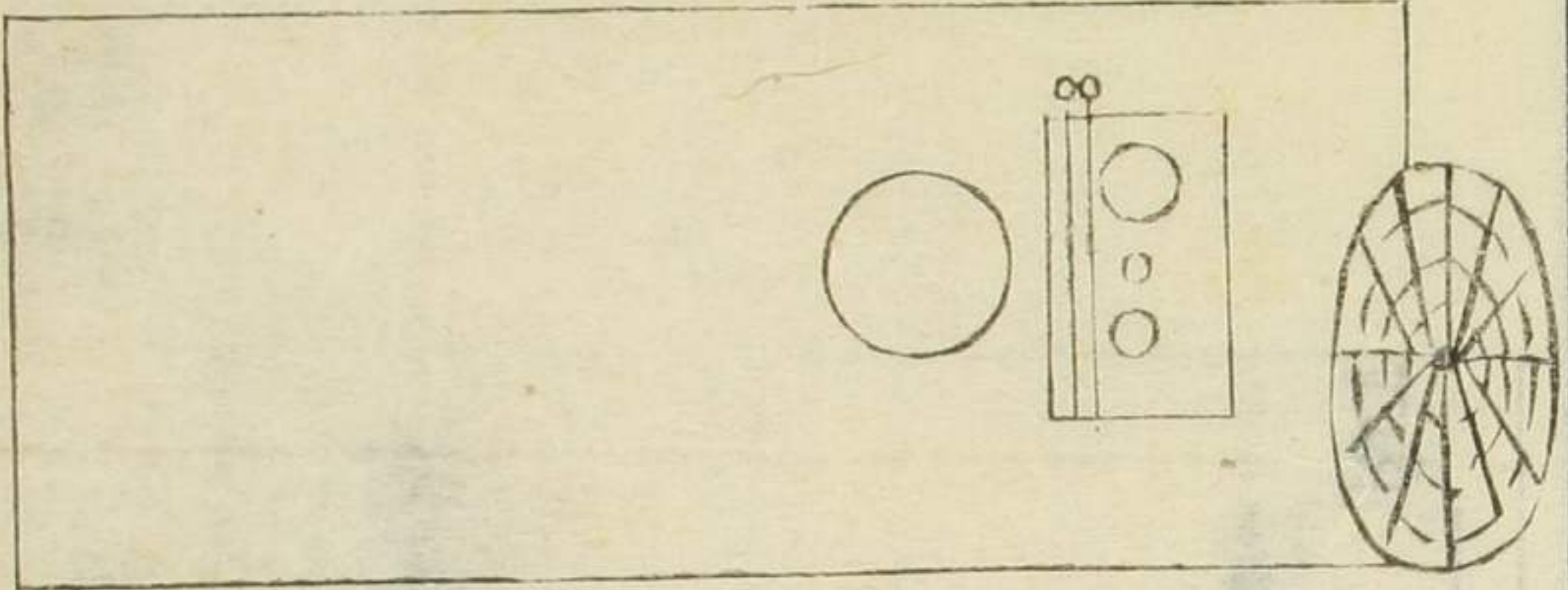
○ キセル^{キセル}煙^{タバコ}草^コ盆^{ボン}中^{ナカ}ニ長^{ナガ}シ^シ西^{セイ}方^{ハウ}へ掛^カケ

置^{オキ}ラ^ラウ^ウ付^ツ色^{シキ}備^ビヌ^ヌリ^リ限^{リミ}心^{ココロ}フ^フシ^シ行^{ヤク}

但^レ昔^{ムカシ}桶^{ツツ}斗^ツガ^ガシ^シ首^{ウタ}下^ゲテ^テ至^マ約^{ヤク}執^{シツ}の

草^コ盆^{ボン}六^{ロク}キセル^{キセル}隅^{スミ}ち^チが^ガム^ムあ^あく

視^シ置^{オキ}事^{コト}棚^{ナダ}ま^マて^テ有^アハ^ハ出^デシ^シ置^{オキ}事^{コト}は^ハ



客^{キヤク}腰^{ウサ}掛^カ待^マ合^カと^トも^モ刀^{タガ}指^サ居^イ中^{ナカ}事^{コト}之^ノ近^{チカ}来^キ味^{アジ}啄^{ツク}宗^{ムネ}近^{チカ}刀^{タガ}と^トぬ^ぬと^ト居^イ中^{ナカ}事^{コト}は^ハ刀^{タガ}ぬ^ぬと^ト居^イ中^{ナカ}事^{コト}可^カ然^シ

茶抄同下此棚ハ茶碗柄杓蓋ハ也下小水鉢力イテ
水コシ茶巾洗ハ茶釜ハ茶巾水ハ入ハ也水指ハ花入ハ
釜布中ハ茶巾ハ拭也
同一間乃内ハ炭切ハ湯ハ花切ハ湯ハ中ハ多ハ底取長火著ハ湯右
社通ハ相遠ハなくハ一ツハも法ハとたハくハ傍事ハ之不用ハ也ハ
不置

一 茶湯當日に切

竹ハどうハそハ水ハはハりハ角ハハハ不ハ在ハ大木ハのハふハつハとハをハてハん
榎ハ或ハハハ戸ハ押ハ縁ハなどハ所ハくハ見ハ合ハ青竹ハ改ハす

ナリ箸サハイハ箸蓋ハ蓋ハ置ハ灰吹ハ青竹ハ改ハす
所ハくハ戸ハ留ハりハ青竹ハ改ハす

踏次ハ松葉ハとハ敷ハ但ハ之ハ敷ハやハ前ハにハ記ハす

小水鉢ハ柄杓ハ内ハ外ハもハ替ハ改ハす

踏次水ハとハ抄ハ 抄ハやハ前ハにハ記ハす

茶ハ碗ハとハ茶葉ハとハ入ハ行ハ箸ハ付ハ並ハ

一 勝子

濃茶 薄茶 炭と組 灰と入 香合へ香と入

右板ハ置

一 客制限^{コウケン}に来里^シ搦^アる案内^{アノチ}有^ル之時^{トキ}主方^{ヌシカタ}敷^ス奇^キ座^ザ入^ル客^{キヤク}と
 揚^{アゲ}燈^{トウ}中^{ナカ}下^シ火^ヒと直^ス一^{ヒト}
但加風燈下火 灰^{ハイ}と中^{ナカ}火^ヒ煮^ニと焚^{タキ}坐^ザ
かげん
 擇^{ハキ}一^{ヒト}返^{マゼ}とと改^{カヘ}燈^{トウ}乃^ハ子^コと切^キ掛^カ墨^{スミ}床^{トコ}前^{マエ}へ坐^マし掛^カ物^{モノ}
 と見^ミまより子^コ水^{ミヅ}并^{ナヒ}へ水^{ミヅ}と入^イ迎^{ムカ}ふと或^シハ茅^チ門^{カド}中^{ナカ}へ
 常^{トコ}侍^シハ内^{ウチ}より一^{ヒト}礼^{レイ}をる矣^{ナリ}人^{ヒト}乃^ハ時^{トキ}ハ外^{ソト}へ出^デく一^{ヒト}礼^{レイ}する又
 茅^チ門^{カド}ハ大^{オホ}戸^{カド}開^{ヒラ}く去^サるも何^{ナニ}も扱^ア中^{ナカ}へを扱^ア奇^キ座^ザの戸^{カド}子
 掛^カほど明^アけ墨^{スミ}淨^ス
但一夫人社村ハ石
どうし一礼をる
 一 客^{キヤク}各^{オノオノ}一^{ヒト}礼^{レイ}有^ルく上^{ウヘ}坐^マより定^サむる通^{トウ}子^コ水^{ミヅ}と坐^マひ坐^マ後^{ノチ}へ
 入^イ床^{トコ}あへ行^イ掛^カとのと見^ミ燈^{トウ}茶^{チャ}へ行^イ登^{ノボ}借^カりて見^ミる

道者有ハ道客と吸^ス借^カてる人^{ヒト}又^{マタ}座^ザと志^シめく墨^{スミ}上^{ウヘ}坐^マ吸^スく扱^ア事^{コト}
 何^{ナニ}もその時^{トキ}ハ下^シ坐^マ乃^ハ者^{モノ}見^ミる戸^{カド}と一^{ヒト}めく墨^{スミ}

風^{フウ}炉^ロ仕^シ時^{トキ}も同^{ドウ}前^{マエ}之上^{ノウヘ}客^{キヤク}と坐^マる時^{トキ}分^ワ次^ジに客^{キヤク}と
 水^{ミヅ}と坐^マひ上^{ウヘ}坐^マ床^{トコ}前^{マエ}へ行^イる頃^{トキ}次^ジ乃^ハ客^{キヤク}と坐^マるが里^{サト}口^{カド}へ入^イ上^{ウヘ}坐^マ
 燈^{トウ}色^{シキ}へ行^イる時^{トキ}次^ジに客^{キヤク}床^{トコ}前^{マエ}へ行^イ也^{ナリ}也^{ナリ}如^{コト}此^ノ坐^マ後^{ノチ}爰^{コゝ}
 内^{ウチ}乃^ハ事^{コト}同^{ドウ}前^{マエ}之^ノ末^{マタ}坐^マ待^マ合^アに調^{テウ}子^コ坐^マ茶^{チャ}所^{トコロ}へ行^イづも
エシガ 圓^{エン}座^ザ有^ルハ坐^マる前^{マエ}乃^ハ出^デくかき^{カキ}の行^イ付^ケる
 扱^ア吐^ツ乃^ハ時^{トキ}ハ坐^マ後^{ノチ}爰^{コゝ}に作^サ法^{ホウ}茶^{チャ}乃^ハ通^{トウ}子^コ扱^ア持^チ
 出^デ茅^チ門^{カド}或^シハ中^{ナカ}へ外^{ソト}の石^{イシ}上^{ウヘ}へ置^キ一^{ヒト}礼^{レイ}何^{ナニ}も
 入^イ心^{シン}路^ロ次^ジ長^{ナガ}と所^{トコロ}ハ子^コ扱^ア二^ニ本^{ポン}持^チ出^デ二^ニ本^{ポン}を坐^マ持^チ

但但子焗火焗上上客右乃子焗焗と取取入入ル客客残残らば
一一所所入入る子焗焗と水水鉢鉢乃乃賜賜所所とと所所一一おおささは
水水とと釜釜入入末末坐坐けけ子焗焗と刀刀掛掛乃乃下下軒軒のの下下入入置置之
曉曉右右軟軟咄咄しし通通リ

但但主主座座踏踏次次行行焼焼出出車車もも何何ううそそ何何とと見見ハ
行行焼焼けけ子焗焗ははららうういいのの通通リ

一 末坐末坐席席へへ入入リリくくるる戸戸かかしし音音有有くくままル

一 主方主方けけ時時子焗焗鉢鉢乃乃水水とと入入ル

但但之之軟軟ハハけけととれれ子焗焗入入ルルナナリ

一 主方主方おおくくたたががいいまま一一礼礼ホホ常常乃乃おおととしし

但但之之けけ時時猪猪子子はは乃乃肉肉等等ををかかけけ取取等等ととまましし
ふふままととぬぬれれ又又板板ををかかききととまましし

一 客掛物客掛物乃乃換換扱扱ホホ有有くく後後炭炭をを仕仕事事如如例例

但但一一風風炉炉仕仕時時ハハけけ炭炭ををしし

風風爐爐ととふふくく也也ふふままととややうう常常仕仕どどととささびびささ風風爐爐はは右右
仕仕方方ニニツツ左左乃乃子焗焗一一持持之之左左ツツ風風爐爐ははおお一一返返すす吊吊
腰腰にに付付勝勝子子ははいいまま今今席席出出けけ換換扱扱有有ててははいいルル

但但風風爐爐ををてて乾乾葉葉湯湯炭炭時時刻刻煙煙とと同同おお

一 客方客方主方主方釜釜揚揚るる時時次次とと一一礼礼有有くく煙煙をを入入寄寄るる

但但之之風風爐爐仕仕時時ををししとといいふふ

主方主方炭炭をを並並仕仕廻廻しし時時本本座座へへ出出るる 但但之之末末坐坐よよううかかんんくく引引

主香合をとりてきる時所全のまじり

但上空むらう残に居る香合所をとりておきし

妙喜菴に燭炬乃時ハ客寄る下火ハ居あがらん

主炭仕廻香合所全して直に炭を見つれし申す

此時主灰ボウロクと持へル客方此内一人ハ身を行キ

見仕すし主出さる釜を扱客も見仕すし主

本坐を付く香合廻り

但子燭ハ炭斗仕方炬に向際へ置し

主方釜扱く灰ボウロクより引事如例

客香合を見り歸る事如例

主方香合取入ル膳出可中挨拶をき勝は口ぬ

飯後盃乃茶を替る事

夜咄ハ此炭を前茶点するその右に前茶乃下火

少く其心といふは前茶仕廻炭いし申也

但茶をぬき事もけり或ハ燭子を出し事もけり或ハ茶仕也
茶はぬき事もけり或ハ燭子を出し事もけり或ハ茶仕也
茶はぬき事もけり或ハ燭子を出し事もけり或ハ茶仕也

跡見ハ直に濃茶点する左仕廻て炭

曉ハ軟咄し仕通し前茶点仕廻る炭也此炭ハ時炬の

座を取炭といふは灰ボウロク持入中に出る釜と勝はへ

入レ水遣^テ水を入^レ持出^テ掛^ル或ハ水^ヲ一^ペん^の一^ノ
入^レ持出^テ掛^ル事^ヲ何^レヶ^テ掛^ル香^合取^リ入^レ突上^ノ梅^ヲ
持出^テ突上^ノ揚^行焼^ト引^膳と^出け^内踏^次火^残
ら^び引^登乃^通ま^さる

但^突上^客乃^形ナ^ニち^々と^見ハ^梅と^後未^定た^の事^も何^レ
前^茶乃^時子^焼た^レ初^行焼^ト乃^方引^寄茶^点
事^も何^レ焼^成由^急焼^成火^ケヤ^ケキ^故計^何レ^も
さ^び一^入西^向
け^水と^替事^ハ初^茶乃^時ハ^秋由^急宵^乃水^也
後^ハ秋^明て^涼茶^乃故^ハ秋^乃水^と替^ル

膳出順

- 一 本膳出^レ勝子口^ハル
 - 二 香^カ物^カ平^皿カ
 - 三 食^鉢汁^カハ
 - 四 中^酒出^レ引^盃々^廻以^鉈子^引
 - 五 焼^物 但^ヤ物^毎時^ハ平^皿
 - 六 食^鉢汁^カハ
 - 七 酒^出上^客乃^後以^勝子^口々^相伴^乃接^授
- 有^ク勝^子口^ハル

八 吸物出ー平皿引

九 鉶子硯ぶと持出酒とさくわ接投有て引事如常

十 湯出ー吸物挽引勝子口メ

但し湯桶短乃時ハ湯ノコナクハ入蓋して出ス

風短の言ハカナイ口ニ蓋ハカシテ出ス

多ク湯ト引

十一 本膳と引口メ

十二 菓子出ー勝子口メ

但し風短此時ハ膳と引キ真炭とて菓子出勝子口

メ 菓子出炭と仕てよう

世間ノ水鉢へ水とさく腰掛へ煙子蓋出

但し腰掛進々着進々水鉢乃水入がら時ハ湯と出

置水乃水入

一 客中立

客燈乃時ハ掛物と見立風炉此時ハ掛物と見風炉

はあ一行風短前と見立

款吐乃時ハ菓子と出以時ハ湯と捨次刀掛は色へ

出ー菓子と上座ハ湯と持不踏一所は行く貴人の

時ハ菓子と湯と持先立

一 炭と組灰と入 花と拵コレラ花臺と組 花入と拵

水指へ水と入 茶碗仕込 建水コホレ柄抄蓋拵拵

惣菓子と器へ入

まより教書座と明アちくらと口乃襪セシとみ菓子入引掛
物と茶釜乃蓋とみ生爰と坐掃キとと紙釜乃さ切
のけ花入と掛カケ花と入水指と置付茶入置付くら
はと明アケまより茶肉

組シま迎ウき出カるカ通ヒの者出ルドラ喚鐘打カ
ととん也

一 合ツ圖ツ之事

喚鐘七ツ 大小大小ツ中ツ中大

ドラ五ツ 大小中ツ中大

喚鐘五ツ 大小中ツ中

ドラ七ツ 大小大小中ツ中大

釈咄シの花無し其外式曰ド

客方入ル事式前ニ乃如ク尤中ニ中カ替ル事か

主腰掛コシは烟子盆コのコが引リ右ニ左ニ改テ置

主茶碗持出置合建水コホレ持出柄抄引一礼する客花

仕挨拶有リ濃茶点る事如例

客方作法常仕如し

茶ス之後仕炭スル爐風炉同お

組之後乃炭の時ハ膳^{タケ}とメ不中事カ^{タケ}ら^{タケ}り^{タケ}テ内炉仕時ハ
メル方より又風炉^{タケ}をハ灰ボウロクも^{タケ}ぬ^{タケ}たら^{タケ}ば^{タケ}は^{タケ}風炉^{タケ}に
灰ぬく事^{タケ}り^{タケ}灰^{タケ}ぬ^{タケ}く^{タケ}て^{タケ}ふ^{タケ}又炭乃墨合も^{タケ}後ハ^{タケ}茶^{タケ}汁^{タケ}
おろし^{タケ}炭墨合^{タケ}不^{タケ}中^{タケ}器^{タケ}が^{タケ}より

後仕炭灰^{タケ}と^{タケ}茶^{タケ}煎^{タケ}物^{タケ}と^{タケ}焚^{タケ}炭^{タケ}と^{タケ}い^{タケ}ら^{タケ}る^{タケ}事^{タケ}も^{タケ}時^{タケ}より
致^{タケ}す^{タケ}より炭^{タケ}す^{タケ}んで^{タケ}烟^{タケ}盆^{タケ}惣^{タケ}菓子^{タケ}出^{タケ}し^{タケ}ま^{タケ}も^{タケ}烟^{タケ}草^{タケ}盆^{タケ}
持出^{タケ}緩^{タケ}い^{タケ}吐^{タケ}し^{タケ}夫^{タケ}より^{タケ}薄^{タケ}茶^{タケ}点^{タケ}る

仕湯^{タケ}の^{タケ}ら^{タケ}ら^{タケ}る^{タケ}事^{タケ}ハ濃^{タケ}茶^{タケ}仕^{タケ}時^{タケ}建^{タケ}水^{タケ}在^{タケ}持^{タケ}在^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}
持出^{タケ}建^{タケ}水^{タケ}置^{タケ}膳^{タケ}の^{タケ}い^{タケ}ら^{タケ}る^{タケ}兩^{タケ}種^{タケ}持^{タケ}お^{タケ}が^{タケ}ら^{タケ}仕^{タケ}建^{タケ}水^{タケ}
置^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}と^{タケ}取^{タケ}り^{タケ}左^{タケ}乃^{タケ}方^{タケ}一^{タケ}墨^{タケ}付^{タケ}吏^{タケ}より^{タケ}茶^{タケ}点^{タケ}る^{タケ}茶^{タケ}碗^{タケ}
と^{タケ}ふ^{タケ}て^{タケ}昔^{タケ}の^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}と^{タケ}茶^{タケ}煎^{タケ}仕^{タケ}内^{タケ}水^{タケ}指^{タケ}乃^{タケ}脇^{タケ}へ^{タケ}置^{タケ}茶^{タケ}と^{タケ}茶^{タケ}
碗^{タケ}へ^{タケ}入^{タケ}ら^{タケ}し^{タケ}如^{タケ}心^{タケ}斎^{タケ}の^{タケ}云^{タケ}仕^{タケ}時^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}と^{タケ}被^{タケ}さ^{タケ}る^{タケ}ふ^{タケ}ら
何^{タケ}々^{タケ}仕^{タケ}取^{タケ}扱^{タケ}止^{タケ}ら^{タケ}る^{タケ}キ^{タケ}ツ^{タケ}ト^{タケ}改^{タケ}る^{タケ}時^{タケ}ハ^{タケ}効^{タケ}乃^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}並^{タケ}
付^{タケ}お^{タケ}が^{タケ}ら^{タケ}茶^{タケ}煎^{タケ}引^{タケ}奇^{タケ}て^{タケ}い^{タケ}ら^{タケ}る^{タケ}事^{タケ}ハ^{タケ}外^{タケ}通^{タケ}例^{タケ}も
その^{タケ}ま^{タケ}に^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}と^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}の^{タケ}ら^{タケ}ら^{タケ}る^{タケ}事^{タケ}も^{タケ}な^{タケ}ら^{タケ}ず
仕^{タケ}湯^{タケ}と^{タケ}仕^{タケ}湯^{タケ}の^{タケ}ら^{タケ}ら^{タケ}る^{タケ}事^{タケ}も^{タケ}な^{タケ}ら^{タケ}ず

茶点出^テ吊^テ巾^ヲ出^テ平次^ハ茶^ヲ出^テ出^テむ^ル乃^チ方^ニ
客^ハ向^テケ^ルヤ^キ

客^ハい^ちづ^く茶^ヲ出^テ茶^ヲ我^レ上^ル乃^チ方^ニ置^キま^しる^茶見^ん
ふ^くさ^し茶^ヲ次^ニ一^禮茶^ヲ吞^下茶^ヲ下^ル出^テ
だ^んく^如此^ク茶^ヲ末^ニ茶^ヲ吞^下茶^ヲ出^テ上^ル
半^ニ又^テ茶^ヲ出^テ上^ル茶^ヲ見^ん出^テ茶^ヲ出^テ
出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ
上^ル茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ
と^向ふ^ル返^ル

主^ハい^ちづ^く茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ
茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ

一^客方^ハい^ちづ^く茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ
て^見ん^返り^と一^禮茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ

一^至道^ヲ出^テ茶^ヲ入^ル茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ
は^いち^づく^茶乃^チ通^ル

客^方も^茶出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ
返^りと^茶出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ

道具^カ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ茶^ヲ出^テ

入集初袋下引も燭ハ車^ス炭と用るがより又々引
しんと切灰ホウロクと一折^{モチ}持出てもより

炭乃時ハも燭灰ホウロクと一折^{モチ}持出候乃揃へ至
釜と揃^{カチ}り疏^{カチ}りて客よりも燭好その時ハ出^{カチ}中^{カチ}最
乃通客^{カチ}香合とそく一折^{カチ}と返^{カチ}り主一折^{カチ}引^{カチ}の又々も
燭ハ残^{カチ}し畢^{カチ}く照^{カチ}乃時用る

も燭ハ喜より好り又主より出^{カチ}けりなり約^{カチ}きも苦^{カチ}
くべその内業乃時ハ主より出^{カチ}けりよう道^{カチ}を仕^{カチ}時ハ
客より好^{カチ}がより

一 薄業と人て客^{カチ}ゆかり何ド主勝^{カチ}のハメル客^{カチ}仕^{カチ}り
出^{カチ}り付^{カチ}主^{カチ}出^{カチ}り送^{カチ}る腰^{カチ}掛^{カチ}りて一礼^{カチ}有^{カチ}て帰^{カチ}る

一 跡見之事

格^{カチ}別^{カチ}跡^{カチ}客^{カチ}と客^{カチ}中^{カチ}合^{カチ}清^{カチ}跡^{カチ}見^{カチ}る系^{カチ}交^{カチ}有^{カチ}茶^{カチ}御^{カチ}邊^{カチ}所^{カチ}ハ
誰^{カチ}不^{カチ}待^{カチ}合^{カチ}セ居^{カチ}候^{カチ}境^{カチ}と中^{カチ}巻^{カチ}候

亭^{カチ}主^{カチ}客^{カチ}十^{カチ}人^{カチ}で右^{カチ}寄^{カチ}合^{カチ}居^{カチ}る不^{カチ}茶^{カチ}内^{カチ}巻^{カチ}り
客^{カチ}出^{カチ}勝^{カチ}直^{カチ}り客^{カチ}仕^{カチ}候^{カチ}祝^{カチ}儀^{カチ}中^{カチ}主^{カチ}より踏^{カチ}次^{カチ}ハ通^{カチ}ル

待合一園座烟釜盆出ー星

主方花登乃ち星水指茶入傍星茶入ハとごう

こくかごう星茶入茶点仕也く常仕ぶく道

具好 但正午茶湯中之後乃心得

建水引と紙袋と好

主西器引と出の時袋持也

少茶入の海山と茶と紙引右乃言ハ跡見引

や心得跡見引の尋子跡見引と中もまじ

よくゆ

濃茶菓子ふー

濃茶をこ茶の水指煮とすぬ時ハ主はうねたる

心得茶湯の煮留る時ハ炭いー惣菓子たむこ

盆出ー茶茶点

花登乃ちよ平好て添る半もわり

但花志が又ハ炭ぶる煮留るとよ平

お客乃ち茶茶かり

一 曉乃茶湯 七ツ半時浴次入

主七ツ半起残らば火焼ー水沖へ水と入待合に

水打時刻暮六ツ時 掛りの掛る

烟子多きものぐり出さ

客来りて丹室を及下火おとす速く出さくは午の

通客はこゝに中へて換投色く有る烟子多き出

まより前茶点せんを炭とおとす半田持出底を

とり下火残一釜猪手一持入湯とふるせぬ釜を

釜を掛常はだくは少い香合引時刻よきまづ

上げ揚る時燈を引會席出いまより常はだく

但一つさ上げおとす。軍一右の首に二本膝子付内一本戸

一本膝子よいぐ一置く

一 扱込釜あいらく物と用

一 煎 桑炭汁桐釜を用てまう

宵四つ時頃胴炭を入よく、半込右胴炭とホタテ前茶

点る 但し前茶送る事ハ扱込乃内ニ要しく記以

行燈杉本地紙と炭竹輪と蓋その上ニ常乃油月下

四星燈心ニ筋黒ワド揚枝一本付ル

扱込乃事

煎茶汁道具水指乃代り茶籠行は乃頼と用也煎茶乃

道具後室より残らば替る建水、替る及ぶ

前茶乃節燭カク多う又ハ惣茶より兩やうの内一不出
後薄茶ハク付節ハ濃茶乃時の道具等不
素床ス付管掛物好ハ事ふ

但レ口切等通ツ道具ヲ相用シハ掛物格別同及ル事
好ハ見送クとスられルの挨拶ヲ及ベ

一 短カン檠ケイ 長燭チ七筋 敷紙シキ杉原四ツ折

一 木トク灯トウ臺ダイ 竹タケ檠ケイ 菊キク燭カク臺ダイ 燭カク五筋 長七寸ヨリ
七寸五分也

一 踏フミ次ジ行ユク燭カク 燈心トウシン三筋 杉揚ヤウ枝エ一本

一 石イシ燭カク籠カゴ 木キ燭カク籠カゴ 燭カク三筋 但レ月夜ツキヨハ
洋山ヨウサン入イル

短カン檠ケイ 四シ疊タガ半ハジメ 長チ四シ疊タガ 不フ審シ菴アン乃ノ狀シヤウ廣コウ中チュウ敷シキ用ヨウ
木キ燭カク臺ダイ 菊キク燭カク臺ダイ 小コ坐ザ友トモ用ヨウ

一 一客セツ付ツキ節セツ本ホン膳ゼンとモ主人シヤウジン乃ノ膳ゼンとモ持テ夫ソノより通ツ人トと
出デハ茶チヤ子シ付ツキ相アヒ伴バンハセバ茶チヤ乃ノ節セツ客キヤクより主人シヤウジンハ茶チヤ
台ダイ上ウヘとモのやうニとモ挨拶アヒバシする

客キヤク半ハジメ分ブンほど吞ツ言ゴン相アヒ伴バン乃ノ挨拶アヒバシ茶チヤ碗ワンと清シヤウくク
付ツキ言ゴン点テン前ゼンと印インくク又マタハ膳ゼンハ出デるル兩リウやう亭テイ之シ吞ツ切キ
ハ一イツ客キヤクより茶チヤ碗ワン付ツキ方カタへ出デされル下シタと挨拶アヒバシする

耳と左右より袋へ入右端の巾身なりふきふ
 たり茶こく肘耳とタテ望まざるふきやうの瓶の通
 おる 但し小き耳ハ常ハ通リ也してふくと

一 傳授前之箇條

長緒 仁組点 組合点

茶釜 茶盆 盆香合

軸 軸 壺 壺 餅 餅

茶入 臺 餅 茶碗 餅

花入 餅 名物 餅

花所望 炭所望

一 傳授之介

茶通箱 唐物点

臺 天目 盆 点

茶式湖月抄下

乱飴

六十二

茶式湖月抄大尾

